



人権に関する市民意識調査

報告書

平成22年12月

横浜市市民局人権課

はじめに

横浜市では、平成10年（1998年）に人権施策推進の方向性を定めた「横浜市人権施策基本指針」を策定し、一人ひとりの市民が互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会の実現をめざして、さまざまな施策を推進しています。また、平成16年（2004年）には、市民に対する人権啓発を体系的、計画的に行うため、「人権啓発推進計画」を策定しました。

一方、本格的な少子高齢社会の到来や地域社会の希薄化など社会情勢の変化により、人権をめぐる状況はますます多様化・複雑化しており、基本指針についても、新たな人権課題への取組など見直しが求められています。

このような中、市民の皆様の人権に関する意識を把握し、今後の人権施策を推進していくために、「人権に関する市民意識調査」を実施いたしました。この報告書は、その結果をまとめたものです。

今後、この調査結果をふまえ、市民の皆様のニーズに対応した、より効果的な人権啓発など人権施策を推進し、市民の皆様とともに、互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会の実現をめざしていきたいと考えております。

最後になりましたが、この調査の実施にあたりまして、御協力いただき貴重な御意見をいただきました市民の皆様に心からお礼申し上げます。

平成22年12月

横浜市市民局人権課

目 次

I. 調査の概要

1. 調査の目的	2
2. 調査方法	2
3. 調査項目	2
4. 回収結果	2
5. 集計にあたって	2
6. 回答者の属性	3

II. 調査の結果

1. 人権や差別について	
1-1. 関心のある人権問題	6
1-2. 今の日本は基本的人権が尊重されている社会か	7
1-3. 国民一人ひとりの人権意識は10年前に比べて高くなっているか	8
1-4. 差別についての認識と行為	9
1-5. 差別をされた経験	11
1-6. 差別をされたり人権を侵害されたりした場合の対応	12
1-7. 他人を差別した経験	13
2. 風習や身元調査について	
2-1. 風習についての認識と行為	14
2-2. 結婚相手の身元調査をすることについての認識と行為	16
3. 同和問題について	
3-1. 同和地区や同和問題についての認知	18
3-2. 同和地区や同和問題についての認知時期	19
3-3. 同和地区や同和問題について知ったきっかけ	20
3-4. 親しい人が同和地区出身であることがわかった場合の対応	21
3-5. 同和地区出身の人との結婚についての対応	22
3-6. 同和問題で人権上問題があると思うこと	24
3-7. 同和問題を解決するために必要なこと	25
4. 人権問題に対する課題や施策について	
4-1. 外国人について人権上問題があると思うこと	26
4-2. 外国人の人権を守るために必要なこと	27
4-3. 女性について人権上問題があると思うこと	28
4-4. 女性の人権を守るために必要なこと	29
4-5. 障害のある人について人権上問題があると思うこと	30
4-6. 障害のある人の人権を守るために必要なこと	31
4-7. エイズ患者やHIV感染者について人権上問題があると思うこと	32

4-8.	エイズ患者やH I V感染者の人権を守るために必要なこと	33
4-9.	ハンセン病患者や元患者について人権上問題があると思うこと	34
4-10.	ハンセン病患者や元患者の人権を守るために必要なこと	35
4-11.	高齢者について人権上問題があると思うこと	36
4-12.	高齢者の人権を守るために必要なこと	37
4-13.	子どもについて人権上問題があると思うこと	38
4-14.	子どもの人権を守るために必要なこと	39
4-15.	ホームレスについて人権上問題があると思うこと	40
4-16.	ホームレスの人権を守るために必要なこと	41
4-17.	犯罪被害者等について人権上問題があると思うこと	42
4-18.	犯罪被害者等の人権を守るために必要なこと	43
4-19.	性的少数者について人権上問題があると思うこと	44
4-20.	性的少数者の人権を守るために必要なこと	45
4-21.	アイヌ民族について人権上問題があると思うこと	46
4-22.	アイヌ民族の人権を守るために必要なこと	47
4-23.	インターネット上において人権上問題があると思うこと	48
4-24.	インターネット上の人権侵害を防ぐために必要なこと	49
5.	人権啓発活動について	
5-1.	人権問題に関する知識や情報の収集源	50
5-2.	横浜市が主催する人権啓発イベント等への参加状況と理解度	51
5-3.	人権についての理解を深めるために充実すべき取組	57
5-4.	人権啓発講演会により多くの人に参加するための工夫	58
5-5.	「互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」を実現するための取組	59
5-6.	市民一人ひとりが人権を尊重しあうための心がけや行動	60
6.	設問間クロス集計結果	
6-1.	差別をされたり人権を侵害されたりした場合の対応 × 差別をされた経験	61
6-2.	結婚相手の身元調査をすることについての認識 × 風習についての認識	62
6-3.	風習についての認識 × 同和地区出身の人との結婚についての対応	63
6-4.	結婚相手の身元調査をすることについての認識 × 同和地区出身の人との結婚についての対応	64
6-5.	同和地区や同和問題について知ったきっかけ × 同和地区出身の人との結婚についての対応	65
6-6.	人権についての理解を深めるために充実すべき取組 × 「広報よこはま人権特集号」を読んだ経験	66
6-7.	人権啓発講演会により多くの人に参加するための工夫 × 「広報よこはま人権特集号」を読んだ経験	67

Ⅲ. 自由意見

1. 人権や差別に関する意識について	70
2. 人権啓発について	72
3. 人権教育について	72
4. 人権施策について	73
5. 同和問題について	74
6. 外国人の人権問題について	74
7. 女性の人権問題について	75
8. 障害者の人権問題について	75
9. 子どもの人権問題について	76
10. ホームレスの人権問題、格差社会・貧困問題について	76
11. さまざまな人権問題について	77
12. その他	77
<u>資料1. アンケート調査票</u>	79
<u>資料2. 集計表</u>	101

I. 調査の概要

1. 調査の目的

人権尊重の意識を高めるための人権啓発事業をはじめ、人権に関するさまざまな取組をより効果的に進めていくために、人権に関する市民の意識調査（アンケート）を行う。

2. 調査方法

- ◆ 調査対象 横浜市内在住の満 20 歳以上の男女 5,000 人について、住民基本台帳から 4,900 人、及び外国人登録原票から 100 人を無作為に抽出した。
- ◆ 調査方法 郵送による配布及び回収（ハガキによる礼状兼催促状を 1 回送付）外国人に対しては同じ内容でルビ付の調査票を作成した。
- ◆ 調査期間 平成 22 年 7 月 1 日（木）～7 月 31 日（土）

3. 調査項目

- ◆ 人権や差別について（問 1～7）
- ◆ 風習や身元調査について（問 8～9）
- ◆ 同和問題について（問 10～16）
- ◆ 人権問題に対する課題や施策について（問 17～40）
- ◆ 人権啓発活動について（問 41～46）
- ◆ 人権に関することについての自由意見

4. 回収結果

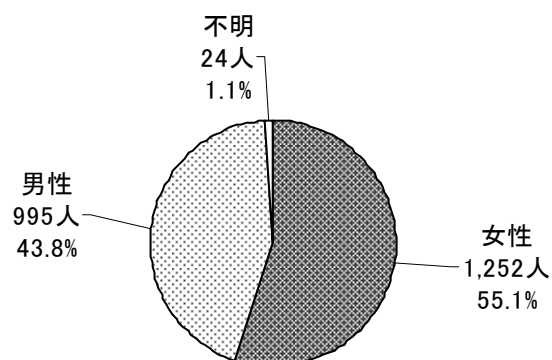
有効回収票数は 2,271 票で、有効回収率は 45.4%であった。

5. 集計にあたって

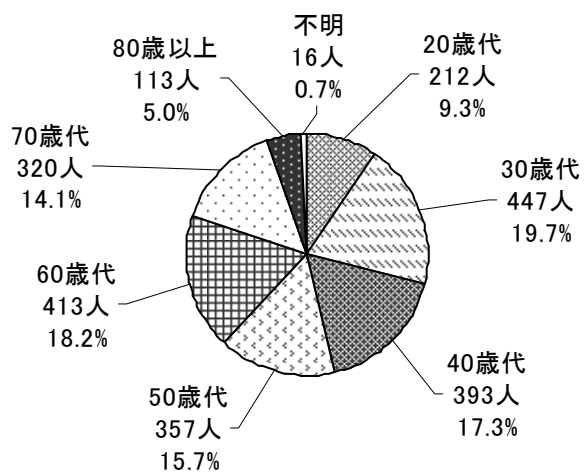
- ◆ 単数回答の設問についての回答者割合の%値は、小数点第 2 位を四捨五入しているため合計が 100.0%にならないことがある。
- ◆ 標本数「N」「n」は、設問に対する回答者の総数を表している。
- ◆ 前回（平成 17 年度）に実施した調査結果について、今回はじめて新設した設問、前回調査とは内容的にニュアンスが変わった設問については結果を表記していない。また、前回調査と同じ設問であるが、選択肢が追加・削除・変更した設問や回答形式が異なった設問については、グラフに表記していないものがある。

6. 回答者の属性

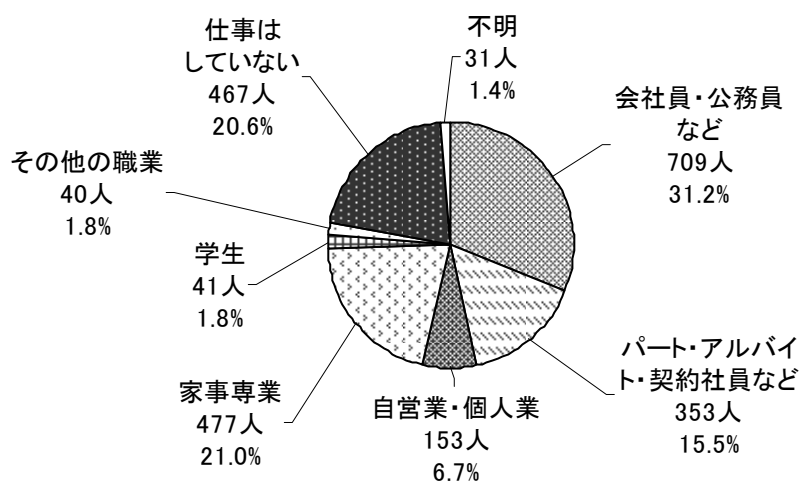
F 1 性別 (N=2,271)



F 2 年齢 (N=2,271)



F 3 現在の職業 (N=2,271)



II. 調査の結果

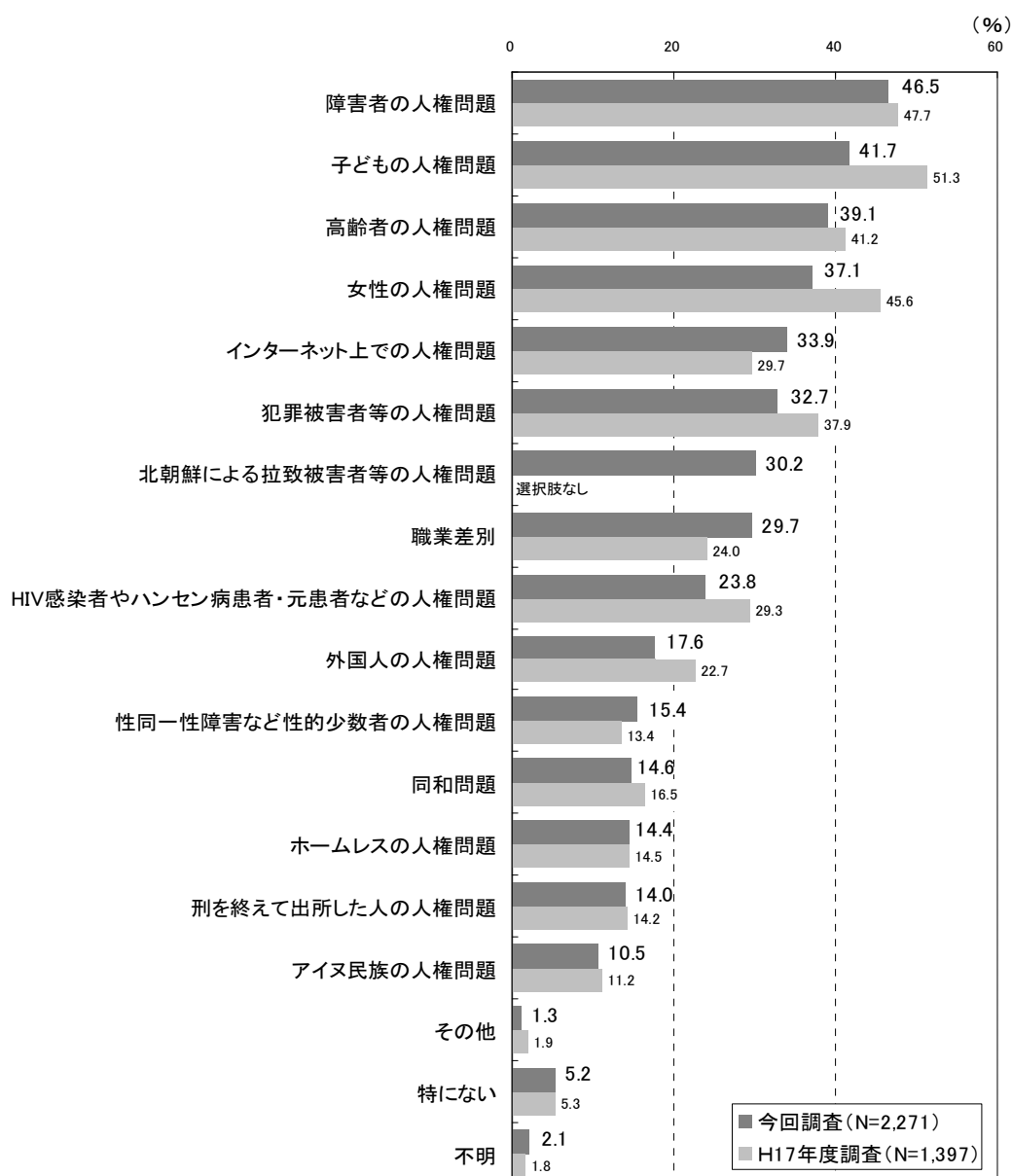
1. 人権や差別について

1-1. 関心のある人権問題【問1】

日本の社会には、基本的人権にかかわるさまざまな問題がある中で、どの人権問題に関心があるかを尋ねたところ、「障害者」が46.5%と最も多く、次いで「子ども」「高齢者」「女性」の順で多く挙げられており、それぞれ約4割を占めている。今回調査で新たに設けた「北朝鮮による拉致被害者等」は30.2%となっている。

平成17年度調査では、「子ども」「障害者」「女性」「高齢者」の順であった。

図 1-1 関心のある人権問題[複数回答]

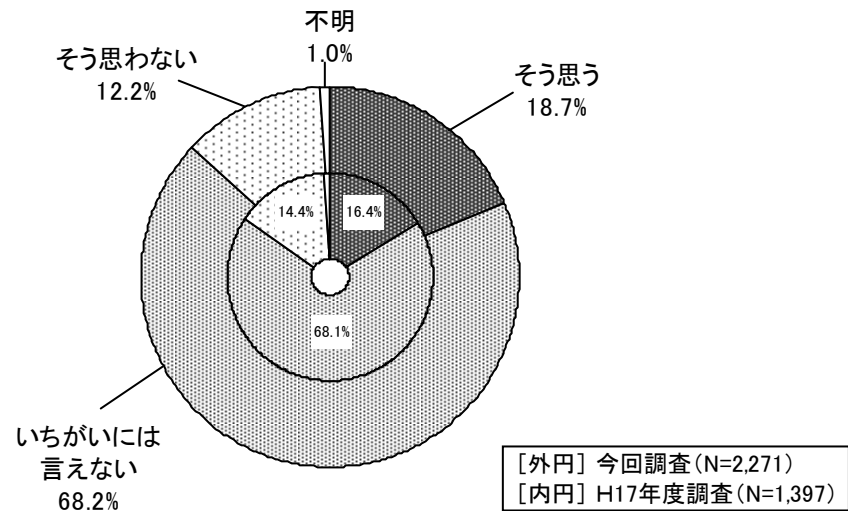


性別年齢別で見ると、男性よりも女性では「女性」「子ども」、女性よりも男性では「犯罪被害者等」「同和」が多くなっている。また、年齢層が高いほど「高齢者」「拉致被害者等」、年齢層が若いほど「インターネット上」「外国人」が多くなっている。(集計表 P102 表1 参照)

1-2. 今の日本は基本的人権が尊重されている社会か【問2】

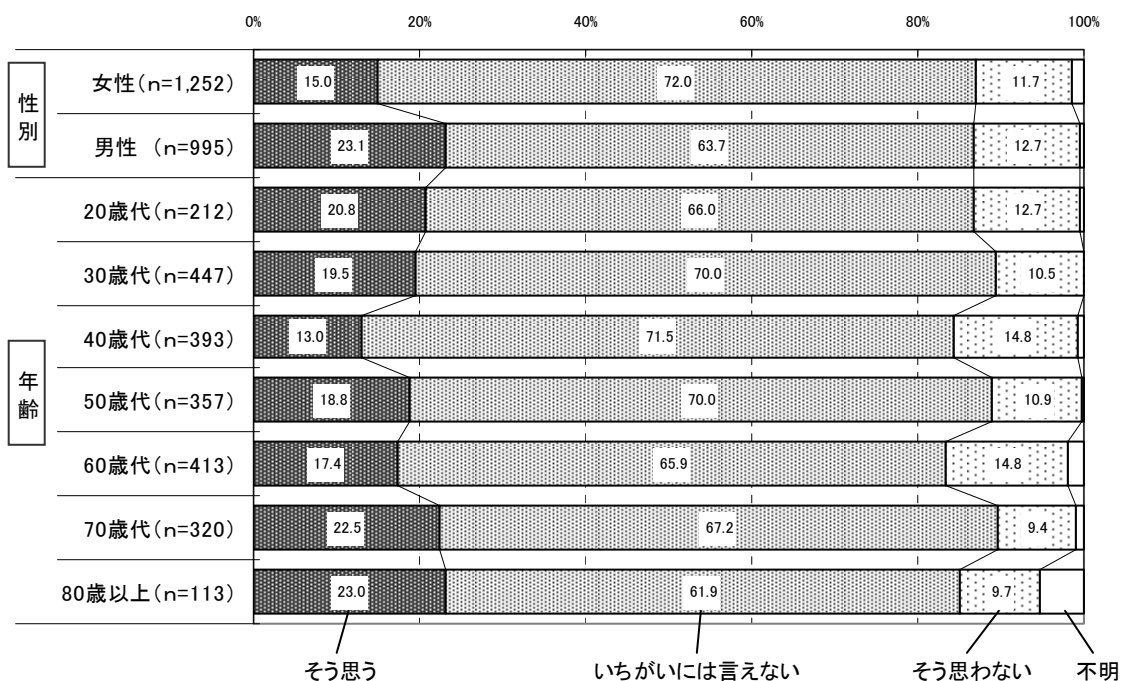
今の日本は、基本的人権が尊重されている社会だと思うかを尋ねたところ、「いちがいいには言えない」が68.2%と最も多く、「そう思う」が18.7%、「そう思わない」が12.2%を占めている。

図 1-2-1 今の日本は基本的人権が尊重されている社会か



性別年齢別で見ると、女性よりも男性では「そう思う」、男性よりも女性では「いちがいいには言えない」がやや多くなっている。

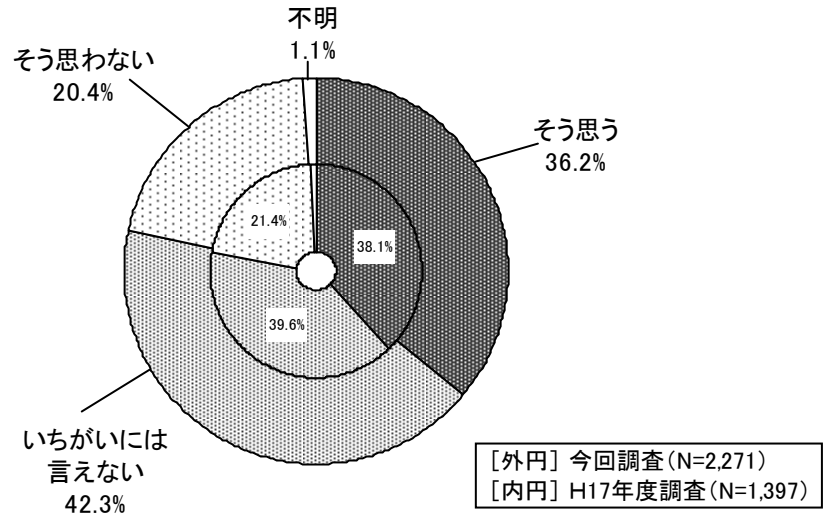
図 1-2-2 今の日本は基本的人権が尊重されている社会か(性別年齢別)



1-3. 国民一人ひとりの人権意識は10年前に比べて高くなっているか【問3】

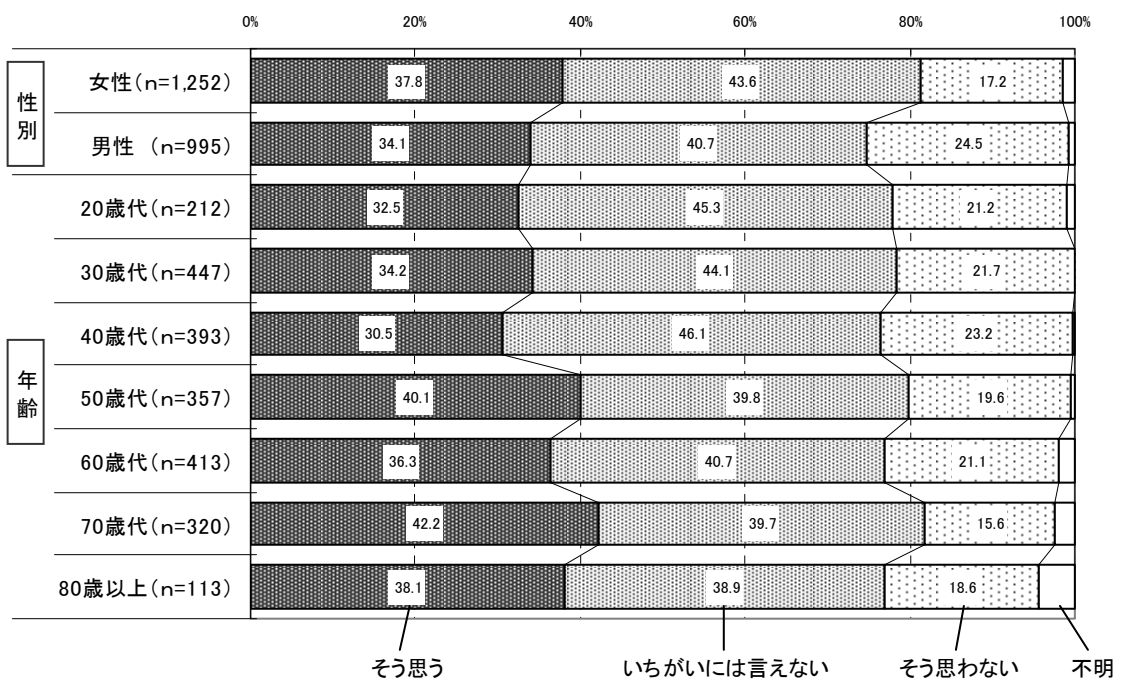
国民一人ひとりの人権意識は10年前に比べて高くなっていると思うかを尋ねたところ、「いちがいには言えない」が42.3%と最も多く、次いで「そう思う」が36.2%、「そう思わない」が20.4%を占めている。

図 1-3-1 国民一人ひとりの人権意識は10年前に比べて高くなっているか



性別年齢別で見ると、女性よりも男性では「そう思わない」がやや多くなっている。

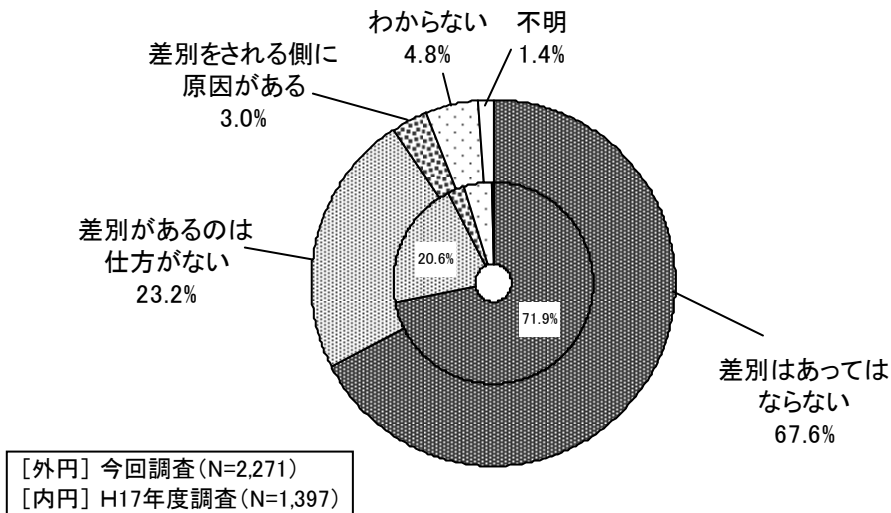
図 1-3-2 国民一人ひとりの人権意識は10年前に比べて高くなっているか(性別年齢別)



1-4. 差別についての認識と行為【問4】

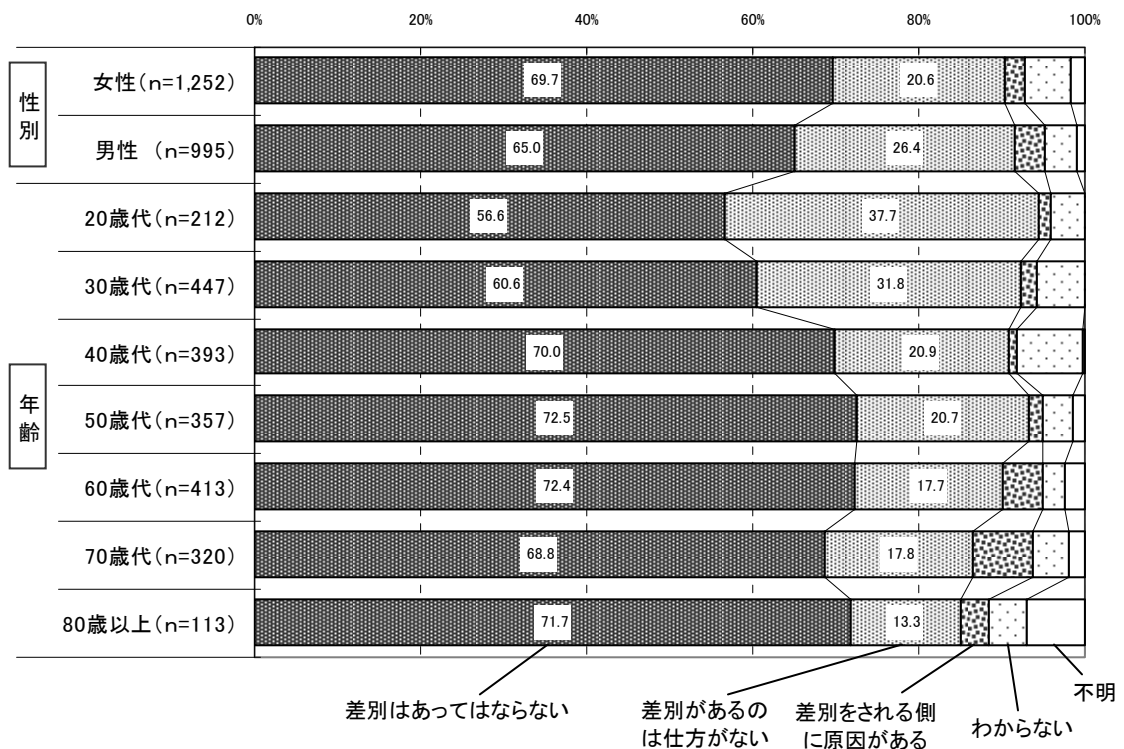
差別について、自分の考えに近いもの【問4-1】を尋ねたところ、「差別はあってはならない」が67.6%と最も多く、「差別があるのは仕方がない」が23.2%、「差別をされる側に原因がある」が3.0%を占めている。

図 1-4-1 差別についての認識



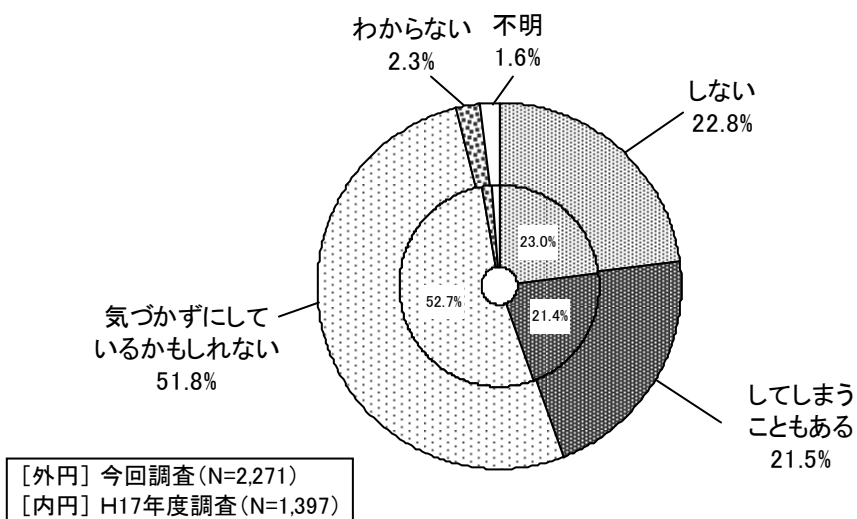
性別年齢別で見ると、「差別はあってはならない」の回答は、男性よりも女性でやや多く、40歳以上で多くなっている。また、年齢層が若いほど「差別があるのは仕方がない」、60歳以上で「差別をされる側に原因がある」が多くなっている。

図 1-4-2 差別についての認識(性別年齢別)



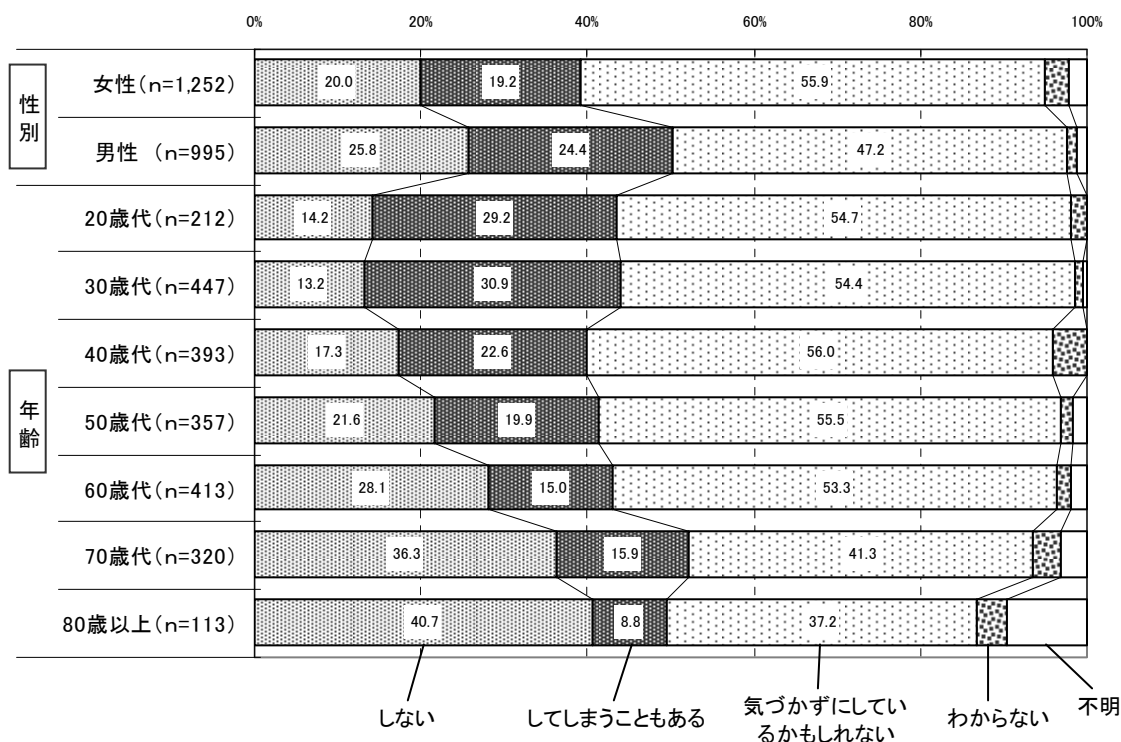
自分は差別をしているかどうか【問 4-2】を尋ねたところ、「気づかずにしているかもしれない」が51.8%と最も多く、「しない」が22.8%、「してしまうこともある」が21.5%を占めている。

図 1-4-3 差別についての行為



性別年齢別で見ると、男性よりも女性では「気づかずにしているかもしれない」が多くなっている。また、年齢層が高いほど「しない」、年齢層が若いほど「してしまうこともある」が多くなっている。

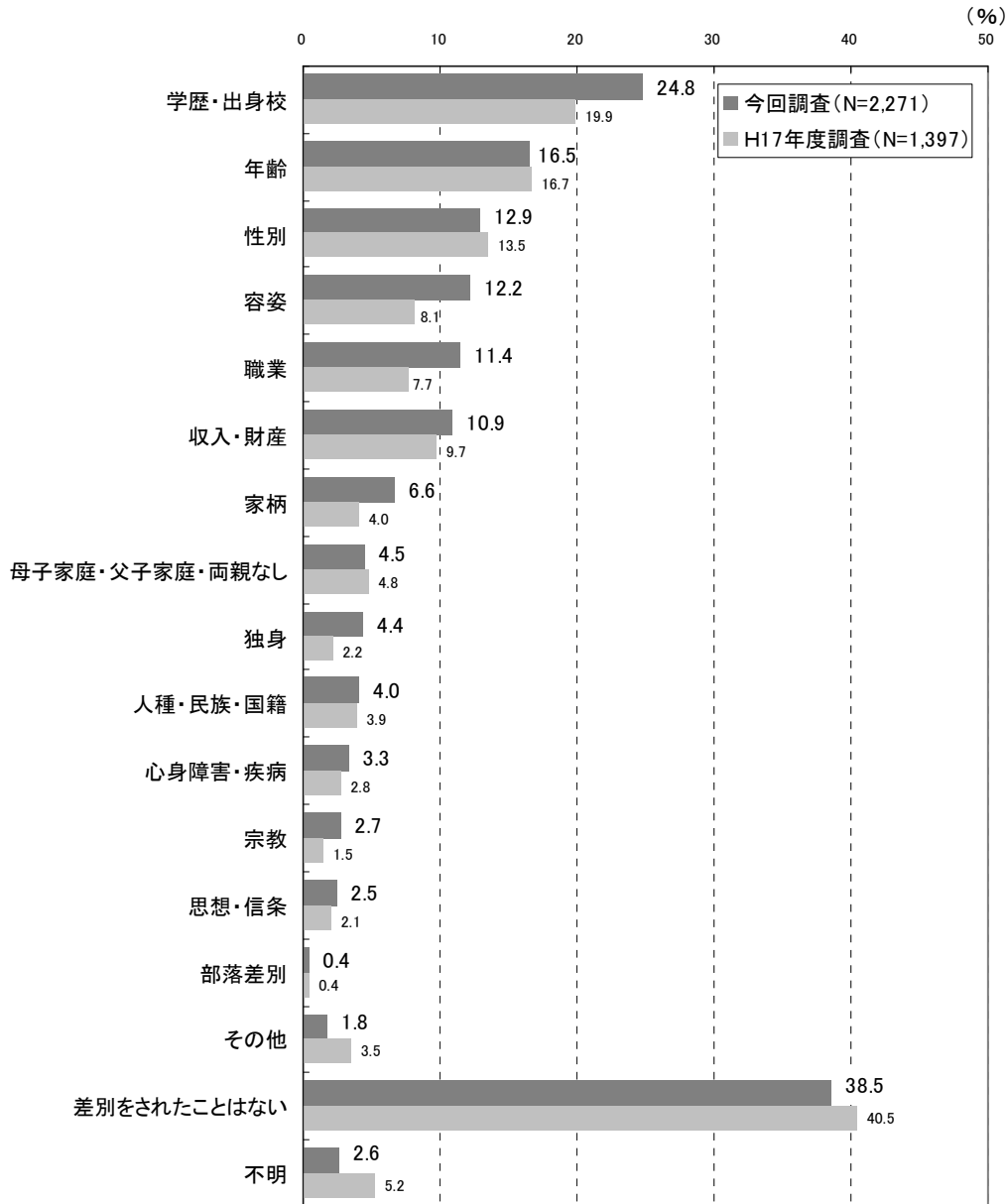
図 1-4-4 差別についての行為(性別年齢別)



1-5. 差別をされた経験【問5】

自分がこれまでに、差別をされたと思ったことがあるか、ある場合、何について差別をされたかを尋ねたところ、「差別をされたことはない」が 38.5%と多くを占める一方、差別されたことがある場合は「学歴・出身校」が 24.8%と最も多く、次いで「年齢」が 16.5%、「性別」が 12.9%を占めている。

図 1-5 差別をされた経験[複数回答]

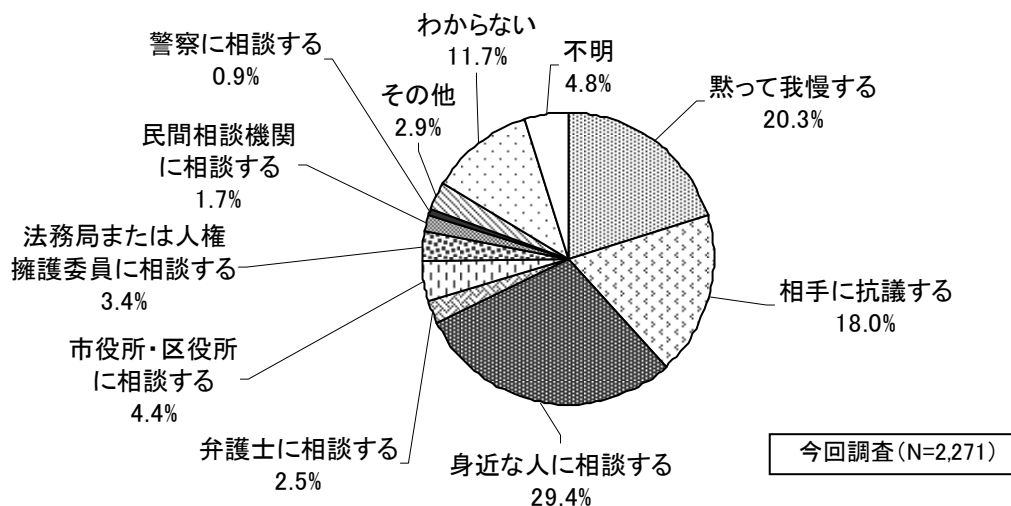


性別年齢別で見ると、男性よりも女性では「性別」、女性よりも男性では「学歴・出身校」が多くなっている。また、年齢層が高いほど「差別をされたことはない」、年齢層が若いほど「容姿」「性別」が多くなっている。(集計表 P105 表 6 参照)

1-6. 差別をされたり人権を侵害されたりした場合の対応【問6】

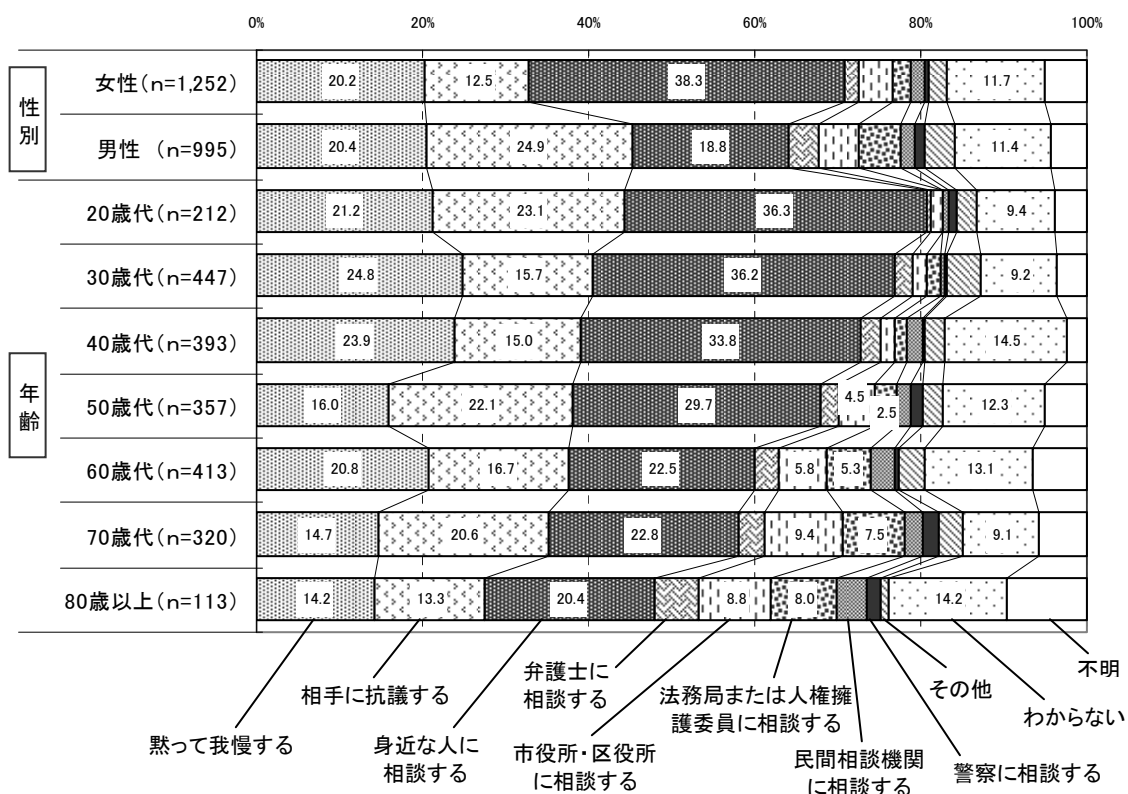
もし、自分が差別をされたり人権を侵害されたりした場合、まずどうするかを尋ねたところ、「身近な人に相談する」が29.4%と最も多く、次いで「黙って我慢する」が20.3%、「相手に抗議する」が18.0%を占めている。その他については、「差別の内容や相手など事例によって対応が違う」などの回答が多く見られた。

図 1-6-1 差別をされたり人権を侵害されたりした場合の対応



性別年齢別で見ると、女性よりも男性では「相手に抗議する」、男性よりも女性では「身近な人に相談する」が多くなっている。また、年齢層が若いほど「身近な人に相談する」、年齢層が高いほど「市役所・区役所に相談する」「法務局または人権擁護委員に相談する」が多くなっている。

図 1-6-2 差別をされたり人権を侵害されたりした場合の対応(性別年齢別)

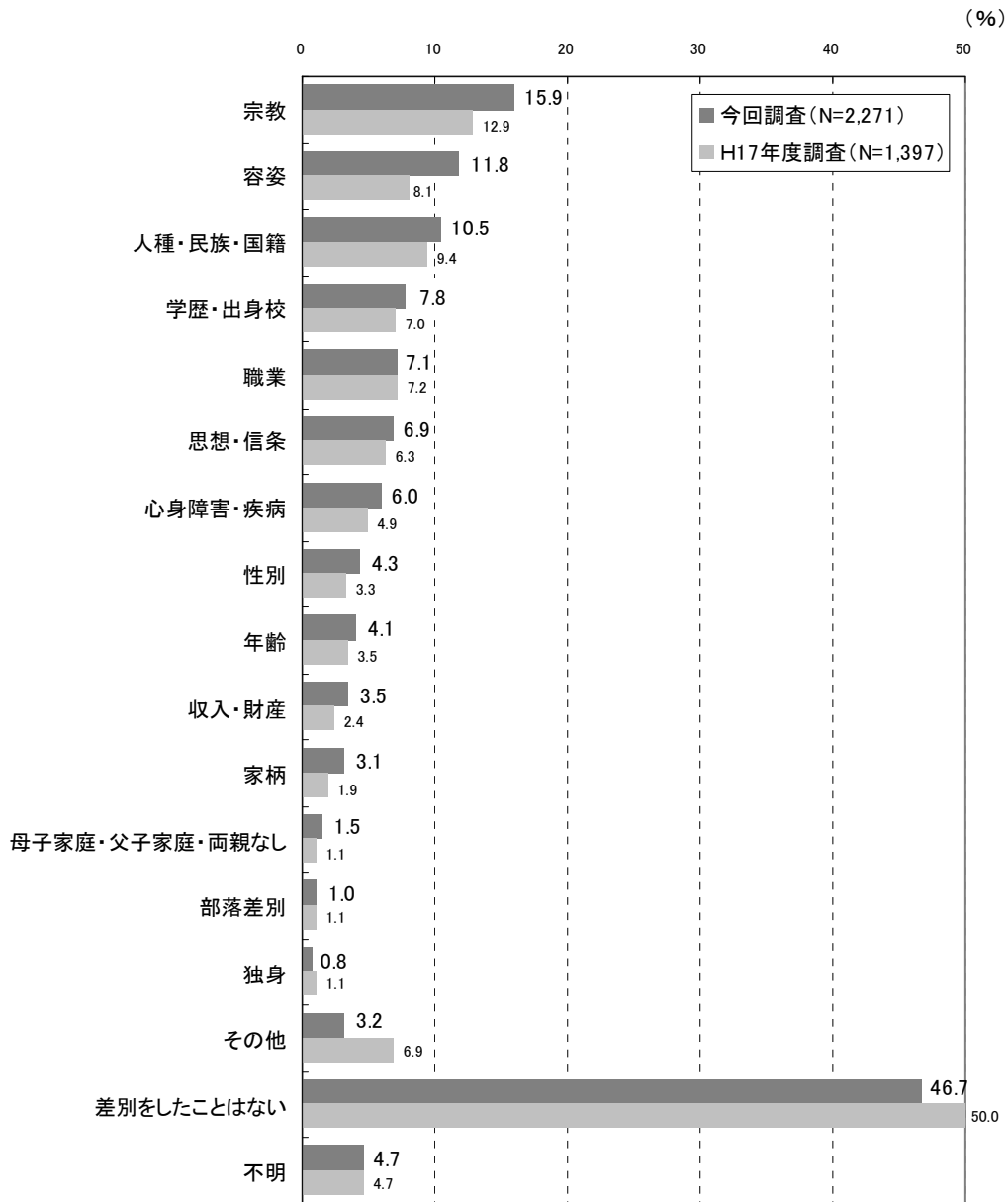


1-7. 他人を差別した経験【問7】

自分がこれまでに、他人を差別したことがあるか、ある場合、何について差別したことがあるかを尋ねたところ、「差別をしたことはない」が46.7%と多くを占める一方、差別したことがある場合は「宗教」が15.9%と最も多く、次いで「容姿」が11.8%、「人種・民族・国籍」が10.5%を占めている。

平成17年度調査では、「宗教」「人種・民族・国籍」「容姿」の順であった。

図 1-7 他人を差別した経験[複数回答]



性別年齢層別で見ると、年齢層が高いほど「差別をしたことはない」、年齢層が若いほど「容姿」が多くなっている。(集計表P107表8参照)

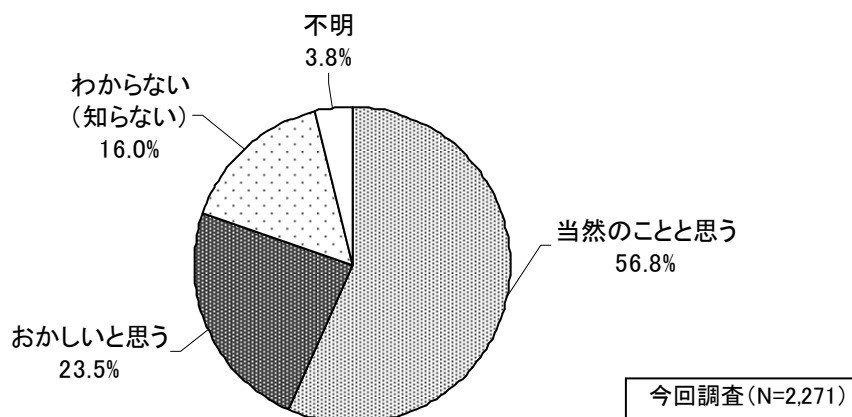
2. 風習や身元調査について

2-1. 風習についての認識と行為【問8】

お祝い事は「大安」の日を選ぶ、「友引」の日はお葬式を避けるという風習について、自分の考えに近いものはどれかを尋ねた。

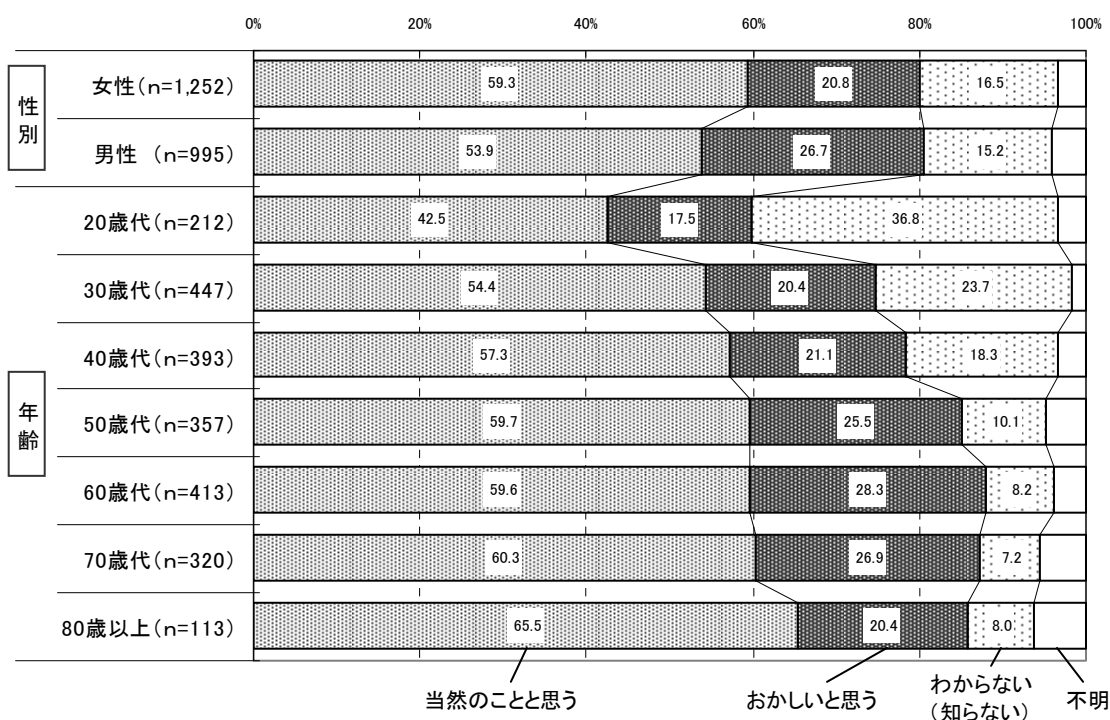
まず、このような風習についてどう思うか【問8-1】を尋ねたところ、「当然のことと思う」が56.8%と最も多く、「おかしいと思う」が23.5%、「わからない(知らない)」が16.0%を占めている。

図 2-1-1 風習についての認識



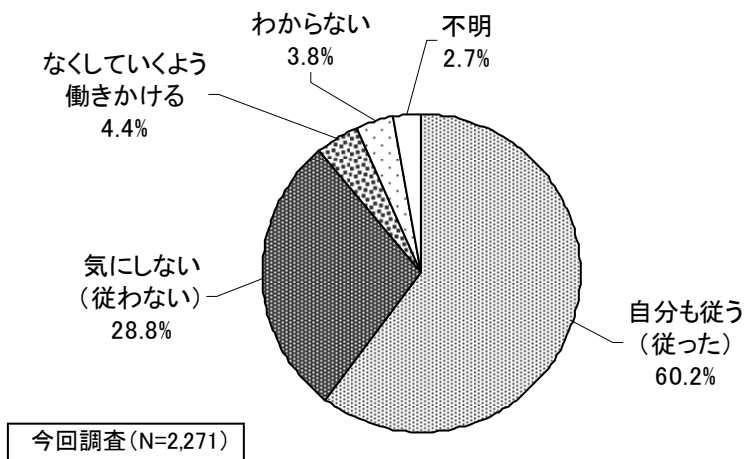
性別年齢別で見ると、男性よりも女性では「当然のことと思う」、女性よりも男性では「おかしいと思う」がやや多くなっている。また、年齢層が高いほど「当然のことと思う」がやや多く、40歳代以下の年齢層が若いほど「わからない(知らない)」が多くなっている。

図 2-1-2 風習についての認識(性別年齢別)



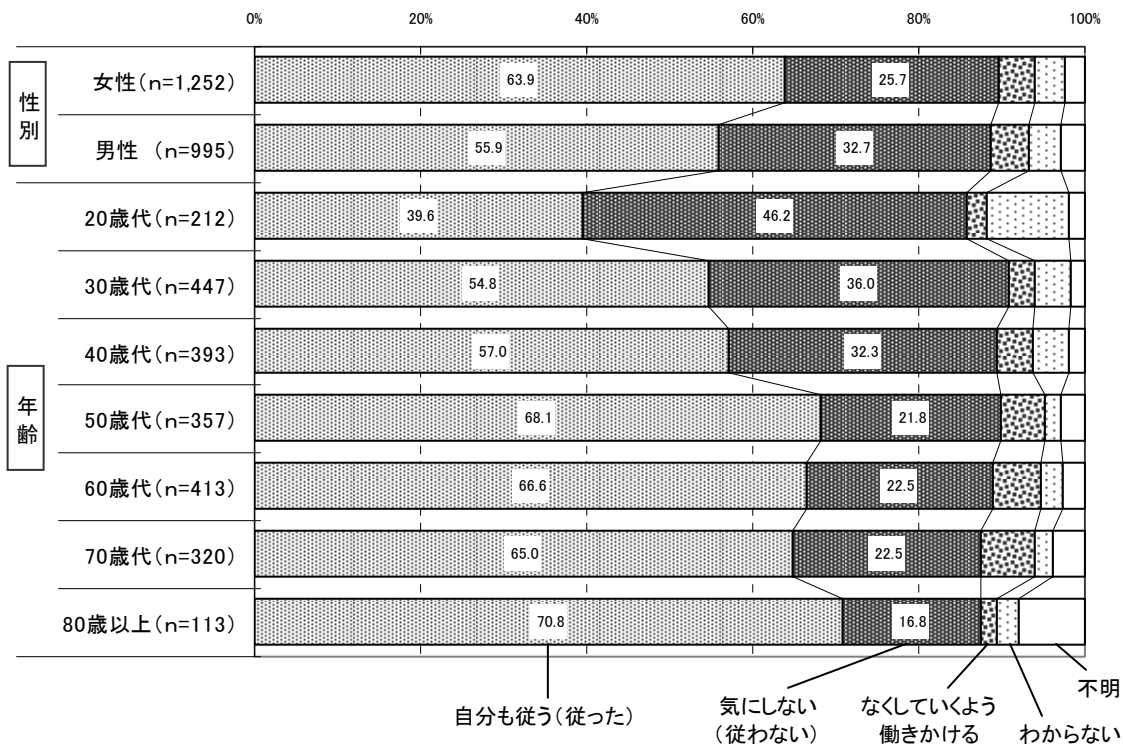
次に、このような風習について自分自身はどうか【問 8-2】を尋ねたところ、「自分も従う(従った)」が60.2%と最も多く、「気にしない(従わない)」が28.8%、「なくしていくよう働きかける」が4.4%、「わからない」が3.8%を占めている。

図 2-1-3 風習についての行為



性別年齢別で見ると、男性よりも女性では「自分も従う(従った)」、女性よりも男性では「気にしない(従わない)」が多くなっている。また、年齢層が高いほど「自分も従う(従った)」、40歳代以下の年齢層が若いほど「気にしない(従わない)」が多くなっている。

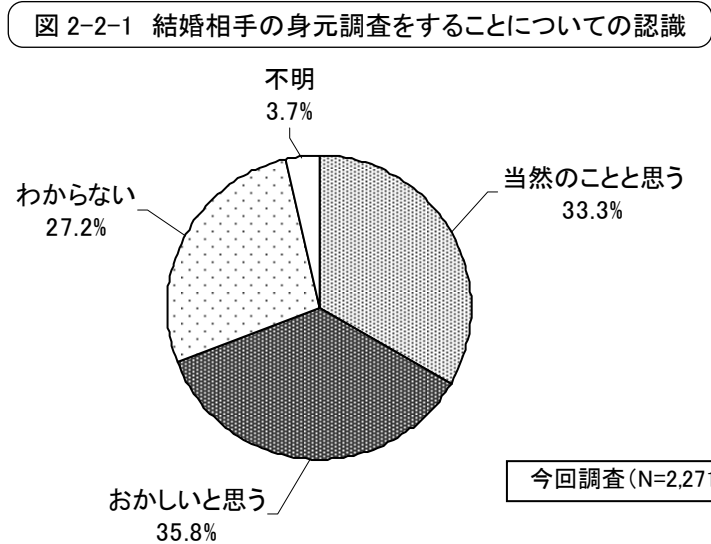
図 2-1-4 風習についての行為(性別年齢別)



2-2. 結婚相手の身元調査をすることについての認識と行為【問9】

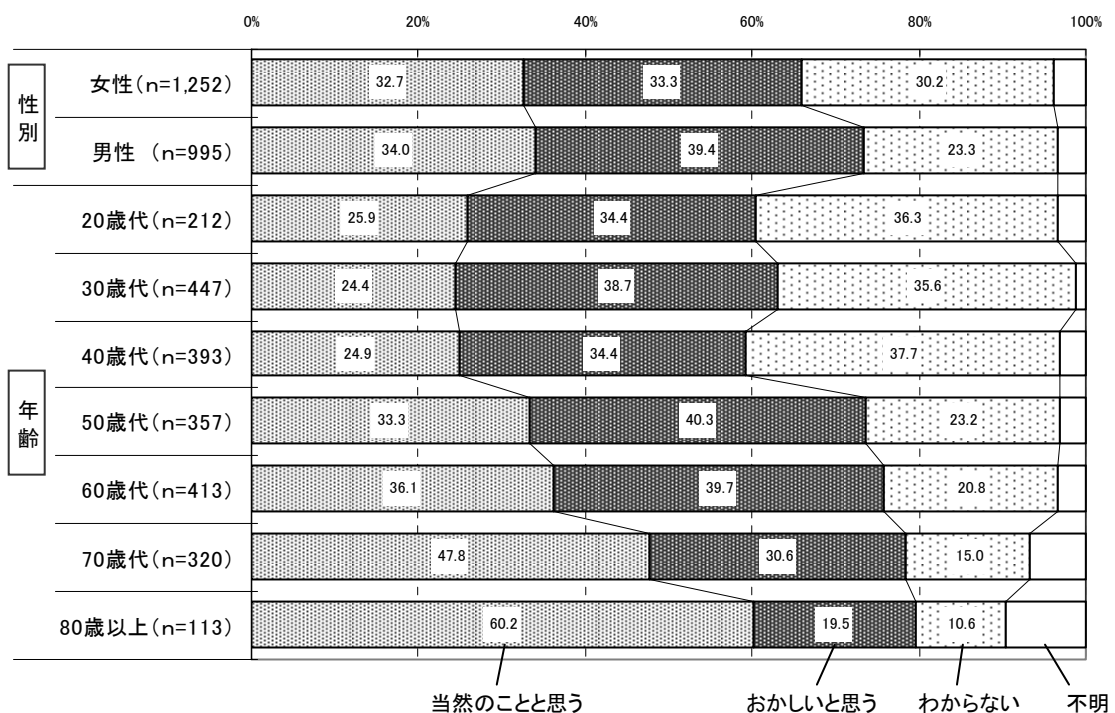
結婚相手を決めるときに相手の身元調査をすることについて、自分の考えに近いものはどれかを尋ねた。

まず、このような身元調査についてどう思うか【問9-1】を尋ねたところ、「おかしいと思う」が35.8%、「当然のことと思う」が33.3%と同程度の割合を占めている。また「わからない」が27.2%となっている。



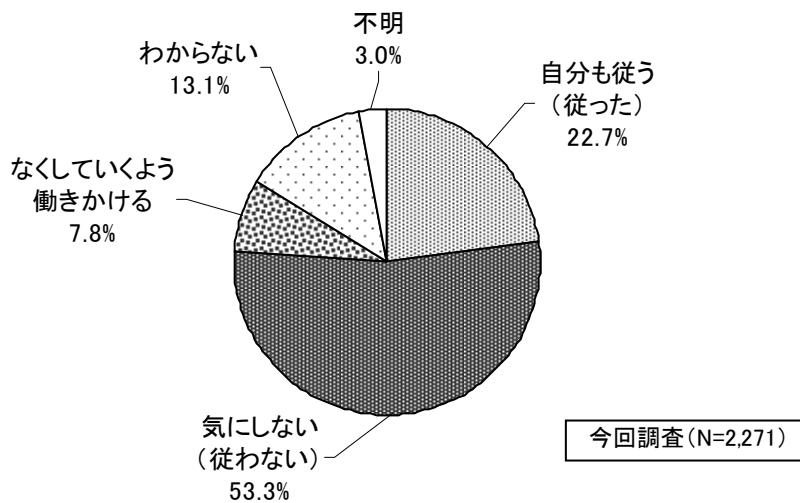
性別年齢別で見ると、女性よりも男性では「おかしいと思う」がやや多くなっている。また、年齢層が高いほど「当然のことと思う」、40歳代以下で「わからない」が多くなっている。

図 2-2-2 結婚相手の身元調査をすることについての認識(性別年齢別)



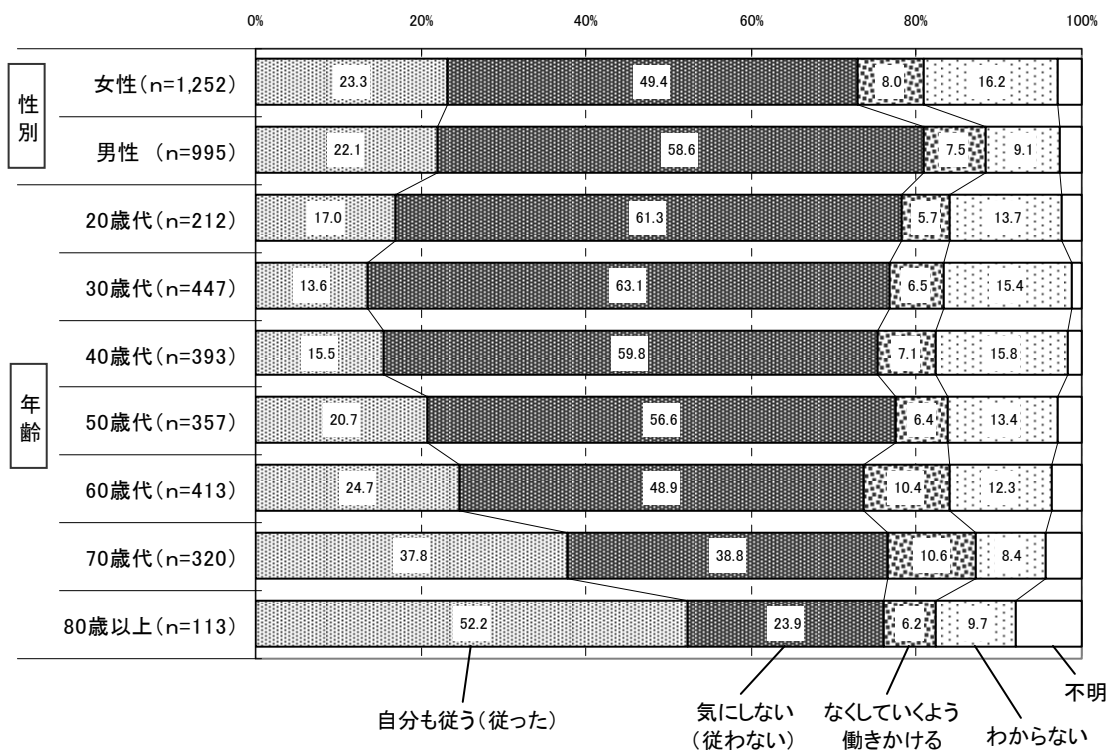
次に、このような身元調査について自分自身はどうか【問9-2】を尋ねたところ、「気にしない(従わない)」が53.3%と最も多く、「自分も従う(従った)」が22.7%、「わからない」が13.1%、「なくしていくよう働きかける」が7.8%を占めている。

図 2-2-3 結婚相手の身元調査をすることについての行為



性別年齢別で見ると、女性よりも男性では「気にしない(従わない)」が多くなっている。また、年齢層が高いほど「自分も従う(従った)」、50歳代以下で「気にしない(従わない)」が多くなっている。

図 2-2-4 結婚相手の身元調査をすることについての行為(性別年齢別)

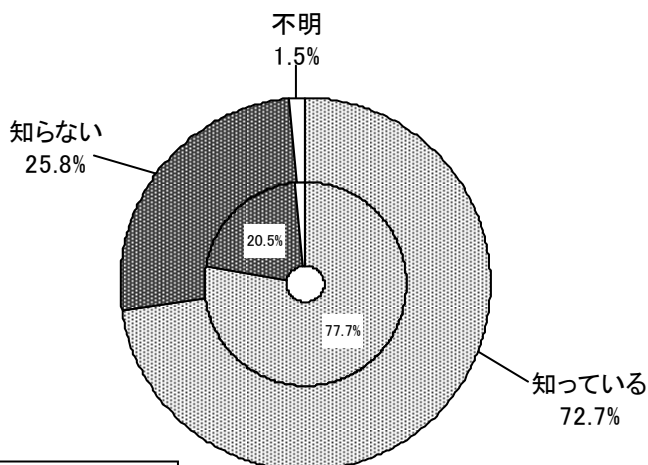


3. 同和問題について

3-1. 同和地区や同和問題についての認知【問 10】

日本の社会に「同和地区」「被差別部落」などと呼ばれ、差別を受けている地区があること、あるいは「同和問題」「部落問題」「部落差別」などと言われる問題があるのを知っているかを尋ねたところ、「知っている」が72.7%、「知らない」が25.8%を占めている。

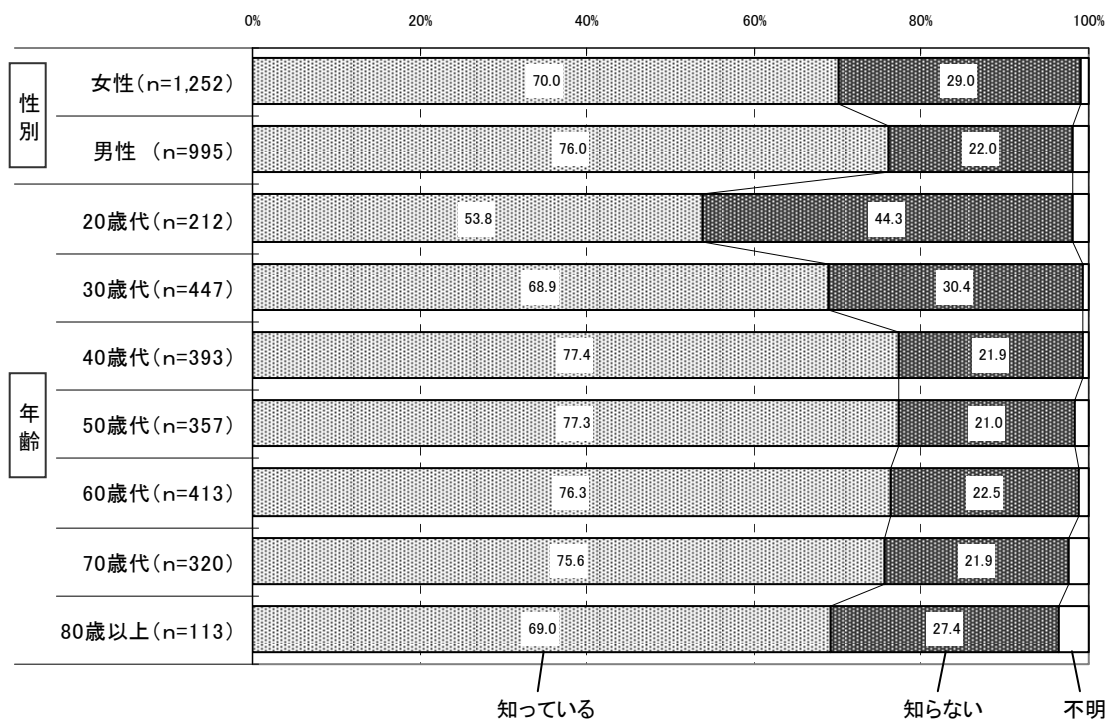
図 3-1-1 同和地区や同和問題についての認知



[外円] 今回調査(N=2,271)
[内円] H17年度調査(N=1,397)

性別年齢別で見ると、30歳以下の年齢層が若いほど「知らない」が多くなっている。

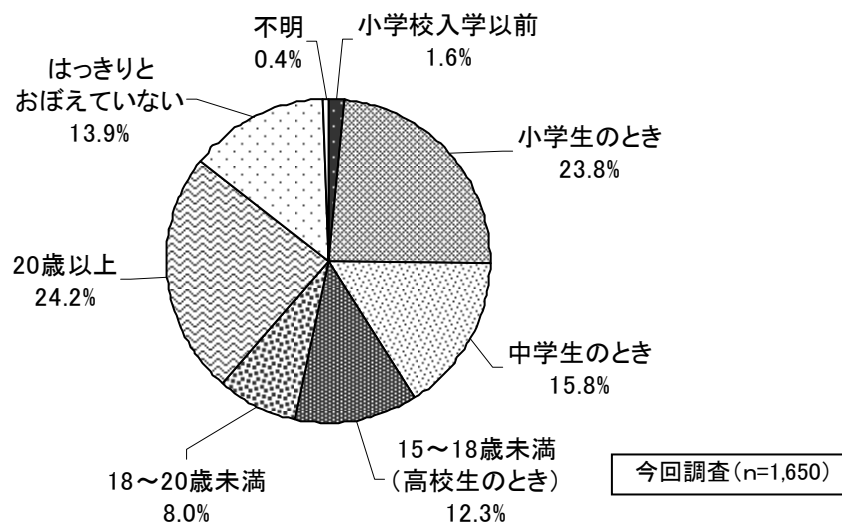
図 3-1-2 同和地区や同和問題についての認知(性別年齢別)



3-2. 同和地区や同和問題についての認知時期【問 11】

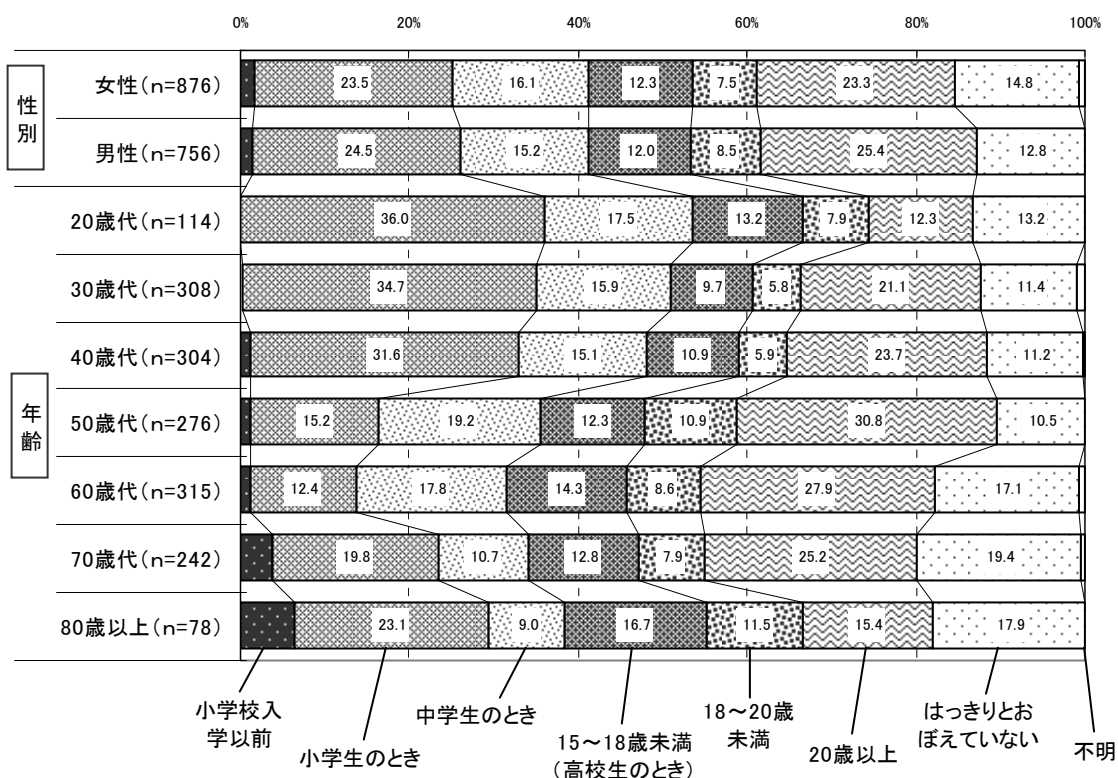
同和地区や同和問題について「知っている」と回答した人に対し、初めて知ったのはいつ頃かを尋ねたところ、「20歳以上」が24.2%、「小学生のとき」が23.8%と同程度で最も多く、次いで「中学生のとき」が15.8%となっている。

図 3-2-1 同和地区や同和問題についての認知時期



性別年齢別で見ると、40歳代以下で「小学生のとき」、50～70歳代で「20歳以上」が多くなっている。

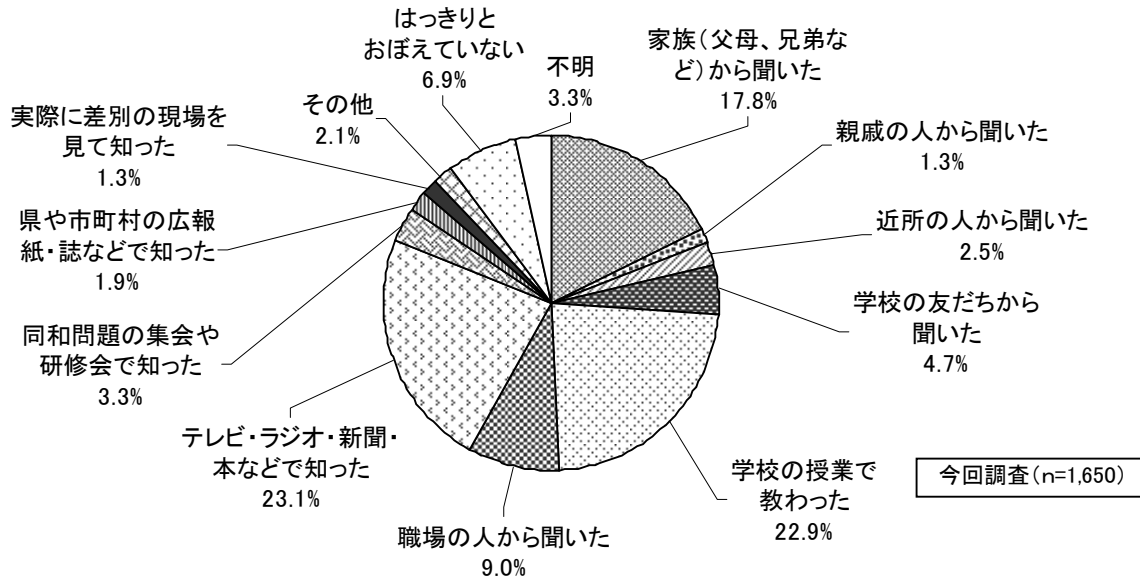
図 3-2-2 同和地区や同和問題についての認知時期(性別年齢別)



3-3. 同和地区や同和问题について知ったきっかけ【問 12】

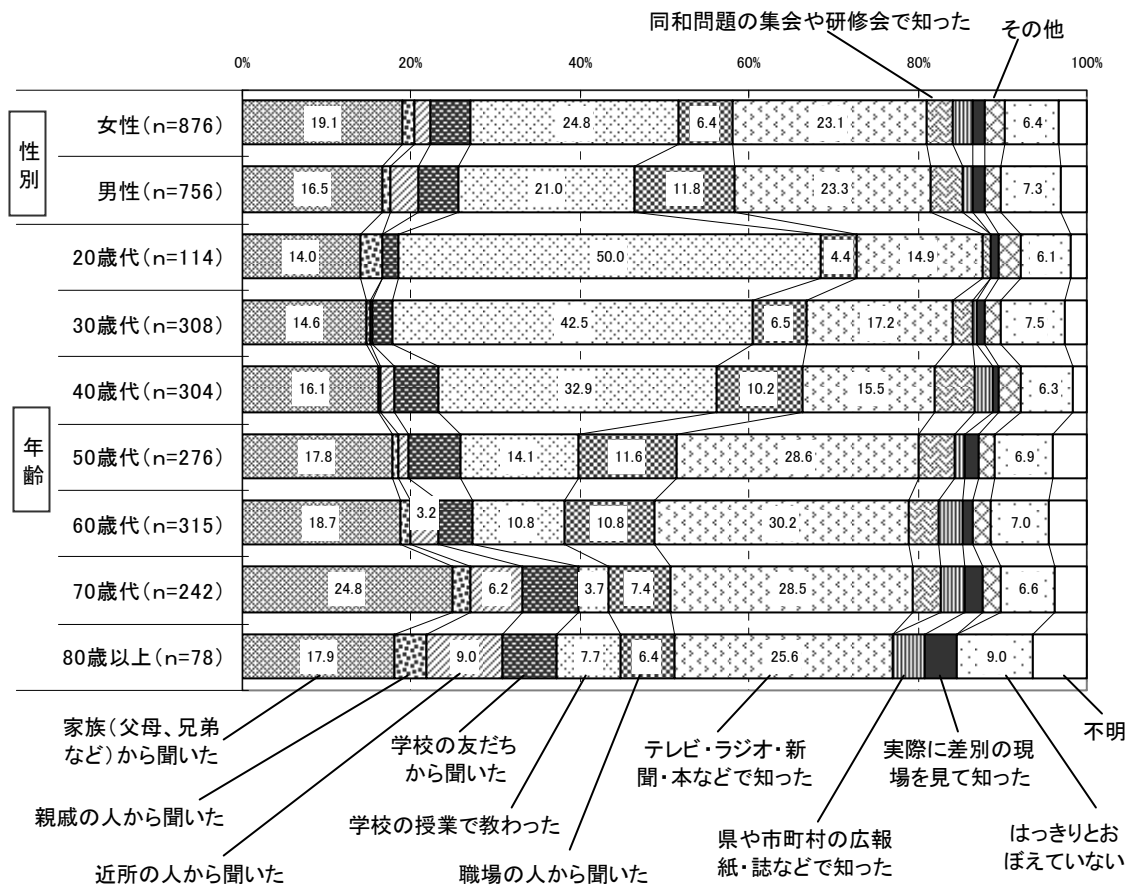
同和地区や同和问题について「知っている」と回答した人に対し、初めて知ったきっかけを尋ねたところ、「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」が 23.1%と最も多く、次いで「学校の授業で教わった」が 22.9%、「家族から聞いた」が 17.8%を占めている。

図 3-3-1 同和地区や同和问题について知ったきっかけ



性別年齢別で見ると、女性よりも男性では「職場」がやや多くなっている。また、40歳代以下の年齢層が若いほど「学校の授業」、50歳代以上で「テレビ・ラジオ・新聞・本など」が多くなっている。

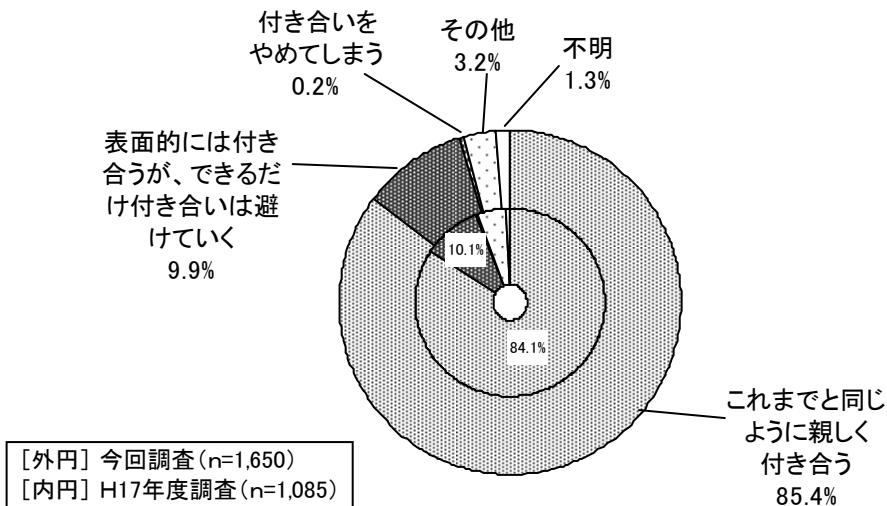
図 3-3-2 同和地区や同和问题について知ったきっかけ(性別年齢別)



3-4. 親しい人が同和地区出身であることがわかった場合の対応【問 13】

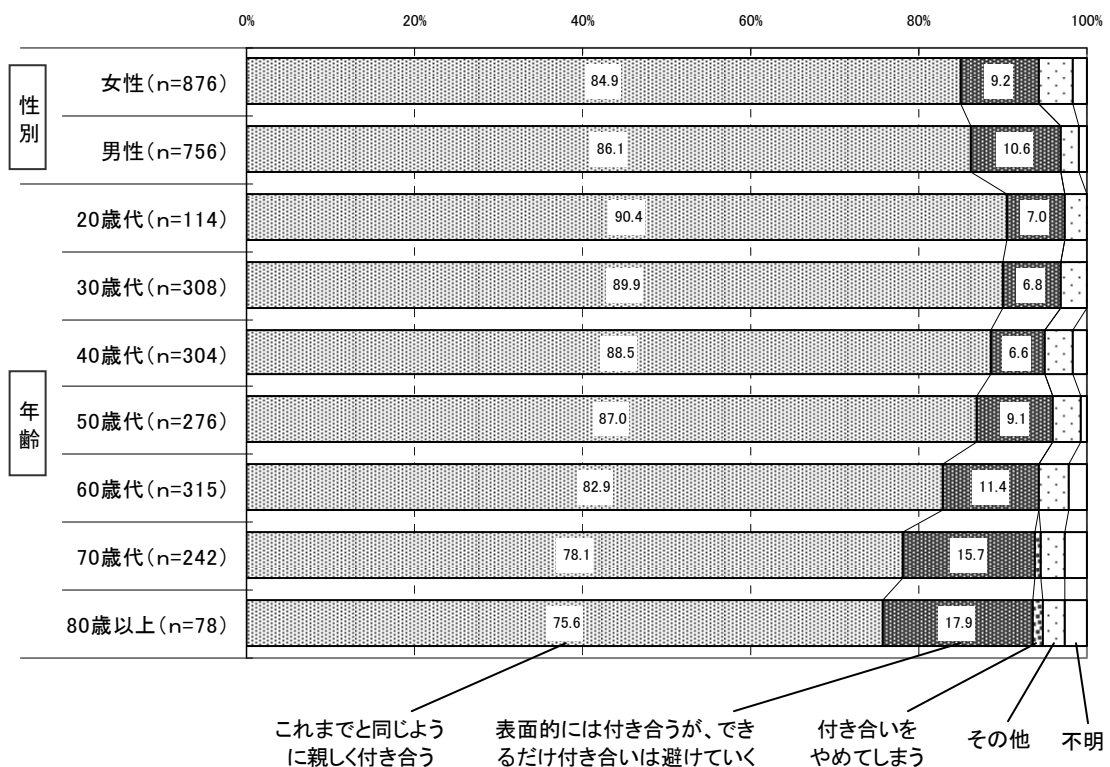
同和地区や同和问题について「知っている」と回答した人に対し、日ごろ親しく付き合い合っている隣近所の人が、何かのことで、同和地区出身の人であることが分かった場合、自分はどのようにするかを尋ねたところ、「これまでと同じように親しく付き合い」が 85.4%と最も多く、「表面的には付き合いが、できるだけ付き合いは避けていく」が 9.9%を占めている。

図 3-4-1 親しい人が同和地区出身であることがわかった場合の対応



性別年齢別で見ると、年齢層が高いほど「表面的には付き合いが、できるだけ付き合いは避けていく」が多くなっている。

図 3-4-2 親しい人が同和地区出身であることがわかった場合の対応(性別年齢別)

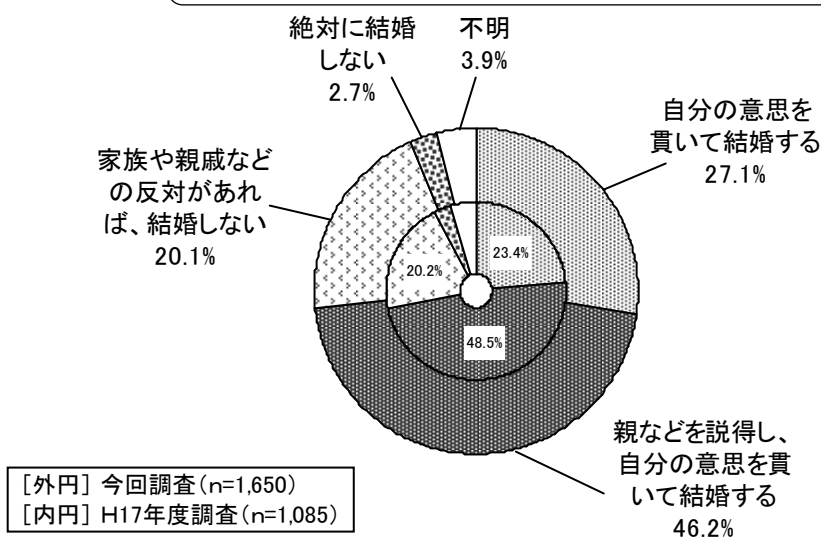


3-5. 同和地区出身の人との結婚についての対応【問 14】

同和地区や同和问题について「知っている」と回答した人に対し、同和地区出身の人との結婚について尋ねた。

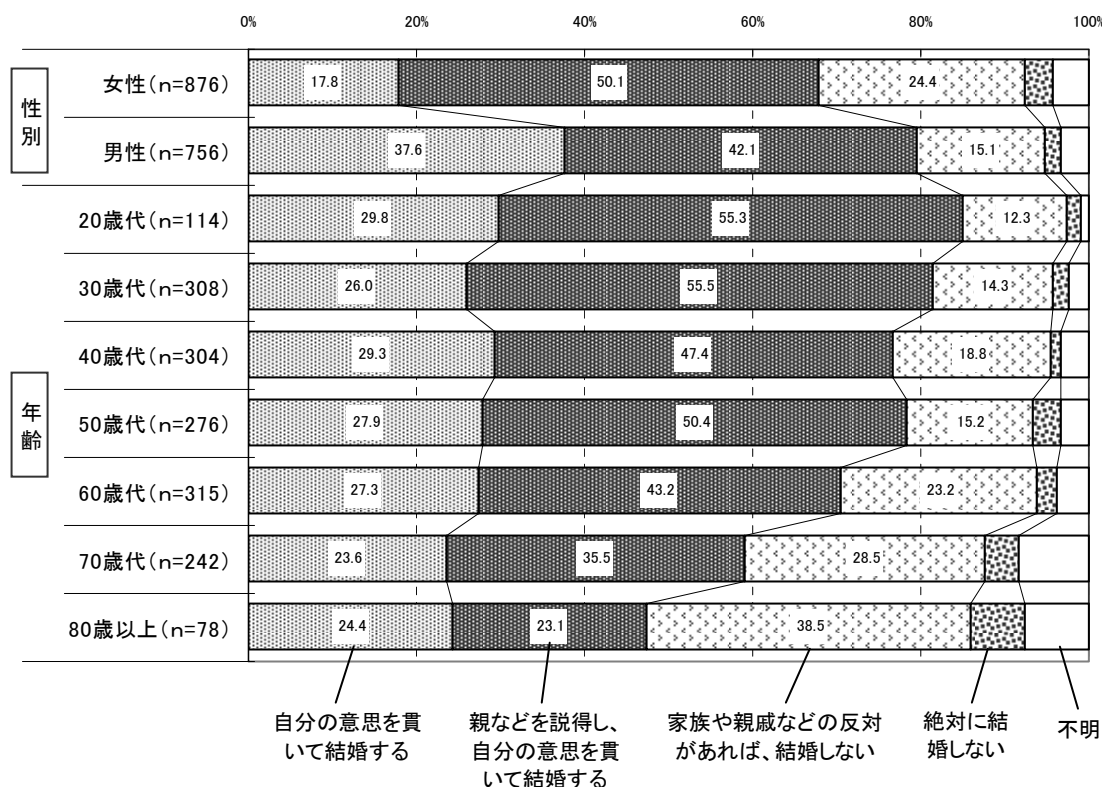
まず、自分が同和地区出身の人と恋愛し、結婚しようとしたとき、親や親戚などから強い反対を受けたらどうするか【問 14-1】を尋ねたところ、「親などを説得し、自分の意思を貫いて結婚する」が46.2%と最も多く、次いで「自分の意思を貫いて結婚する」が27.1%、「家族や親戚などの反対があれば、結婚しない」が20.1%を占めている。

図 3-5-1 同和地区出身の人と自分との結婚についての対応



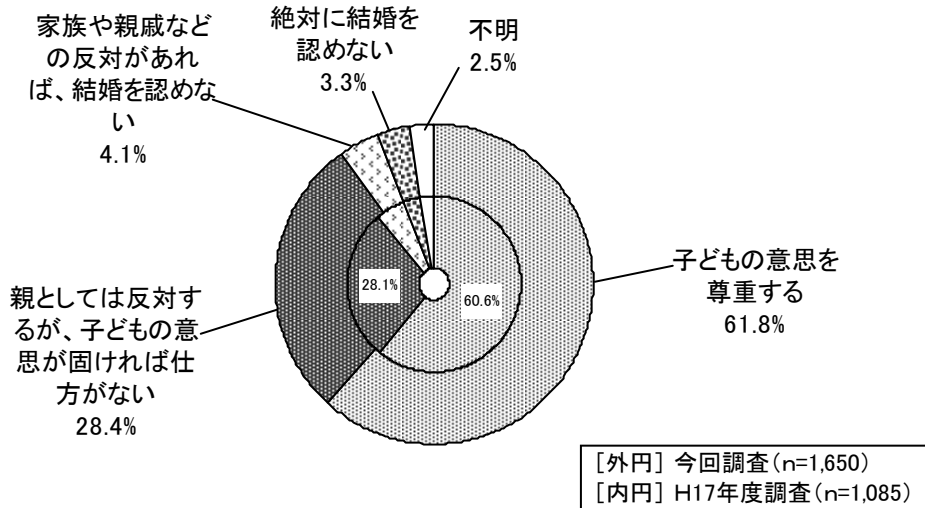
性別年齢別で見ると、女性よりも男性では「自分の意思を貫いて結婚する」が多くなっている。また、年齢層が若いほど「親などを説得し、自分の意思を貫いて結婚する」、年齢層が高いほど「家族や親戚などの反対があれば、結婚しない」が多くなっている。

図 3-5-2 同和地区出身の人と自分との結婚についての対応(性別年齢別)



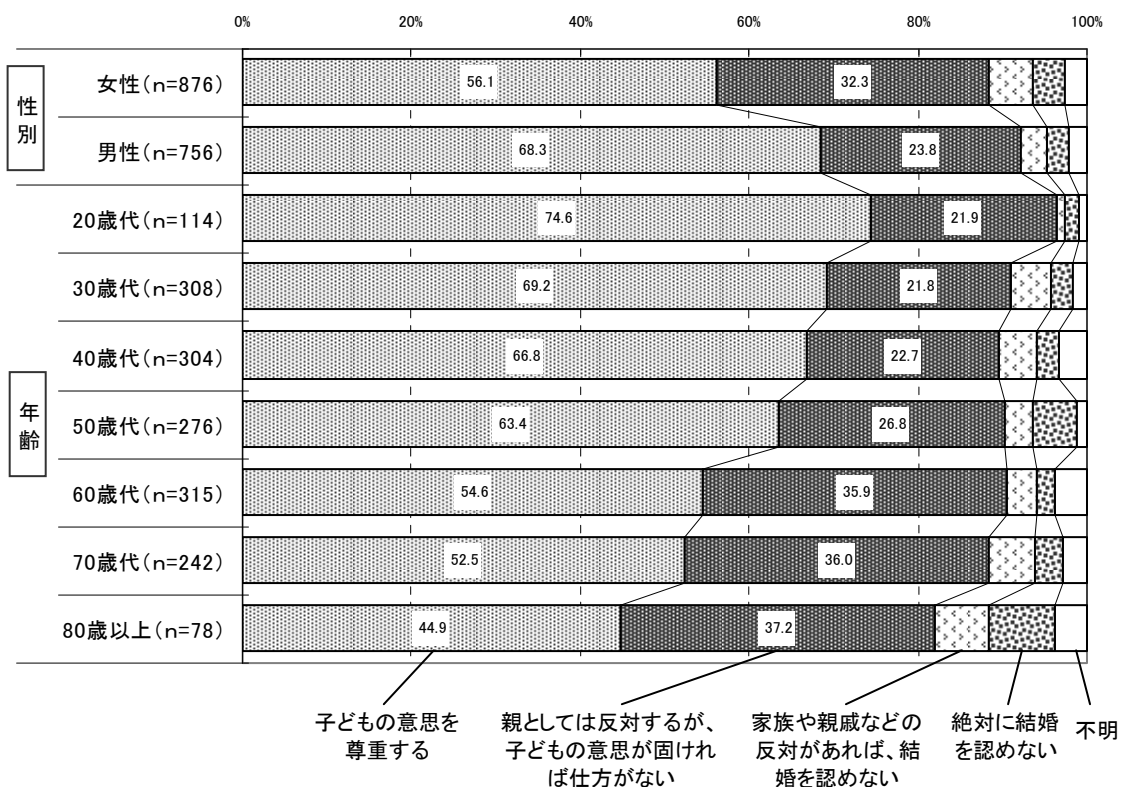
次に、自分の子どもが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であると分かった場合、自分は親としてどうするか【問 14-2】を尋ねたところ、「子どもの意思を尊重する」が61.8%と最も多く、次いで「親としては反対するが、子どもの意思が固ければ仕方がない」が28.4%を占めている。

図 3-5-3 同和地区出身の人と自分の子どもとの結婚についての対応



性別年齢別で見ると、女性よりも男性では「子どもの意思を尊重する」が多くなっている。また、年齢層が若いほど「子どもの意思を尊重する」、年齢層が高いほど「親としては反対するが、子どもの意思が固ければ仕方がない」が多くなっている。

図 3-5-4 同和地区出身の人と自分の子どもとの結婚についての対応(性別年齢別)

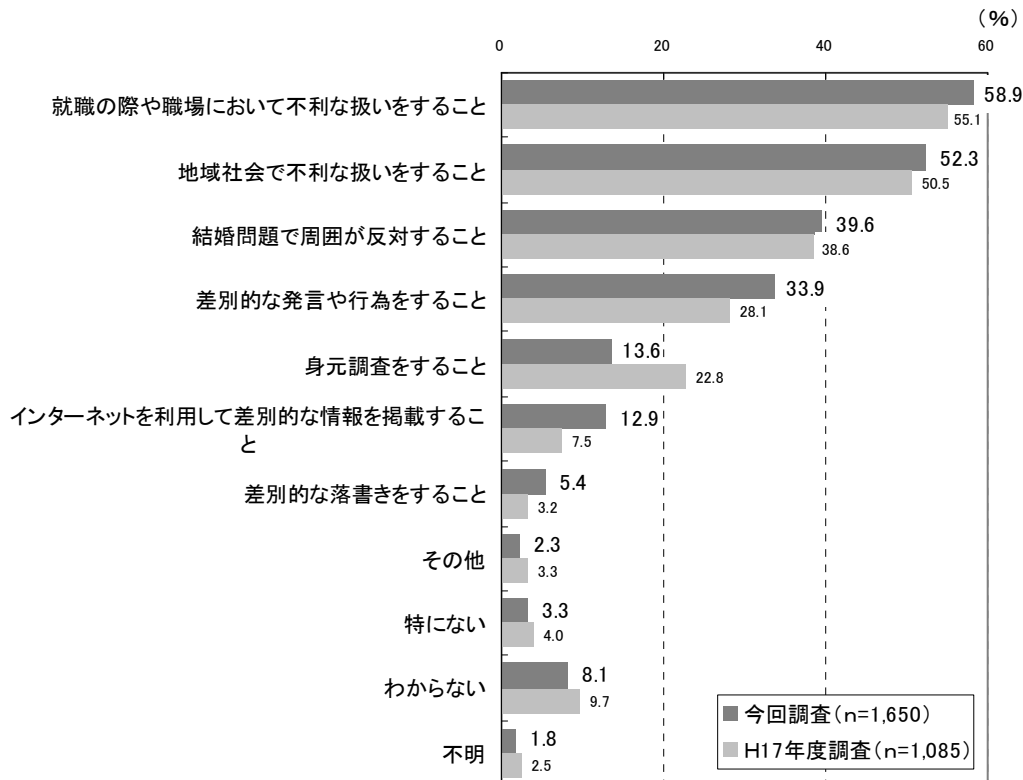


3-6. 同和問題で人権上問題があると思うこと【問 15】

同和地区や同和問題について「知っている」と回答した人に対し、同和問題で、人権上特に問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「就職の際や職場において不利な扱いをすること」が 58.9%と最も多く、次いで「地域社会で不利な扱いをすること」が 52.3%、「結婚問題で周囲が反対すること」が 39.6%を占めている。

平成 17 年度調査では、「身元調査をすること」が 22.8%であったが、今回調査では 13.6%と少なくなっている。

図 3-6 同和問題で人権上問題があると思うこと[複数回答]

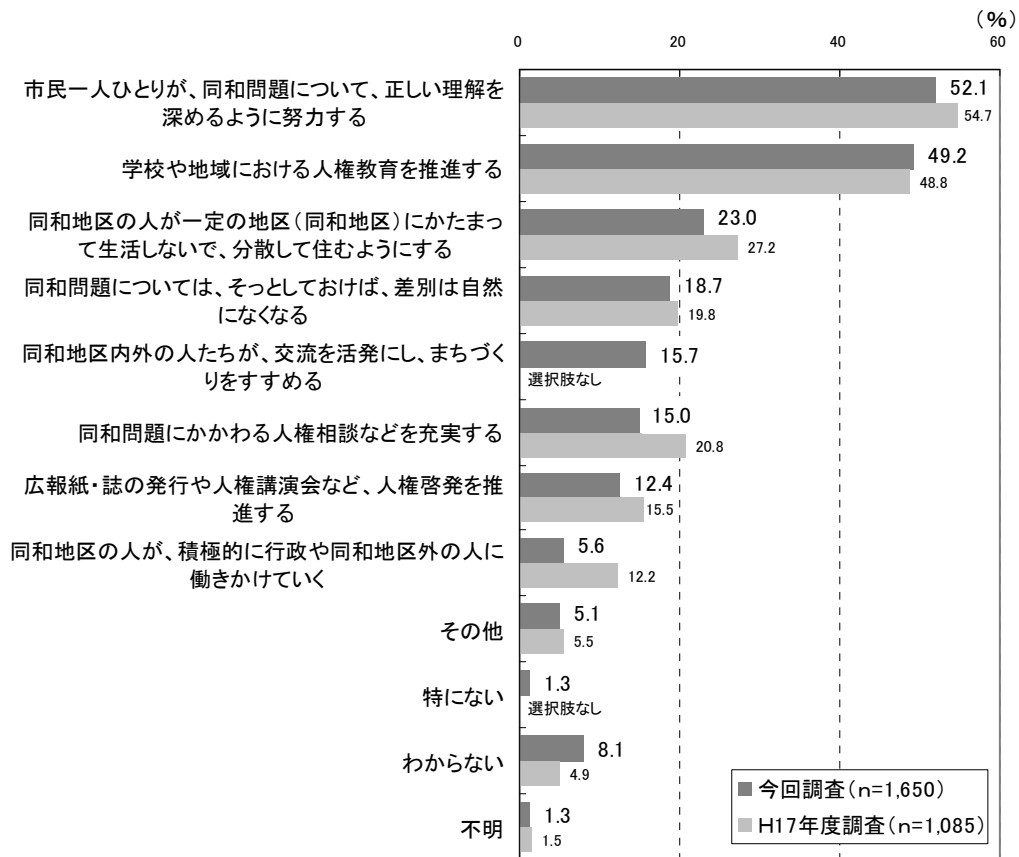


性別年齢別で見ると、80 歳以上で「身元調査をすること」、年齢層が若いほど「就職の際や職場において不利な扱いをすること」「地域社会で不利な扱いをすること」が多くなっている。(集計表 P 114 表 19 参照)

3-7. 同和問題を解決するために必要なこと【問 16】

同和地区や同和問題について「知っている」と回答した人に対し、同和問題を解決するために、どのようなことが必要だと思うかを尋ねたところ、「市民一人ひとりが、同和問題について、正しい理解を深めるように努力する」が 52.1%、「学校や地域における人権教育を推進する」が 49.2%と同程度で最も多くなっている。今回調査で新たに設けた「同和地区内外の人たちが、交流を活発にし、まちづくりをすすめる」は 15.7%となっている。

図 3-7 同和問題を解決するために必要なこと[複数回答]



性別年齢別で見ると、70 歳代以上で「そっとしておけば自然になくなる」、年齢層が若いほど「市民一人ひとりが、正しい理解を深めるように努力する」「学校や地域における人権教育を推進する」が多くなっている。(集計表 P 115 表 20 参照)

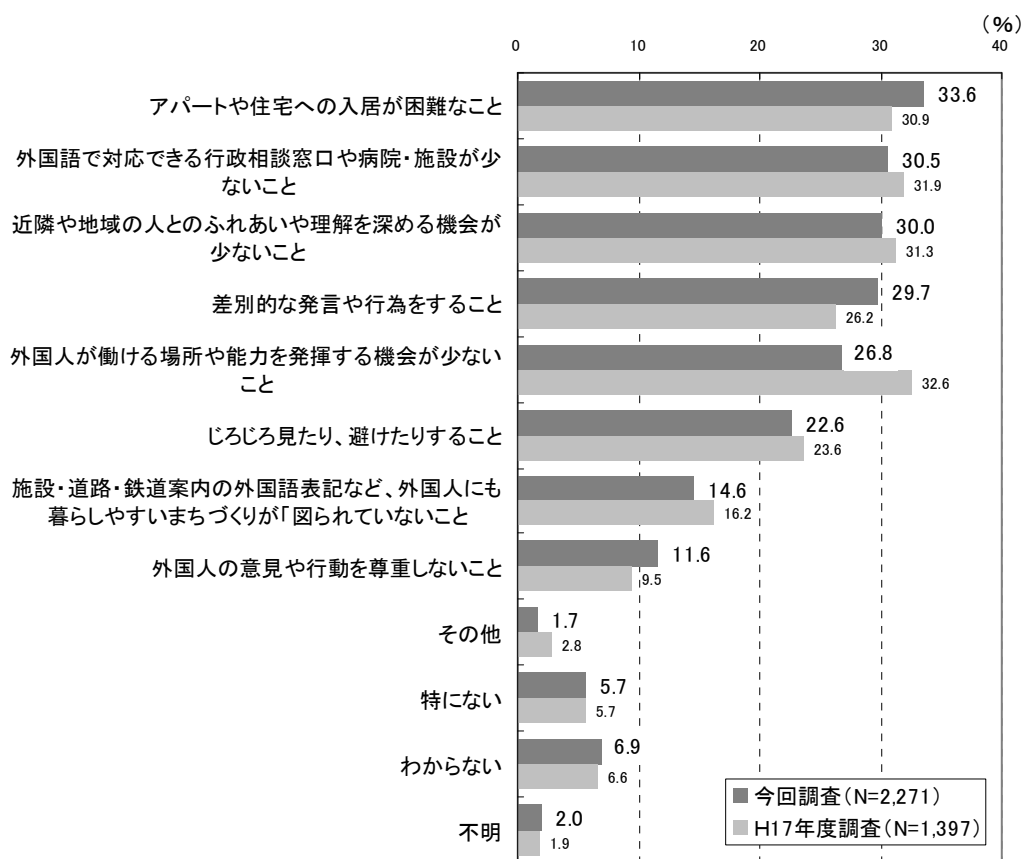
4. 人権問題に対する課題や施策について

4-1. 外国人について人権上問題があると思うこと【問 17】

外国人が地域で生活するとき、人権上特に問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「アパートや住宅への入居が困難なこと」が 33.6%と最も多く、次いで「外国語で対応できる行政相談窓口や病院・施設が少ないこと」が 30.5%、「近隣や地域の人とのふれあいや理解を深める機会が少ないこと」が 30.0%を占めている。

平成 17 年度調査では、「外国人が働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」が 32.6%と最も多かったが、今回調査では 26.8%で 5 番目となっている。

図 4-1 外国人について人権上問題があると思うこと[複数回答]

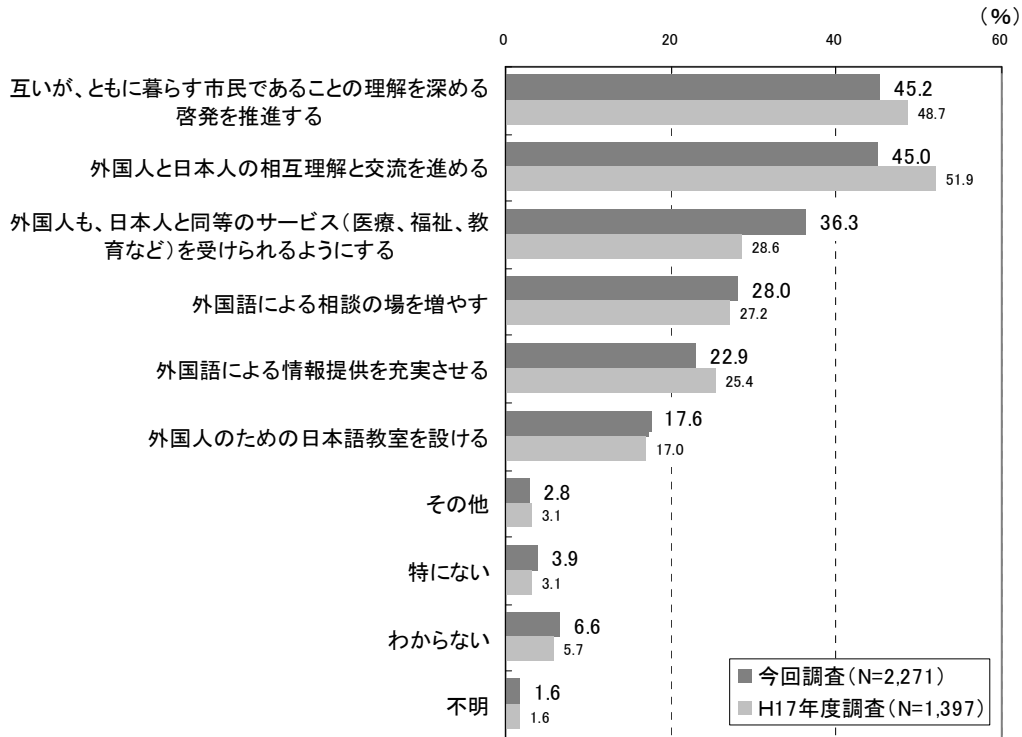


性別年齢別で見ると、50 歳代以上で「近隣や地域の人とのふれあいや理解を深める機会が少ないこと」、年齢層が若いほど「差別的な発言や行為をすること」「アパートや住宅への入居が困難なこと」が多くなっている。(集計表 P 116 表 21 参照)

4-2. 外国人の人権を守るために必要なこと【問 18】

外国人の人権を守るために、どのようなことが必要だと思うかを尋ねたところ、「互いが、ともに暮らす市民であることの理解を深める啓発を推進する」が45.2%、「外国人と日本人の相互理解と交流を進める」が45.0%と同程度で最も多く、次いで「外国人も、日本人と同等のサービス(医療、福祉、教育など)を受けられるようにする」が36.3%を占めている。

図 4-2 外国人の人権を守るために必要なこと[複数回答]



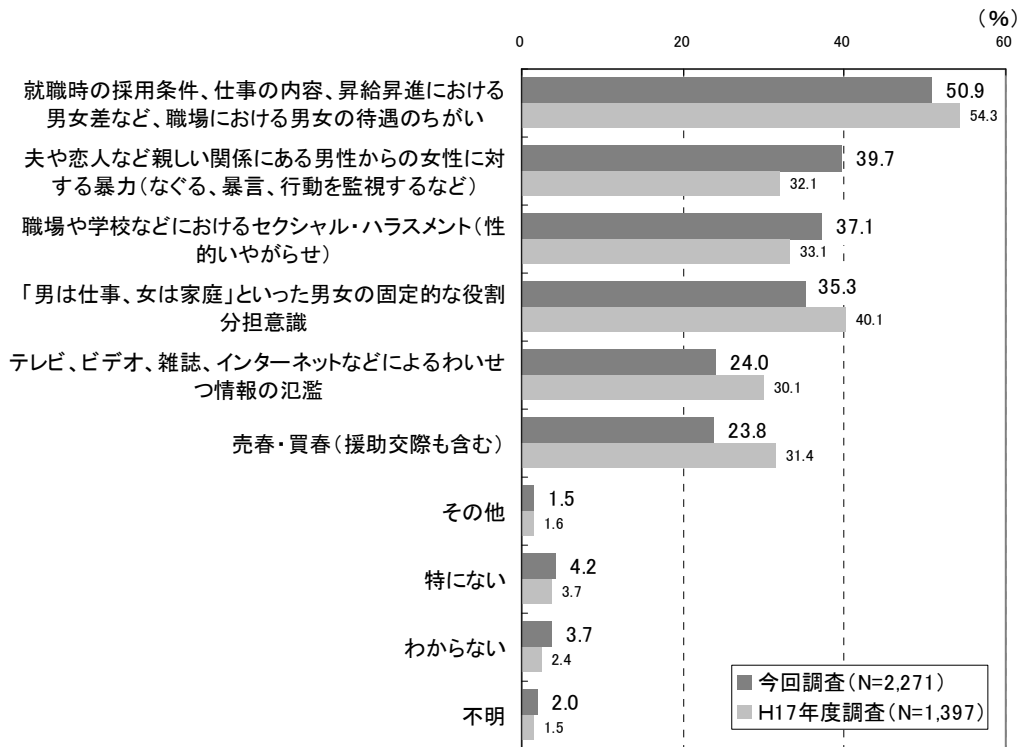
性別年齢別で見ると、女性よりも男性では「外国人と日本人の相互理解と交流を進める」が多くなっている。(集計表 P 117 表 22 参照)

4-3. 女性について人権上問題があると思うこと【問 19】

女性に関することでは、人権上特に問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「職場における男女の待遇のちがいが」50.9%と最も多く、次いで「親しい関係にある男性からの女性に対する暴力」が39.7%、「セクシャル・ハラスメント」が37.1%を占めている。

平成 17 年度調査では、「男女の固定的な役割分担意識」が 40.1%と 2 番目であったが、今回調査では 35.3%で 4 番目となっている。

図 4-3 女性について人権上問題があると思うこと[複数回答]



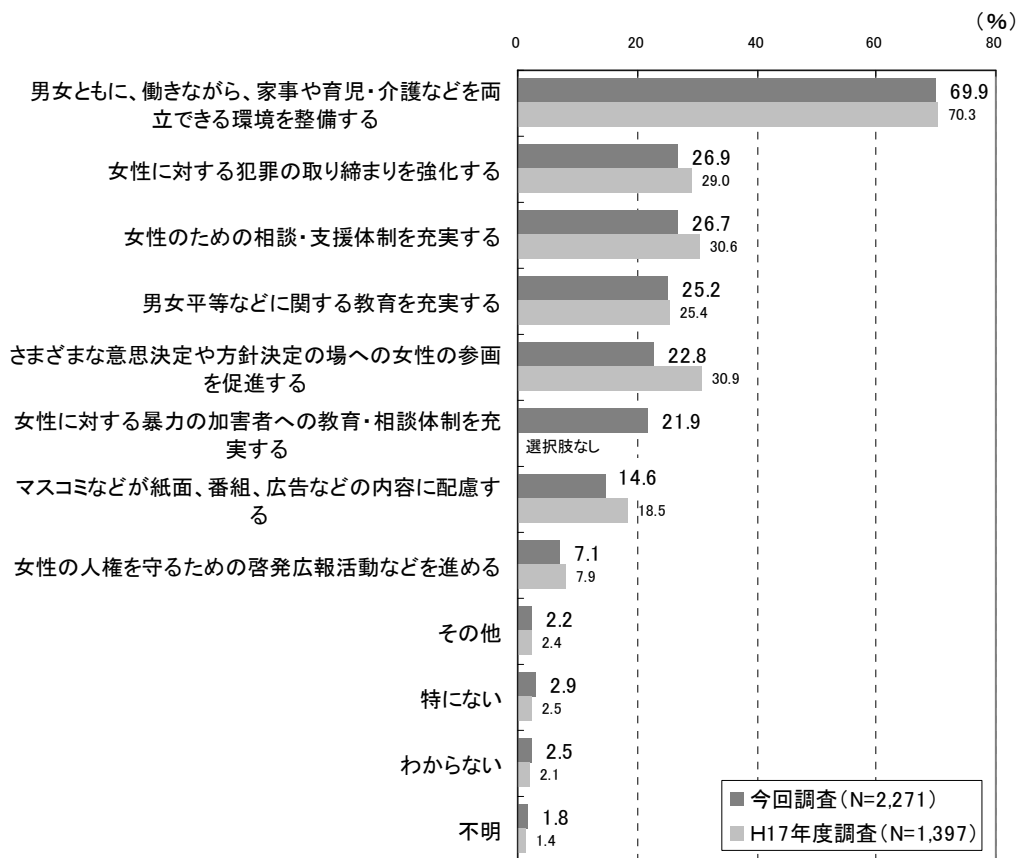
性別年齢別で見ると、男性よりも女性で、また年齢層が高いほど「わいせつ情報の氾濫」が多くなっている。さらに、40 歳代以下で「セクシャル・ハラスメント」、60 歳代以下で「男性からの女性に対する暴力」が多くなっている。(集計表 P118 表 23 参照)

4-4. 女性の人権を守るために必要なこと【問 20】

女性の人権を守るために、どのようなことが必要だと思うかを尋ねたところ、「働きながら、家事や育児・介護などを両立できる環境を整備する」が69.9%と最も多く、次いで「女性に対する犯罪の取り締まりを強化する」が26.9%、「女性のための相談・支援体制を充実する」が26.7%を占めている。今回調査で新たに設けた「女性に対する暴力の加害者への教育・相談体制を充実する」は21.9%となっている。

平成17年度調査では、「意思決定や方針決定の場への女性の参画を促進する」が30.9%であったが、今回調査では22.8%と少なくなっている。

図 4-4 女性の人権を守るために必要なこと[複数回答]



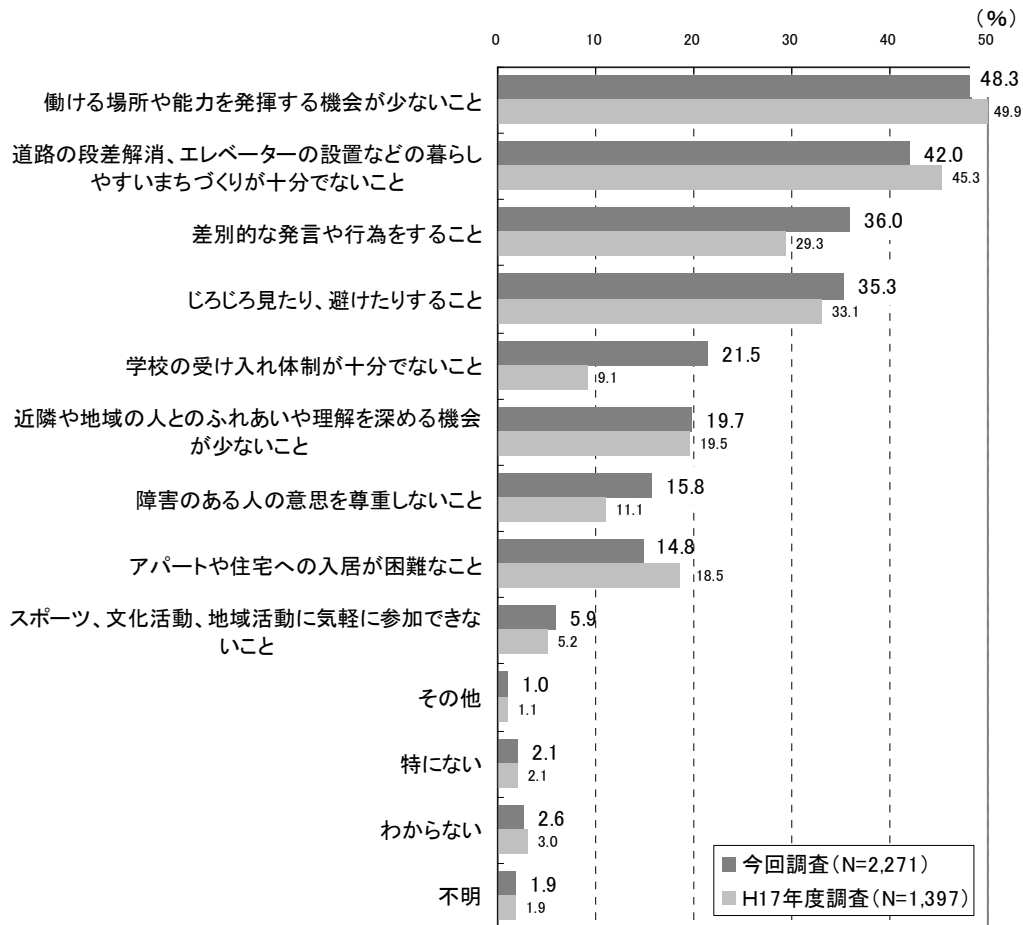
性別年齢別で見ると、60歳代以上で「女性の人権を守るための啓発広報活動を進める」、40歳代以下で「女性に対する犯罪の取り締まりを強化する」が多くなっている。また、50～70歳代で「意思決定や方針決定の場への女性の参画を促進する」が多くなっている。(集計表 P119 表 24 参照)

4-5. 障害のある人について人権上問題があると思うこと【問 21】

障害のある人が地域で生活するとき、人権上特に問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」が48.3%と最も多く、次いで「暮らしやすいまちづくりが十分でないこと」が42.0%、「差別的な発言や行為をすること」が36.0%を占めている。

平成17年度調査では、「学校の受け入れ体制が十分でないこと」が9.1%であったが、今回調査では21.5%と多くなっている。

図 4-5 障害のある人について人権上問題があると思うこと[複数回答]

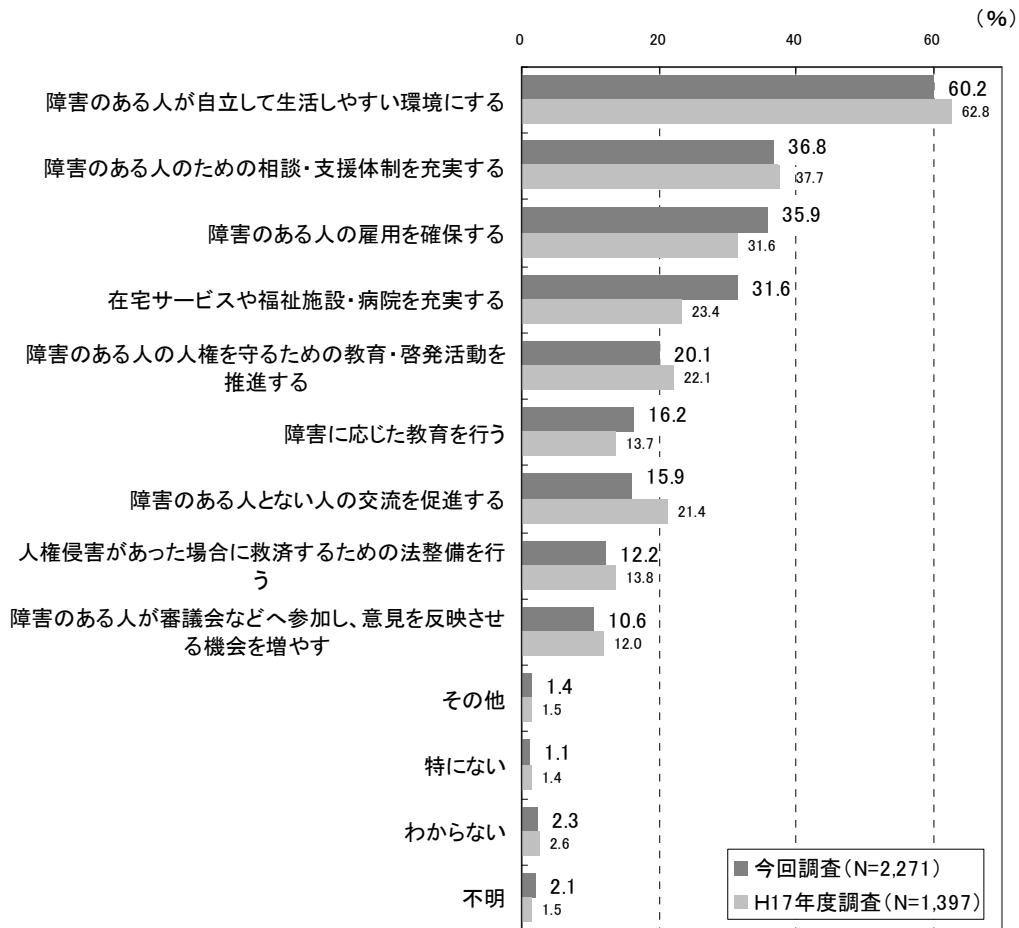


性別年齢別で見ると、40歳代以下で「差別的な発言や行為をすること」、60歳代以下で「学校の受け入れ体制が十分でないこと」、50歳代以上で「近隣や地域の人とのふれあいや理解を深める機会が少ないこと」が多くなっている。(集計表 P120 表 25 参照)

4-6. 障害のある人の人権を守るために必要なこと【問 22】

障害のある人の人権を守るために、どのようなことが必要だと思うかを尋ねたところ、「自立して生活しやすい環境にする」が60.2%と最も多く、次いで「障害のある人のための相談・支援体制を充実する」が36.8%、「障害のある人の雇用を確保する」が35.9%を占めている。

図 4-6 障害のある人の人権を守るために必要なこと[複数回答]



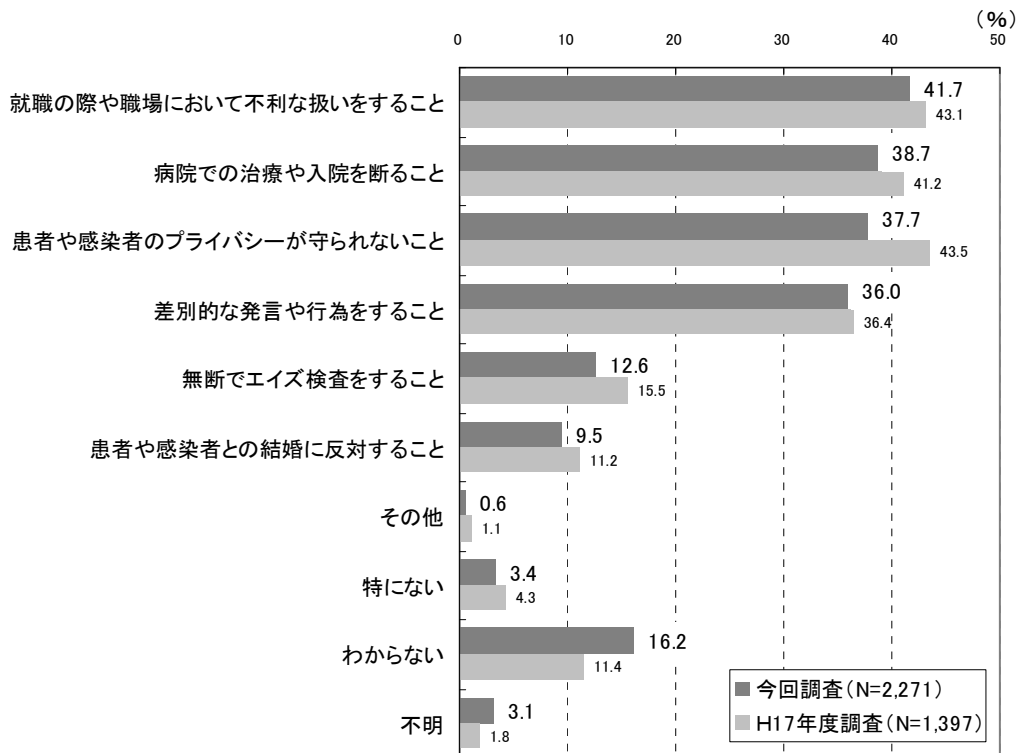
性別年齢別で見ると、年齢層が若いほど「障害のある人とない人の交流を促進する」が多くなっている。また、50歳代以上で「相談・支援体制を充実する」がやや多くなっている。(集計表 P 121 表 26 参照)

4-7. エイズ患者やH I V感染者について人権上問題があると思うこと【問 23】

エイズ患者やH I V(エイズウィルス)感染者に関する事で、人権上特に問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「就職や職場において不利な扱いをすること」が41.7%と最も多く、次いで「病院での治療や入院を断ること」が38.7%、「プライバシーが守られないこと」が37.7%、「差別的な発言や行為をすること」が36.0%を占めている。

平成 17 年度調査では、「プライバシーが守られないこと」が43.5%と最も多かったが、今回調査では37.7%で3番目となっている。

図 4-7 エイズ患者やHIV感染者について人権上問題があると思うこと[複数回答]

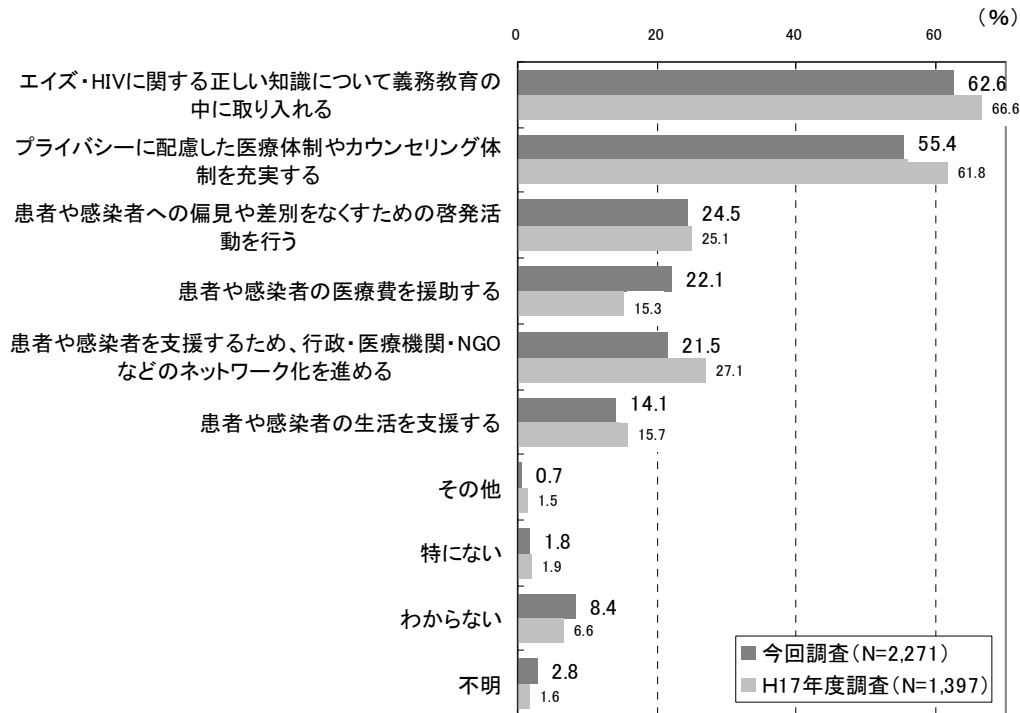


性別年齢別で見ると、20 歳代で「患者や感染者との結婚に反対すること」、30 歳代で「無断でエイズ検査をすること」、年齢層が若いほど「差別的な発言や行為をすること」が多くなっている。また、60 歳代以上で「わからない」が多くなっている。(集計表 P 122 表 27 参照)

4-8. エイズ患者やHIV感染者の人権を守るために必要なこと【問 24】

エイズ患者やHIV(エイズウイルス)感染者の人権を守るために、どのようなことが必要だと思うかを尋ねたところ、「エイズ・HIVに関する正しい知識について義務教育に取り入れる」が62.6%と最も多く、次いで「プライバシーに配慮した医療・カウンセリング体制を充実する」が55.4%を占めている。

図 4-8 エイズ患者やHIV感染者の人権を守るために必要なこと[複数回答]

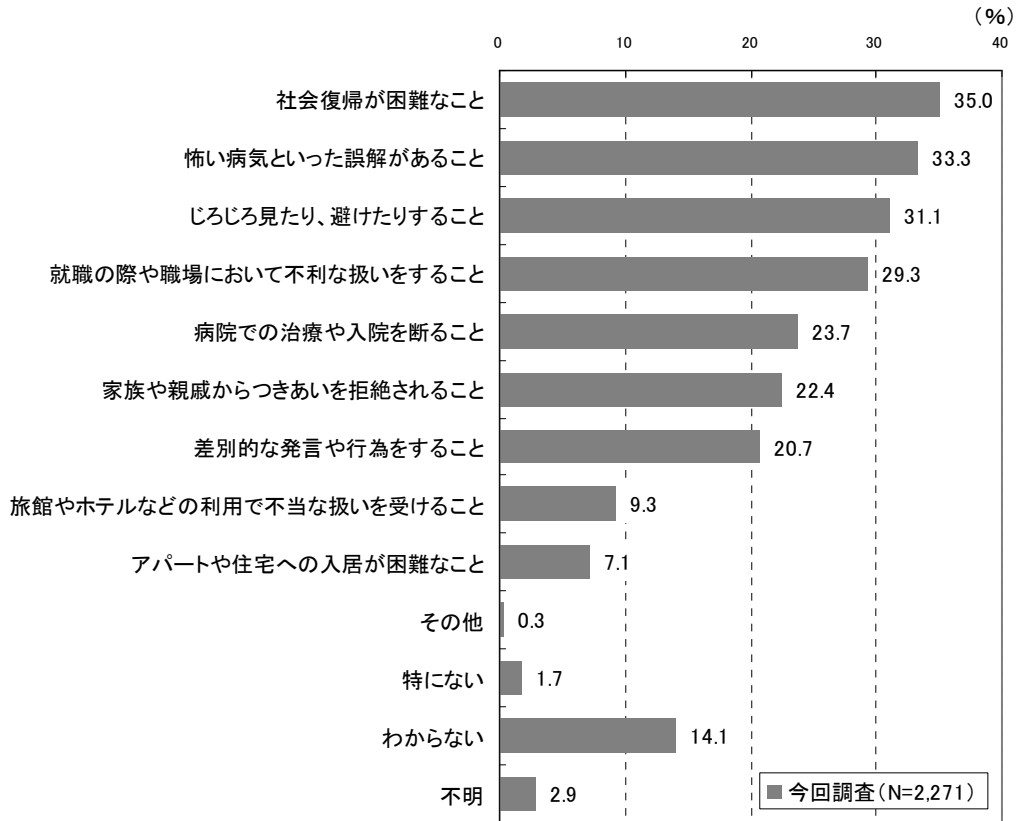


性別年齢別で見ると、年齢層が若いほど「義務教育に取り入れる」「生活を支援する」「医療費を援助する」が多くなっている。(集計表 P123 表 28 参照)

4-9. ハンセン病患者や元患者について人権上問題があると思うこと【問 25】

ハンセン病患者や元患者に関することで、人権上特に問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「社会復帰が困難なこと」が35.0%と最も多く、次いで「怖い病気といった誤解があること」が33.3%、「じろじろ見たり、避けたりすること」が31.1%を占めている。また、「わからない」が14.1%となっている。

図 4-9 ハンセン病患者や元患者について人権上問題があると思うこと[複数回答]

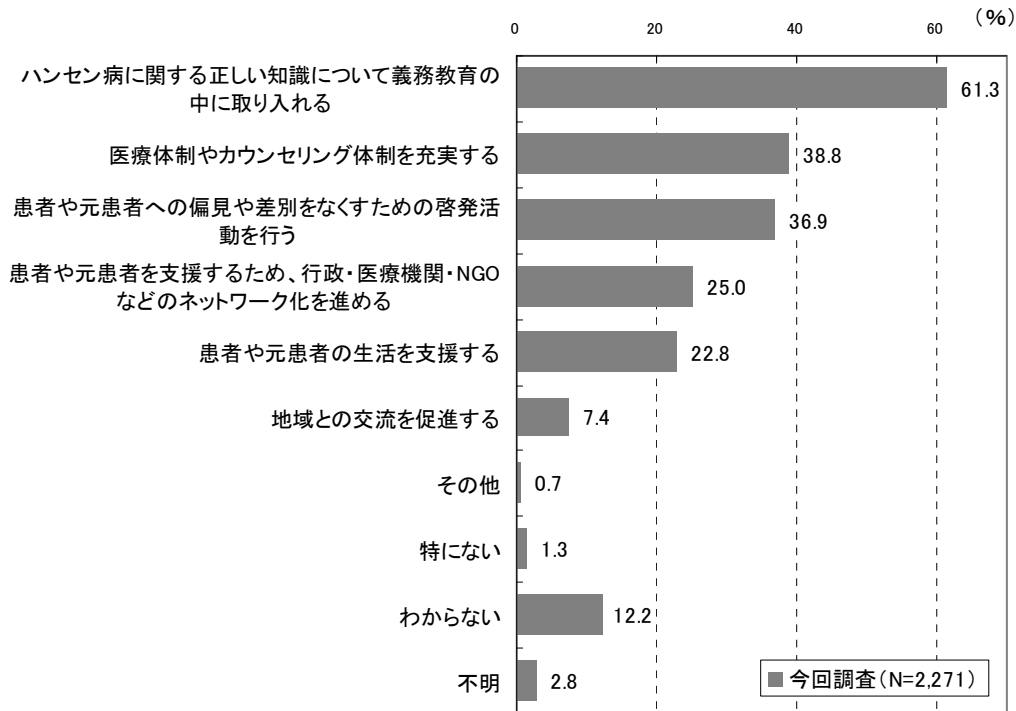


性別年齢別で見ると、20歳代で「怖い病気といった誤解があること」が少なくなっている。(集計表 P 124 表 29 参照)

4-10. ハンセン病患者や元患者の人権を守るために必要なこと【問 26】

ハンセン病患者や元患者の人権を守るために、どのようなことが必要だと思うかを尋ねたところ、「ハンセン病に関する正しい知識について義務教育に取り入れる」が61.3%と最も多く、次いで「医療体制やカウンセリング体制を充実する」が38.8%、「偏見や差別をなくすための啓発活動を行う」が36.9%を占めている。

図 4-10 ハンセン病患者や元患者の人権を守るために必要なこと[複数回答]



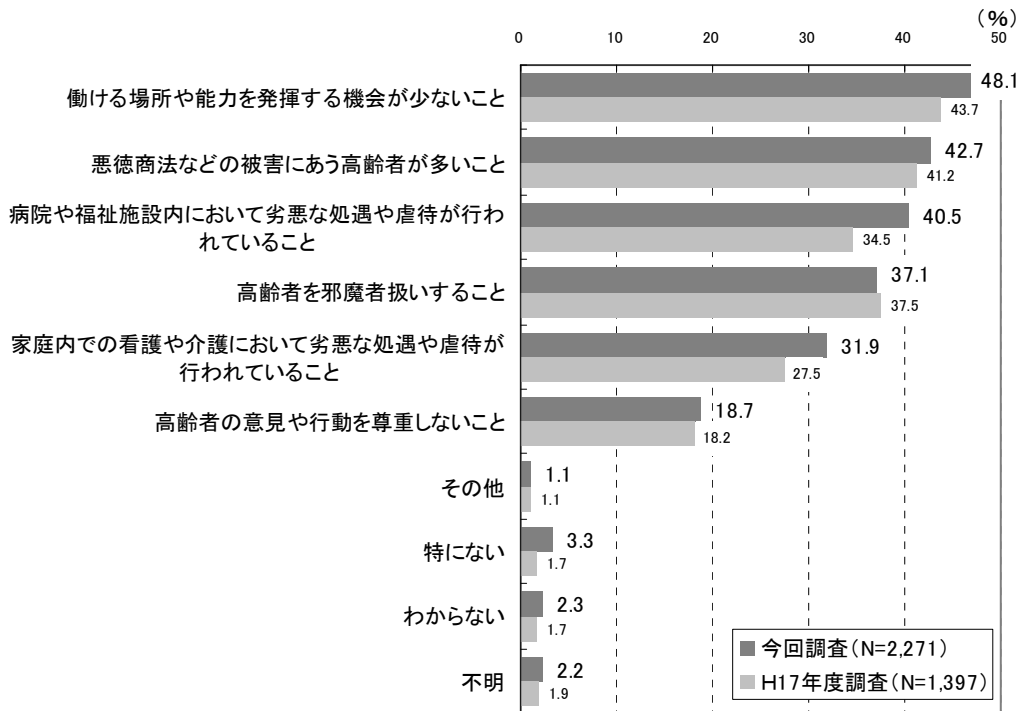
性別年齢別で見ると、50歳代・60歳代で「行政・医療機関・NGOなどのネットワーク化を進める」が多くなっている。また、年齢層が若いほど「正しい知識について義務教育の中に取り入れる」が多くなっている。(集計表P125表30参照)

4-11. 高齢者について人権上問題があると思うこと【問 27】

高齢者に関することで、人権上特に問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」が48.1%と最も多く、次いで「悪徳商法などの被害にあうことが多いこと」が42.7%、「劣悪な処遇や虐待が行われていること」が40.5%を占めている。

平成 17 年度調査では、「劣悪な処遇や虐待が行われていること」が 34.5%であったが、今回調査では 40.5%で多くなっている。

図 4-11 高齢者について人権上問題があると思うこと[複数回答]

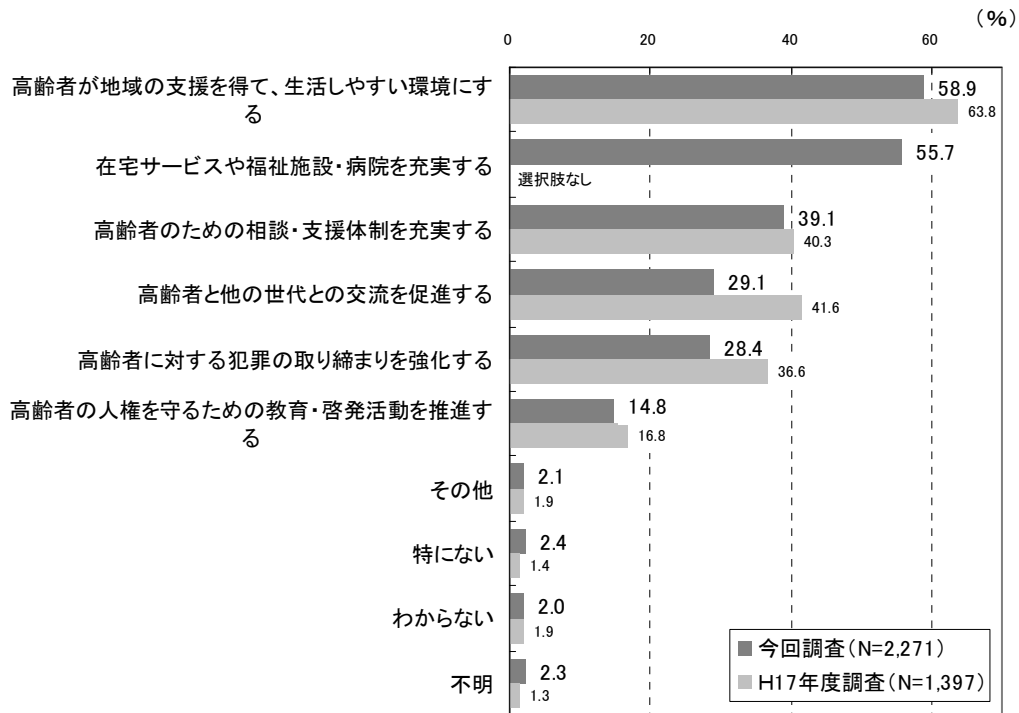


性別年齢別で見ると、男性よりも女性で、また年齢層が若いほど「劣悪な処遇や虐待が行われていること」が多くなっている。さらに、年齢層が高いほど「高齢者の意見や行動を尊重しないこと」が多くなっている。(集計表 P 126 表 31 参照)

4-12. 高齢者の人権を守るために必要なこと【問 28】

高齢者の人権を守るために、どのようなことが必要だと思うかを尋ねたところ、「高齢者が地域の支援を得て、生活しやすい環境にする」が 58.9%と最も多く、次いで今回調査で新たに設けた「在宅サービスや福祉施設・病院を充実する」が 55.7%を占めている。

図 4-12 高齢者の人権を守るために必要なこと[複数回答]



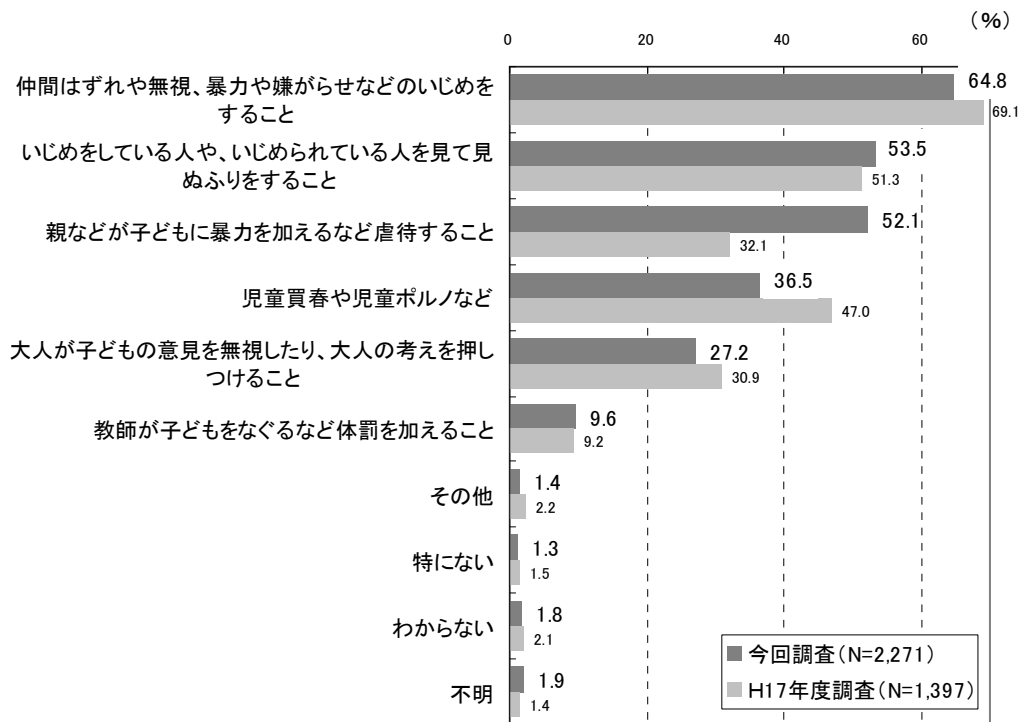
性別年齢別で見ると、男性よりも女性では「在宅サービスや福祉施設・病院を充実する」が多くなっている。また、年齢層が高いほど「高齢者のための相談・支援体制を充実する」、年齢層が若いほど「高齢者に対する犯罪の取り締まりを強化する」「他の世代との交流を促進する」が多くなっている。(集計表 P127 表 32 参照)

4-13. 子どもについて人権上問題があると思うこと【問 29】

子どもに関することで、人権上特に問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「いじめをすること」が64.8%と最も多く、次いで「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事」が53.5%、「親などが子どもに虐待すること」が52.1%を占めている。

平成17年度調査では、「親などが子どもに虐待すること」が32.1%であったが、今回調査では52.1%で多くなっている。また、「児童買春や児童ポルノなど」が47.0%であったが、今回調査では36.5%と少なくなっている。

図 4-13 子どもについて人権上問題があると思うこと[複数回答]

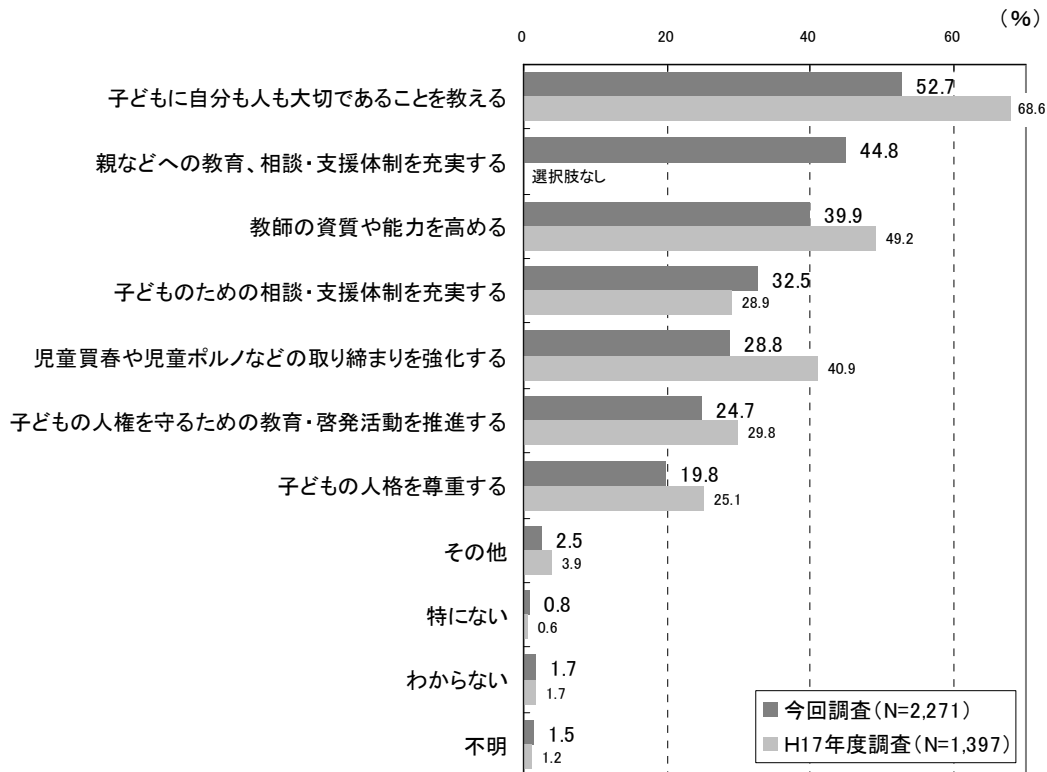


性別年齢別で見ると、男性よりも女性では「児童買春や児童ポルノなど」が多くなっている。また、20歳代で「大人が子どもの意見を無視したり、大人の考えを押しつけること」が多く、「見て見ぬふりをする事」がやや少なくなっている。(集計表 P 128 表 33 参照)

4-14. 子どもの人権を守るために必要なこと【問 30】

子どもの人権を守るために、どのようなことが必要だと思うかを尋ねたところ、「子どもに自分も人も大切であることを教える」が52.7%と最も多く、次いで今回調査で新たに設けた「親などへの教育、相談・支援体制を充実する」が44.8%、「教師の資質や能力を高める」が39.9%を占めている。

図 4-14 子どもの人権を守るために必要なこと[複数回答]

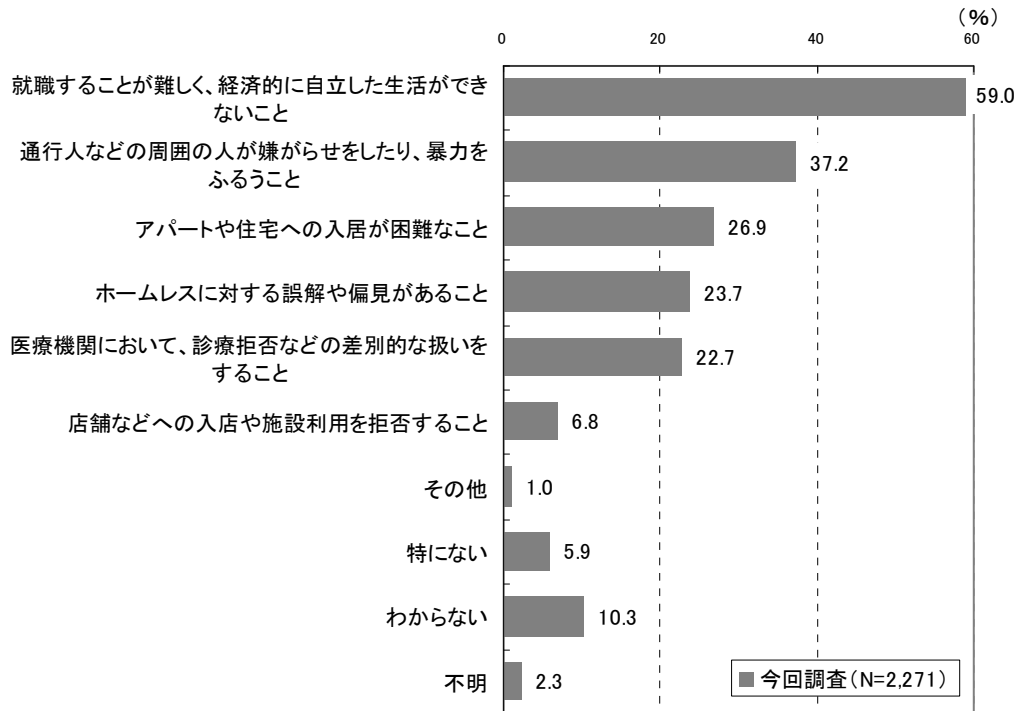


性別年齢別で見ると、男性よりも女性では「児童買春や児童ポルノなどの取り締まりを強化する」が多くなっている。また、年齢層が高いほど「子どもの人権を守るための教育・啓発活動を推進する」が多くなっている。(集計表 P129 表 34 参照)

4-15. ホームレスについて人権上問題があると思うこと【問 31】

ホームレスに関することで、人権上特に問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「就職することが難しく、経済的に自立した生活ができないこと」が59.0%と最も多く、次いで「周囲の人が嫌がらせをしたり、暴力をふるうこと」が37.2%を占めている。

図 4-15 ホームレスについて人権上問題があると思うこと[複数回答]

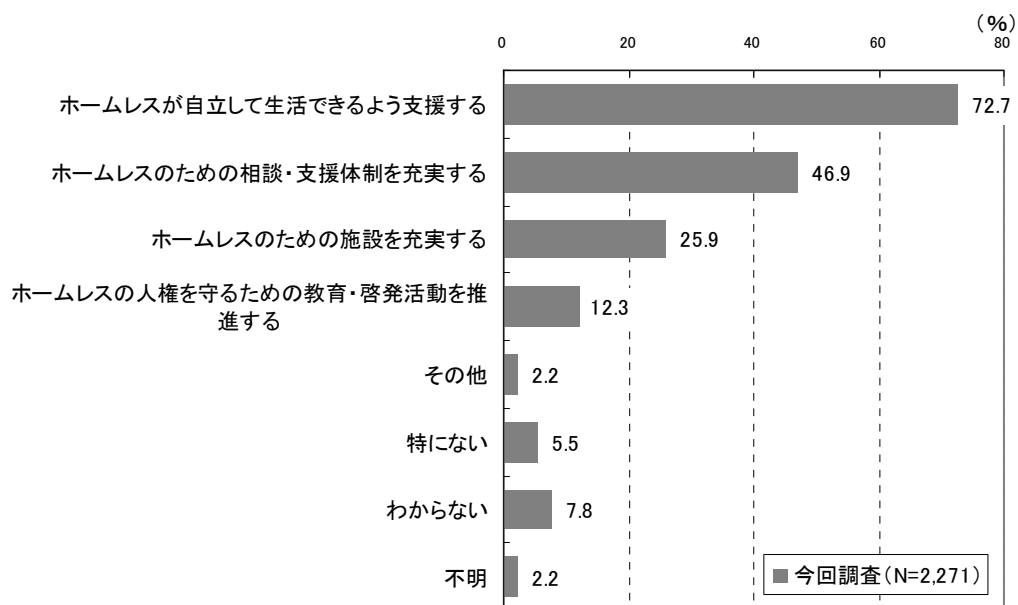


性別年齢別で見ると、年齢層が高いほど「ホームレスに対する誤解や偏見があること」、年齢層が若いほど「周囲の人が嫌がらせをしたり、暴力をふるうこと」が多くなっている。(集計表 P 130 表 35 参照)

4-16. ホームレスの人権を守るために必要なこと【問 32】

ホームレスの人権を守るために、どのようなことが必要だと思うかを尋ねたところ、「自立して生活できるよう支援する」が72.7%と最も多く、次いで「ホームレスのための相談・支援体制を充実する」が46.9%、「ホームレスのための施設を充実する」が25.9%を占めている。

図 4-16 ホームレスの人権を守るために必要なこと[複数回答]

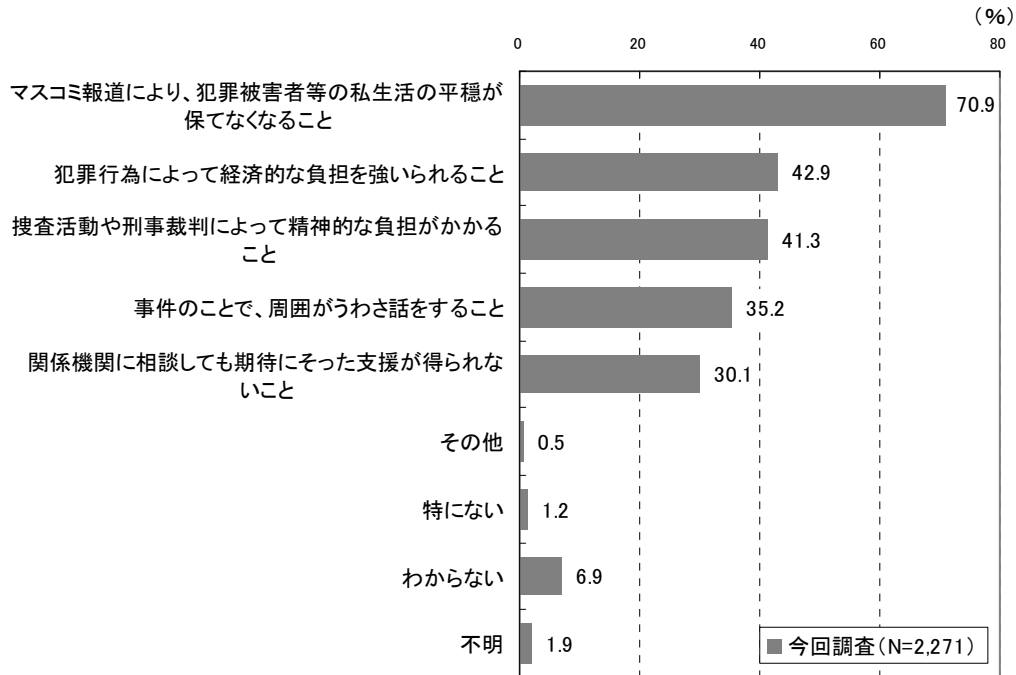


性別年齢別で見ると、年齢層が高いほど「ホームレスのための相談・支援体制を充実する」が多くなっている。また、70歳代・80歳以上で「施設を充実する」が多くなっている。(集計表P131表36参照)

4-17. 犯罪被害者等について人権上問題があると思うこと【問 33】

犯罪被害者等に関する事で、人権上特に問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「マスコミ報道により、私生活の平穏が保てなくなる事」が70.9%と最も多く、次いで「経済的な負担を強いられる事」が42.9%、「精神的な負担がかかる事」が41.3%を占めている。

図 4-17 犯罪被害者等について人権上問題があると思うこと[複数回答]

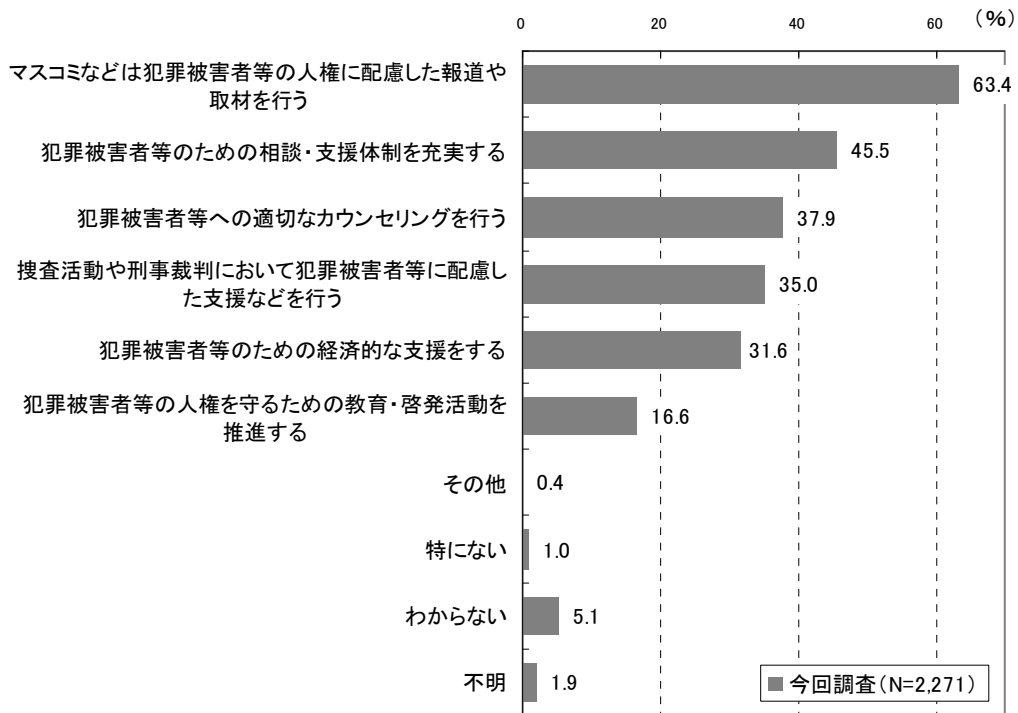


性別年齢別で見ると、年齢層が若いほど「マスコミ報道により、私生活の平穏が保てなくなる事」、20歳代で「周囲がうわさ話をする事」が多くなっている。また、30～50歳代で「経済的な負担を強いられる事」「精神的な負担がかかる事」がやや多くなっている。(集計表 P132 表 37 参照)

4-18. 犯罪被害者等の人権を守るために必要なこと【問 34】

犯罪被害者等の人権を守るために、どのようなことが必要だと思うかを尋ねたところ、「マスコミなどは人権に配慮した報道や取材を行う」が63.4%と最も多く、次いで「犯罪被害者等のための相談・支援体制を充実する」が45.5%、「犯罪被害者等への適切なカウンセリングを行う」が37.9%を占めている。

図 4-18 犯罪被害者等の人権を守るために必要なこと[複数回答]

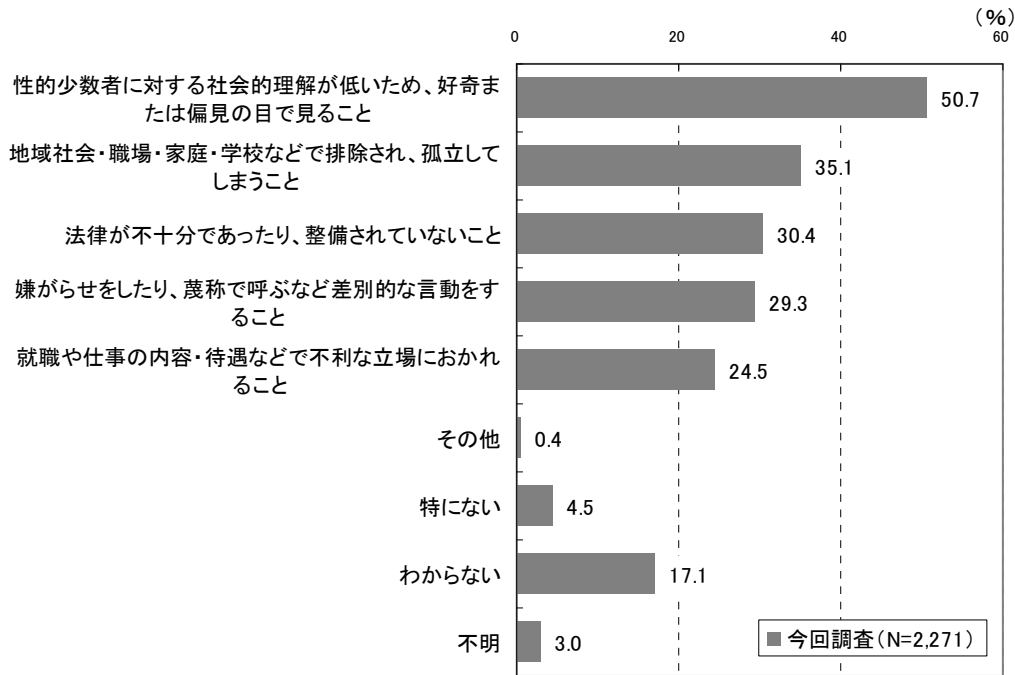


性別年齢別で見ると、男性よりも女性では「適切なカウンセリングを行う」、女性よりも男性では「経済的な支援をする」が多くなっている。また、年齢層が高いほど「相談・支援体制を充実する」、年齢層が若いほど「人権に配慮した報道や取材を行う」が多くなっている。(集計表 P 133 表 38 参照)

4-19. 性的少数者について人権上問題があると思うこと【問 35】

性同一性障害・同性愛などの性的少数者に関することで、人権上特に問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「社会的理解が低いため、好奇または偏見の目で見ること」が50.7%と最も多く、次いで「地域社会・職場・家庭・学校などで排除され、孤立してしまうこと」が35.1%、「法律が不十分であったり、整備されていないこと」が30.4%を占めている。

図 4-19 性的少数者について人権上問題があると思うこと[複数回答]

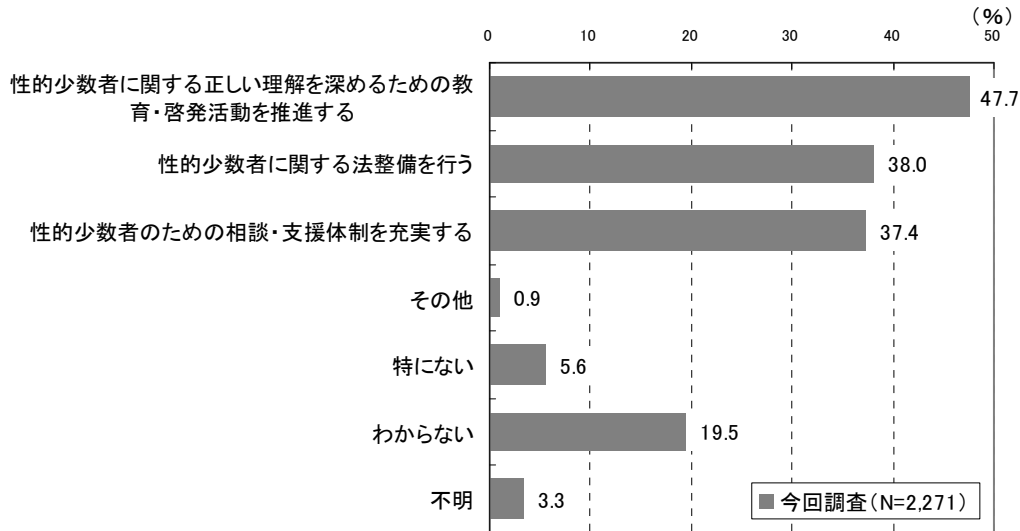


性別年齢別で見ると、年齢層が若いほど「好奇または偏見の目で見ること」「排除され、孤立してしまうこと」「法律が不十分であったり、整備されていないこと」、20歳代で「差別的な言動をすること」が多くなっている。また、60歳代以上で「わからない」が多くなっている。(集計表P134表39参照)

4-20. 性的少数者の人権を守るために必要なこと【問 36】

性同一性障害・同性愛などの性的少数者の人権を守るために、どのようなことが必要だと思うかを尋ねたところ、「性的少数者に関する正しい理解を深めるための教育・啓発活動を推進する」が 47.7%と最も多く、次いで「性的少数者に関する法整備を行う」が 38.0%、「性的少数者のための相談・支援体制を充実する」が 37.4%を占めている。

図 4-20 性的少数者の人権を守るために必要なこと[複数回答]

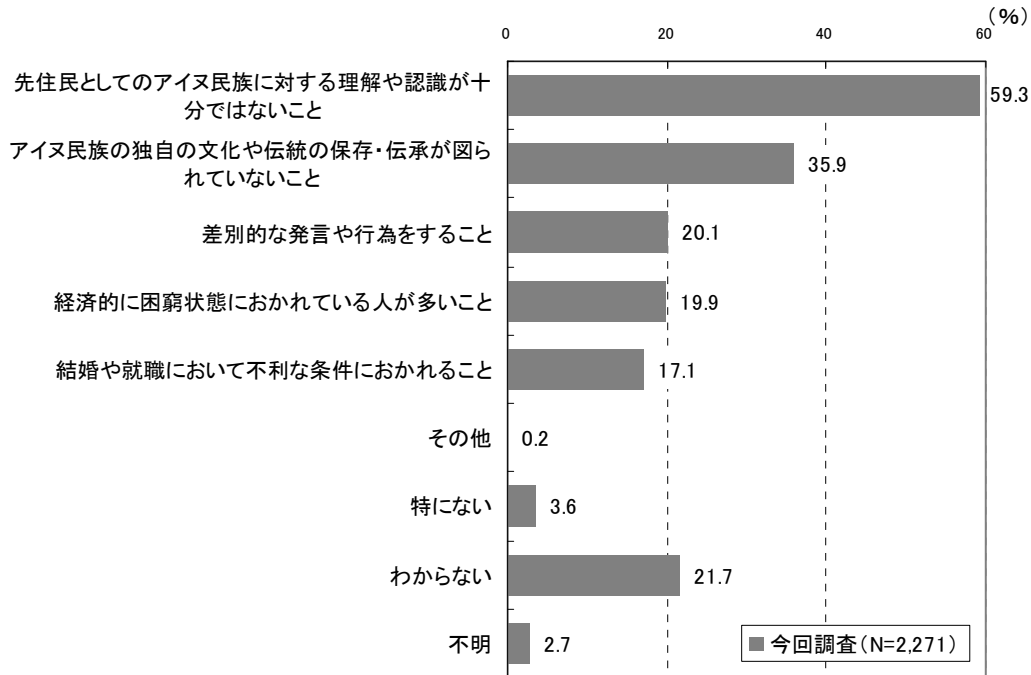


性別年齢別で見ると、年齢層が若いほど「正しい理解を深めるための教育・啓発活動を推進する」「法整備を行う」が多くなっている。また、60歳代以上で「わからない」が多くなっている。(集計表 P135 表 40 参照)

4-21. アイヌ民族について人権上問題があると思うこと【問 37】

アイヌ民族に関することで、人権上特に問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「先住民としての理解や認識が十分ではないこと」が 59.3%と最も多く、次いで「独自の文化や伝統の保存・伝承が図られていないこと」が 35.9%を占めている。また、「わからない」が 21.7%で 3 番目となっている。

図 4-21 アイヌ民族について人権上問題があると思うこと[複数回答]

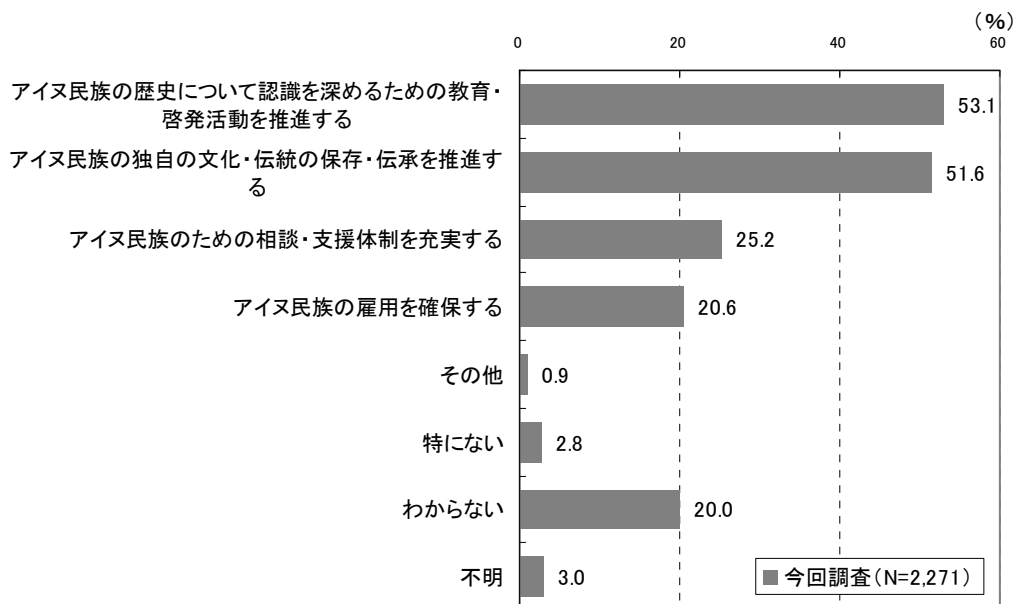


性別年齢別で見ると、20 歳代で「差別的な発言や行為をすること」「結婚や就職において不利な条件におかれること」が多くなっている。(集計表 P 136 表 41 参照)

4-22. アイヌ民族の人権を守るために必要なこと【問 38】

アイヌ民族の人権を守るために、どのようなことが必要だと思うかを尋ねたところ、「アイヌ民族の歴史について認識を深めるための教育・啓発活動を推進する」が53.1%と最も多く、次いで「独自の文化・伝統の保存・伝承を推進する」が51.6%を占めている。また、「わからない」が20.0%となっている。

図 4-22 アイヌ民族の人権を守るために必要なこと[複数回答]

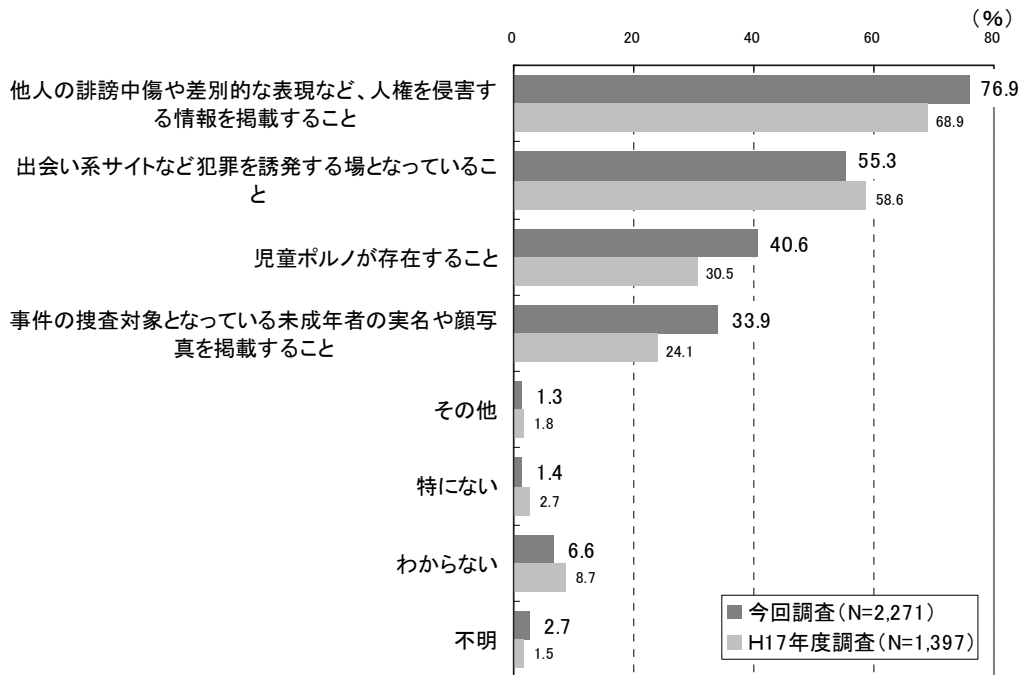


性別年齢別で見ると、20 歳代で「教育・啓発活動を推進する」「雇用を確保する」が多くなっている。また、40 歳代以上で「相談・支援体制を充実する」が多くなっている。(集計表 P137 表 42 参照)

4-23. インターネット上において人権上問題があると思うこと【問 39】

インターネット上で、人権上特に問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「人権を侵害する情報を掲載すること」が76.9%と最も多く、次いで「犯罪を誘発する場となっていること」が55.3%を占めている。その他については、「匿名で投稿・批評ができること」「個人情報の流出」などの回答が多く見られた。

図 4-23 インターネット上において人権上問題があると思うこと[複数回答]

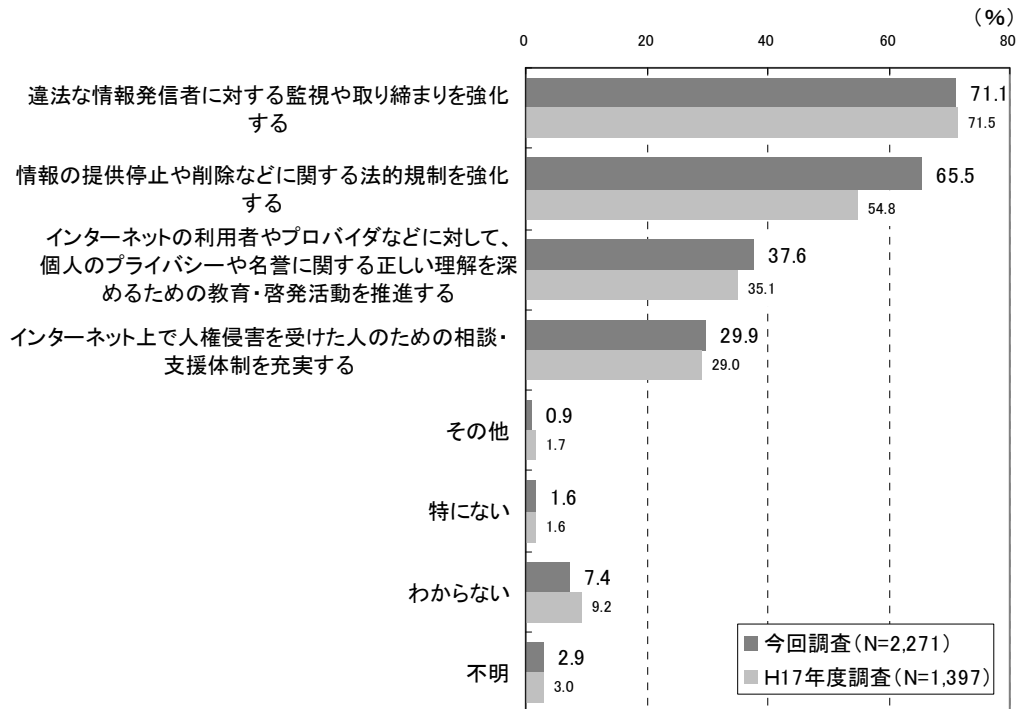


性別年齢別で見ると、男性よりも女性では「児童ポルノが存在すること」、50歳代以下で「人権を侵害する情報を掲載すること」が多くなっている。また、20歳代・50歳代で「未成年者の実名や顔写真を掲載すること」がやや多くなっている。(集計表P138表43参照)

4-24. インターネット上の人権侵害を防ぐために必要なこと【問 40】

インターネット上の人権侵害を防ぐために、どのようなことが必要だと思うかを尋ねたところ、「違法な情報発信者に対する監視や取り締まりを強化する」が71.1%と最も多く、次いで「情報の提供停止や削除などに関する法的規制を強化する」が65.5%を占めている。

図 4-24 インターネット上の人権侵害を防ぐために必要なこと[複数回答]



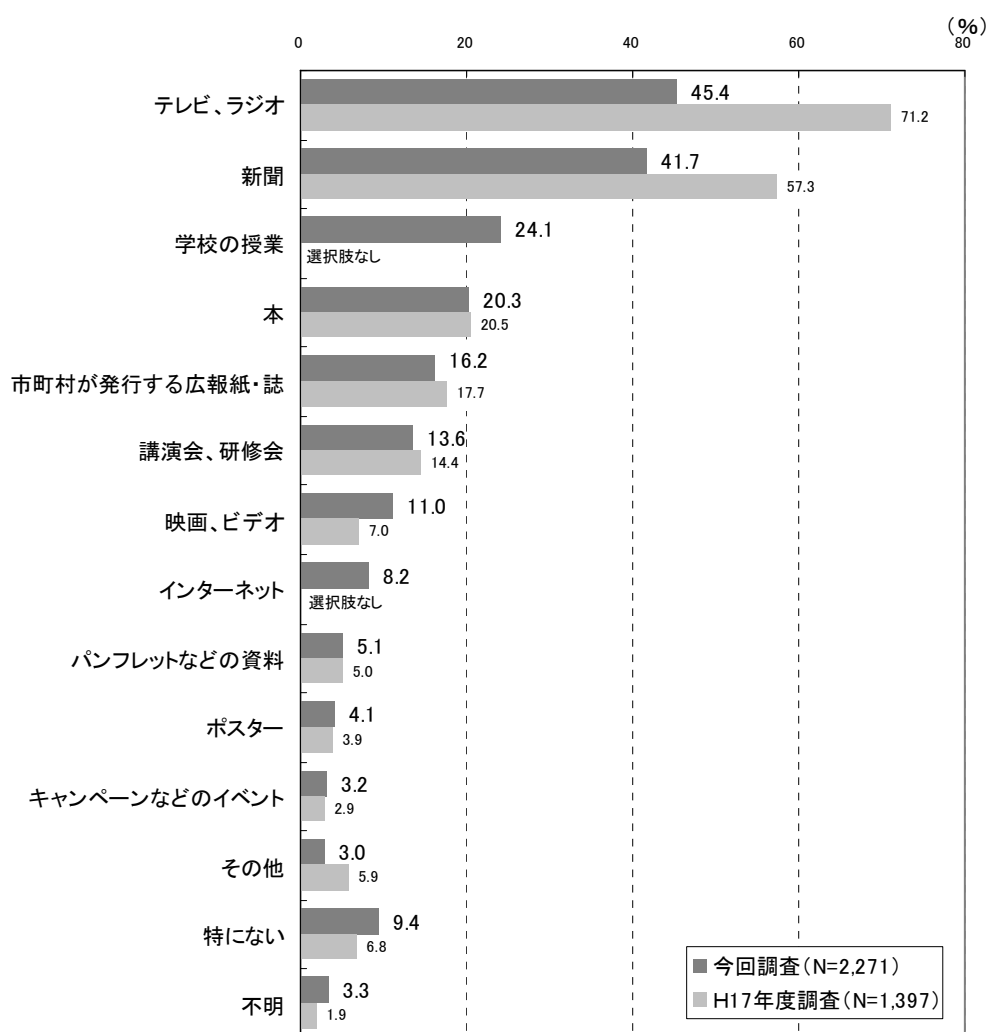
性別年齢別で見ると、20～60 歳代で「監視や取り締まりを強化する」「法的規制を強化する」が多くなっている。また、60 歳代以上、特に 80 歳以上で「わからない」が多くなっている。(集計表 P139 表 44 参照)

5. 人権啓発活動について

5-1. 人権問題に関する知識や情報の収集源【問 41】

自分がこれまでに人権問題に関する知識や情報を何から得たかを尋ねたところ、「テレビ・ラジオ」が45.4%と最も多く、次いで「新聞」が41.7%、今回調査で新たに設けた「学校の授業」が24.1%、「本」20.3%を占めている。今回調査で新たに設けた「インターネット」は8.2%となっている。その他については、「職場・会社」「家族・知人」などの回答が多く見られた。

図 5-1 人権問題に関する知識や情報の収集源[複数回答]



性別年齢別で見ると、男性よりも女性では「広報紙・誌」、女性よりも男性では「インターネット」「講演会・研修会」が多くなっている。また、年齢層が高いほど「新聞」「広報紙・誌」、年齢層が若いほど「学校の授業」「インターネット」が多くなっている。(集計表 P140 表 45 参照)

5-2. 横浜市が主催する人権啓発イベント等への参加状況と理解度【問 42】

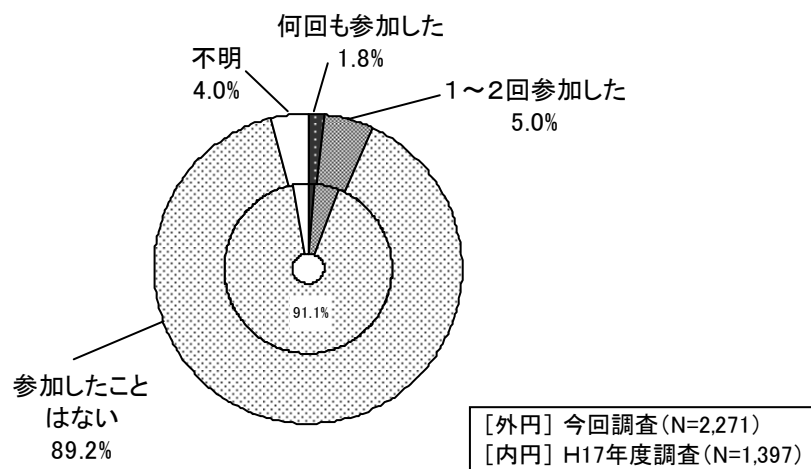
横浜市(区役所)が行っている人権啓発講演会やイベントに参加したり、広報紙で人権問題に関する記事を読んだりしたことなどはあるか、ある場合、人権についての理解は深まったかを尋ねた。

◆ 講演会・研修会

講演会や研修会に参加したことはあるか【問 42-1】を尋ねたところ、「参加したことはない」が89.2%と大半を占め、「何回も参加した」「1～2回参加した」を合わせて6.8%となっている。

性別年齢別で見ると、20歳代・30歳代で「参加した」の回答が少なく、それぞれ1.9%、2.2%となっている。(集計表P141表46参照)

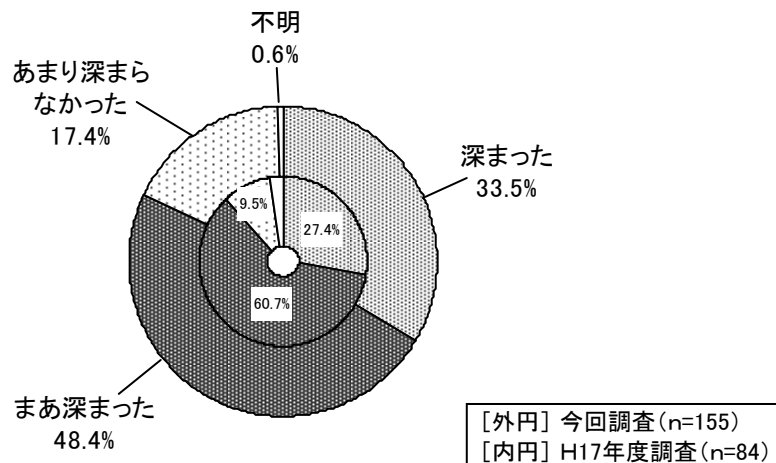
図 5-2-1 講演会・研修会への参加状況



講演会や研修会に参加したことがある場合、参加したことで人権について理解が深まったか【問 42-(1)】を尋ねたところ、「まあ深まった」が48.4%と最も多く、次いで「深まった」が33.5%となっている。

性別年齢別で見ると、男性では「あまり深まらなかった」の回答が26.1%で、女性の9.8%より多くなっている。(集計表P141表47参照)

図 5-2-2 講演会・研修会に参加して理解は深まったか

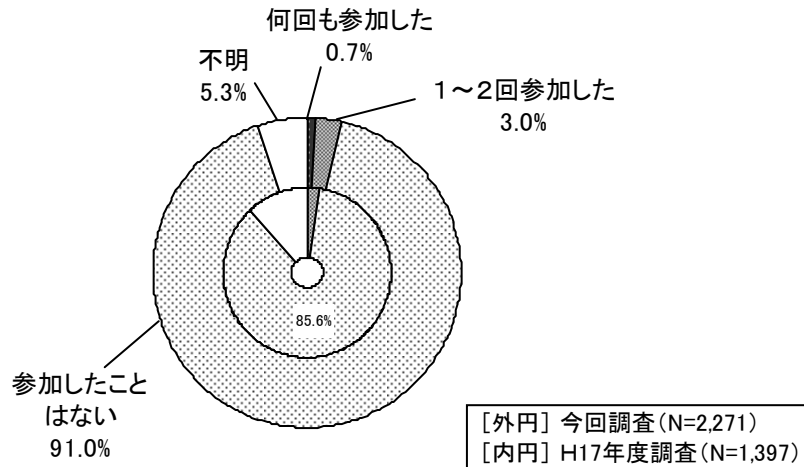


◆ 人権啓発キャンペーンなどのイベント

人権啓発キャンペーンなどのイベントに参加したことはあるか【問 42-2】を尋ねたところ、「参加したことはない」が91.0%と大半を占め、「何回も参加した」「1～2回参加した」を合わせて3.7%となっている。

性別年齢別で見ると、年齢層が高いほど「参加した」の回答がやや多くなっている。(集計表P141表48参照)

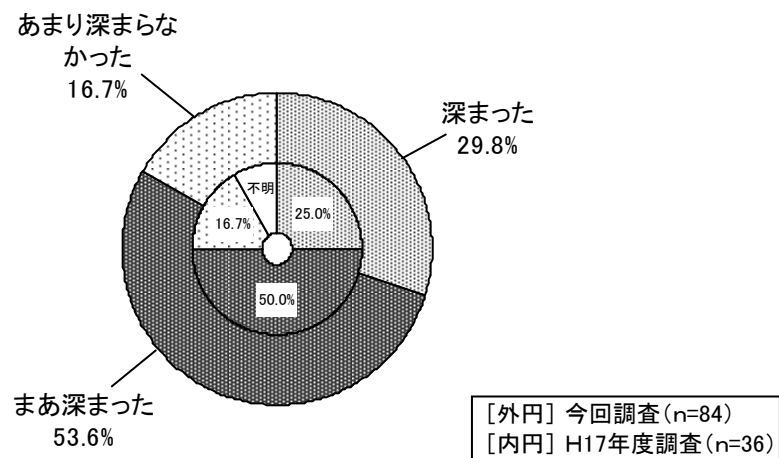
図 5-2-3 人権啓発キャンペーンなどのイベントへの参加状況



イベントに参加したことがある場合、参加したことで人権について理解が深まったか【問 42-(2)】を尋ねたところ、「まあ深まった」が53.6%と最も多く、次いで「深まった」が29.8%、「あまり深まらなかった」が16.7%となっている。

性別年齢別で見ると、男性では「あまり深まらなかった」の回答が22.2%で、女性の10.8%より多くなっている。(集計表P142表49参照)

図 5-2-4 人権啓発キャンペーンなどのイベントに参加して理解は深まったか

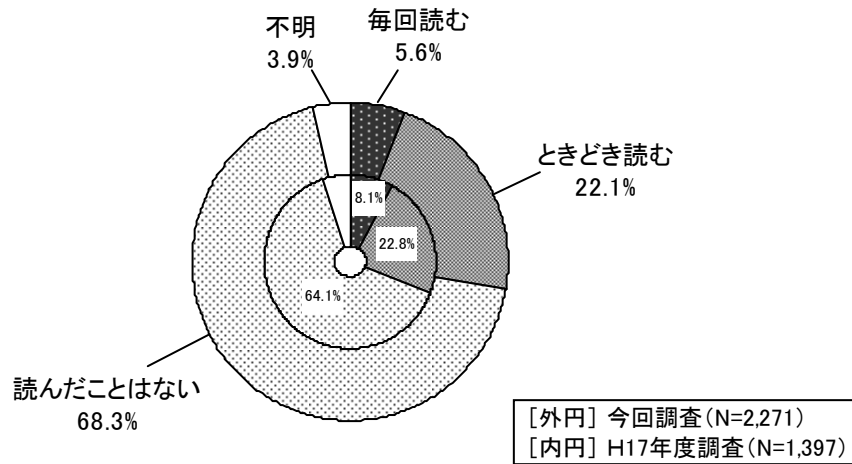


◆ 広報よこはま人権特集号

年1回発行している「広報よこはま人権特集号」を読んだことはあるか【問 42-3】を尋ねたところ、「読んだことはない」が68.3%と最も多く、「ときどき読む」が22.1%、「毎回読む」が5.6%となっている。

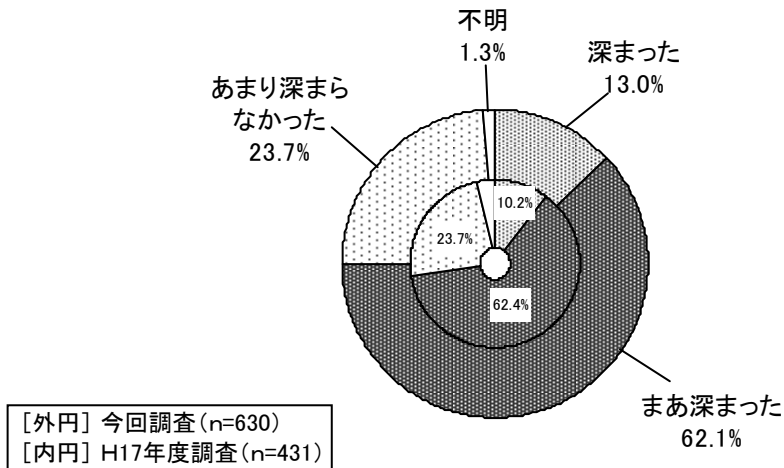
性別年齢別で見ると、年齢層が高いほど「読む」の回答が多くなっている。(集計表 P142 表 50 参照)

図 5-2-5 広報よこはま人権特集号を読んだ経験



「広報よこはま人権特集号」を読んだことがある場合、読んだことで人権について理解が深まったか【問 42-(3)】を尋ねたところ、「まあ深まった」が62.1%と最も多く、「あまり深まらなかった」が23.7%、「深まった」が13.0%となっている。

図 5-2-6 広報よこはま人権特集号を読んで理解は深まったか

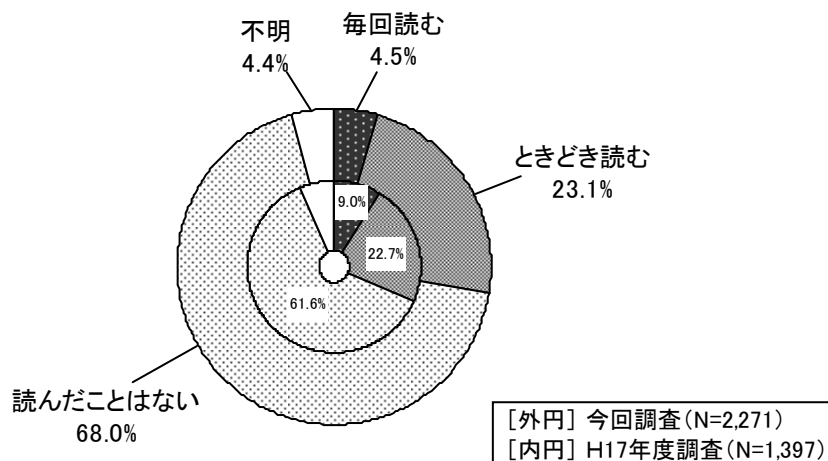


◆ 人権に関するコラム

毎月発行する広報よこはまに随時掲載している「人権に関するコラム」を読んだことはあるか【問 42-4】を尋ねたところ、「読んだことはない」が68.0%と最も多く、「ときどき読む」が23.1%、「毎回読む」が4.5%となっている。

性別年齢別で見ると、男性よりも女性で、また年齢層が高いほど「読む」の回答が多くなっている。(集計表P143表52参照)

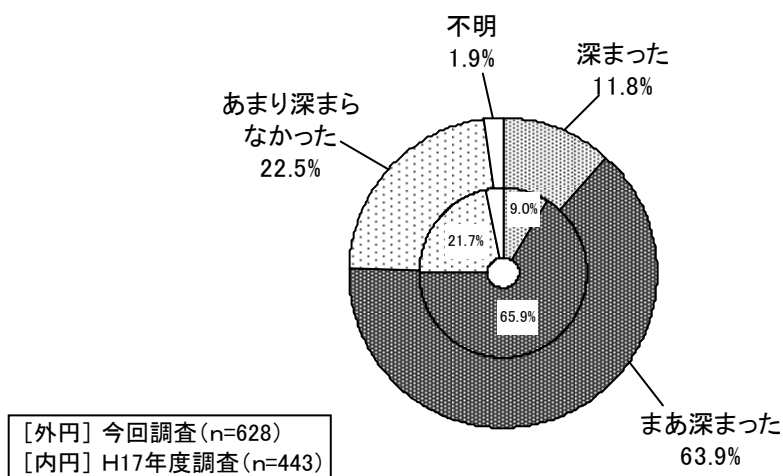
図 5-2-7 広報よこはま「人権コラム」を読んだ経験



「人権に関するコラム」を読んだことがある場合、読んだことで人権について理解が深まったか【問 42-(4)】を尋ねたところ、「まあ深まった」が63.9%と最も多く、「あまり深まらなかった」が22.5%、「深まった」が11.8%となっている。

性別年齢別で見ると、20歳代で「深まった」「まあ深まった」の回答が多くなっている。(集計表P143表53参照)

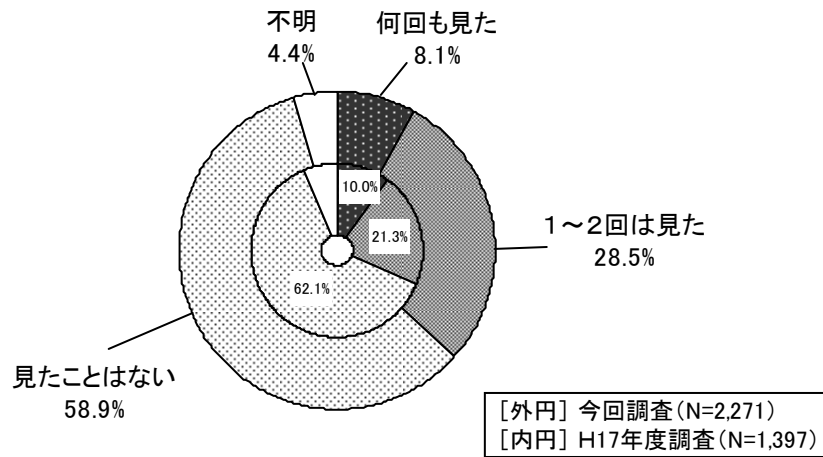
図 5-2-8 広報よこはま「人権コラム」を読んで理解は深まったか



◆ 人権啓発ポスター

公共施設などに掲出されている「人権啓発ポスター」を見たことはあるか【問 42-5】を尋ねたところ、「見たことはない」が58.9%と最も多く、「1～2回は見た」が28.5%、「何回も見た」が8.1%となっている。

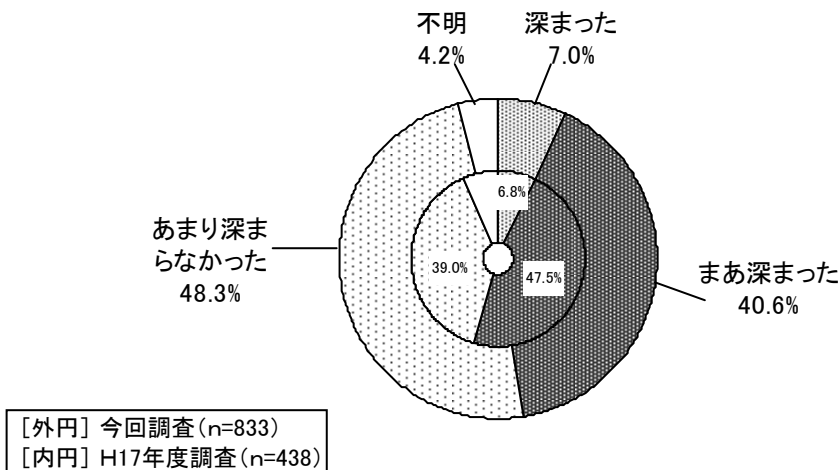
図 5-2-9 人権啓発ポスターを見た経験



「人権啓発ポスター」を見たことがある場合、見たことで人権について理解が深まったか【問 42-(5)】を尋ねたところ、「あまり深まらなかった」が48.3%と最も多く、次いで「まあ深まった」が40.6%、「深まった」が7.0%となっている。

性別年齢別で見ると、70歳代・80歳以上で「まあ深まった」の回答が多くなっている。(集計表P144表55参照)

図 5-2-10 人権啓発ポスターを見て理解は深まったか

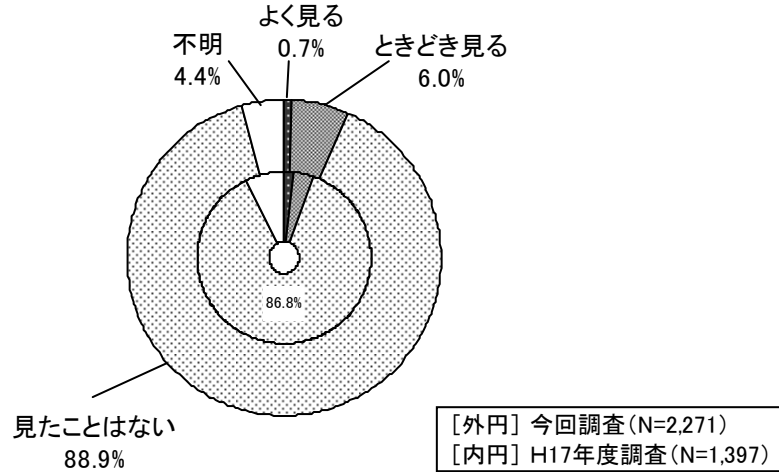


◆ 横浜市のホームページ

横浜市のホームページにある人権に関するページを見たことはあるか【問 42-6】を尋ねたところ、「見たことはない」が88.9%と大半を占め、「よく見る」「ときどき見る」を合わせて6.7%となっている。

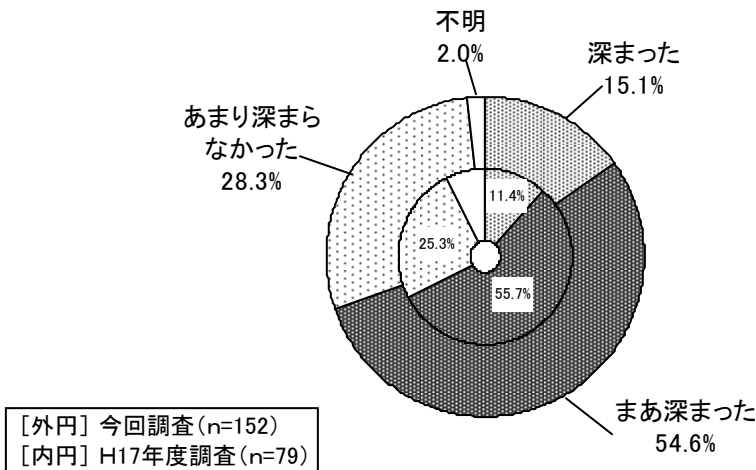
性別年齢別で見ると、70歳代以上で「見る」の回答が多くなっている。(集計表P144表56参照)

図 5-2-11 横浜市の人権に関するホームページを見た経験



横浜市のホームページを見たことがある場合、見たことで人権について理解が深まったか【問 42-(6)】を尋ねたところ、「まあ深まった」が54.6%と最も多く、「あまり深まらなかった」が28.3%、「深まった」が15.1%となっている。

図 5-2-12 横浜市の人権に関するホームページを見て理解は深まったか

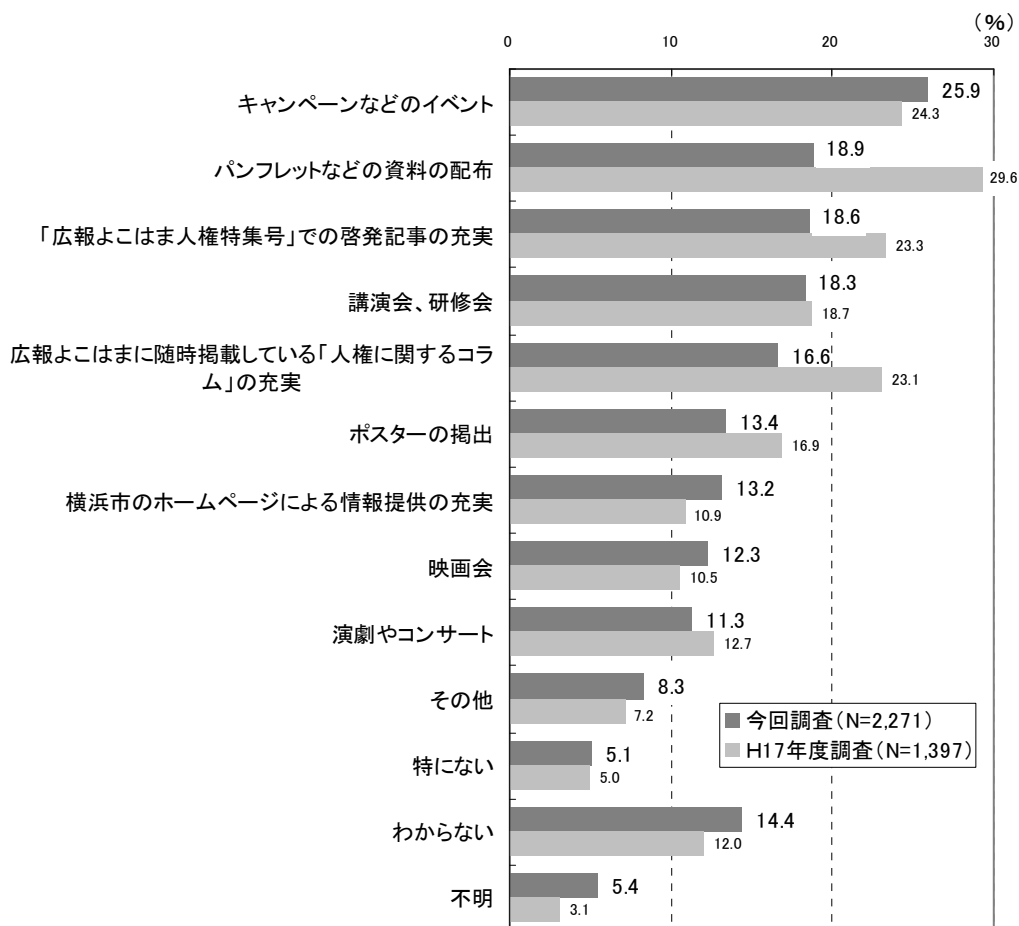


5-3. 人権についての理解を深めるために充実すべき取組【問 43】

横浜市では、人権についての理解を深めてもらうためにさまざまな取組を進めている。今後どのような取組を充実させていくべきかと思うかを尋ねたところ、「キャンペーンなどのイベント」が25.9%と最も多く、次いで「パンフレットなどの資料の配布」が18.9%、「広報よこはま人権特集号での啓発記事の充実」が18.6%、「講演会・研修会」が18.3%を占めている。その他については、「学校・PTAでの教育・啓発を充実する」「新聞・テレビ・ラジオなどのマスコミを活用する」などの回答が多く見られた。

平成17年度調査では、「パンフレットなどの資料の配布」「人権に関するコラムの充実」「広報よこはま人権特集号での啓発記事の充実」が多かったが、今回調査では少なくなっている。

図 5-3 人権についての理解を深めるために充実すべき取組[複数回答]

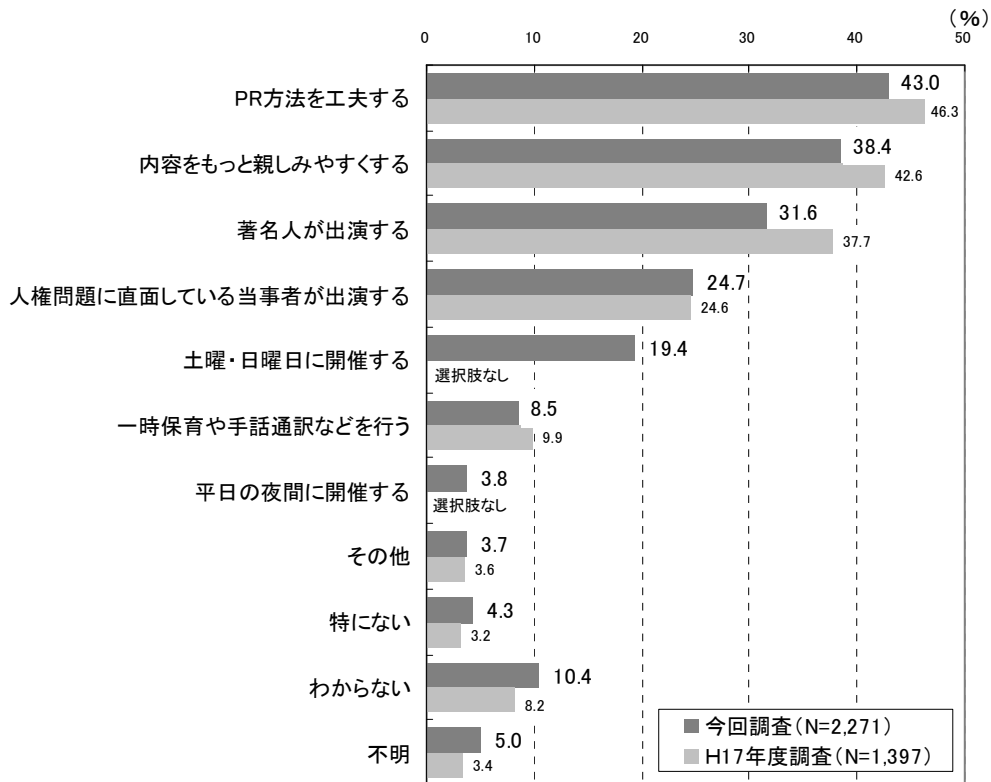


性別年齢別で見ると、年齢層が高いほど「広報よこはま人権特集号」「人権に関するコラム」、年齢層が若いほど「イベント」「演劇・コンサート」「映画会」「ポスターの掲出」が多くなっている。(集計表 P 145 表 58 参照)

5-4. 人権啓発講演会により多くの人に参加するための工夫【問 44】

人権啓発講演会などにより多くの人に参加するために、どのような工夫が効果的だと思うかを尋ねたところ、「PR方法を工夫する」が43.0%と最も多く、次いで「内容をもっと親しみやすくする」が38.4%、「著名人が出演する」が31.6%を占めている。今回調査で新たに設けた「土曜・日曜日に開催する」は19.4%、「平日の夜間に開催する」は3.8%となっている。

図 5-4 人権啓発講演会により多くの人に参加するための工夫[複数回答]

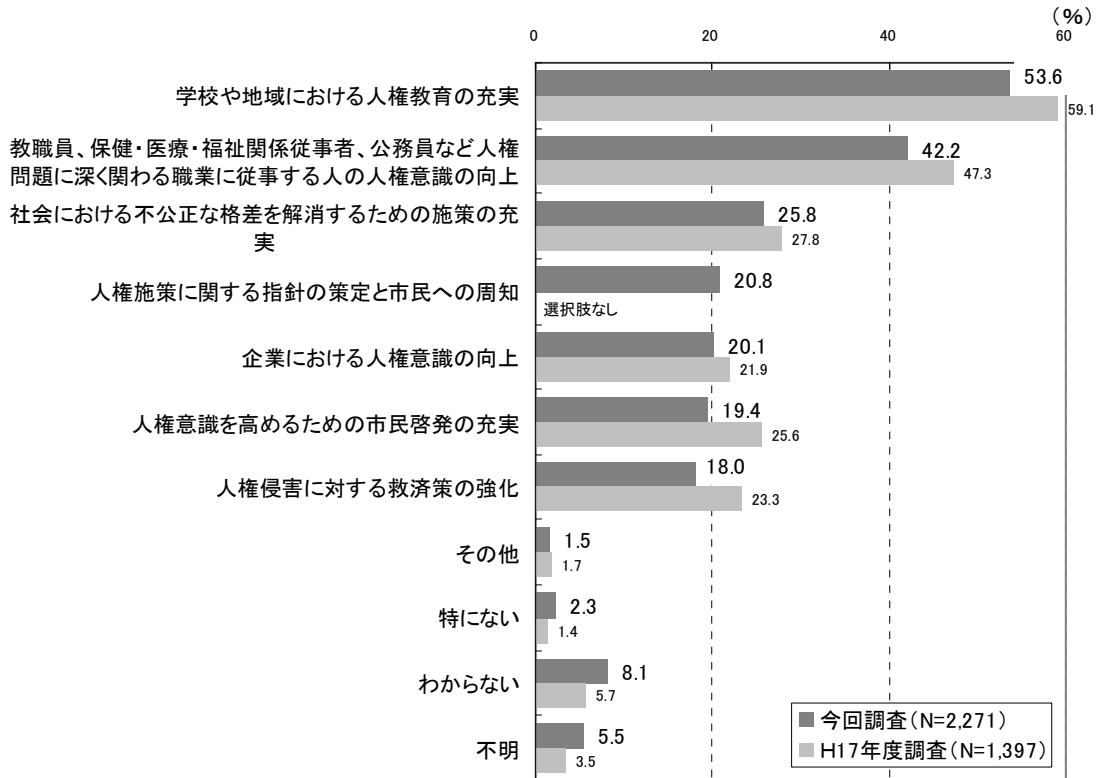


性別年齢別で見ると、20～30 歳代で「土曜・日曜日に開催する」、男性よりも女性で、また 30 歳代で「一時保育や手話通訳などを行う」が多くなっている。さらに、50 歳代以下で「著名人が出演する」「PR方法を工夫する」が多くなっている。(集計表 P 146 表 59 参照)

5-5. 「互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」を実現するための取組【問 45】

横浜市がめざす「互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」を実現するために、今後どのような取組が必要だと思うかを尋ねたところ、「学校や地域における人権教育の充実」が53.6%と最も多く、次いで「人権問題に深く関わる職業に従事する人の人権意識の向上」が42.2%、「社会における不公正な格差を解消するための施策の充実」が25.8%を占めている。今回調査で新たに設けた「人権施策に関する指針の策定と市民への周知」は20.8%となっている。

図 5-5 「互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」を実現するための取組[複数回答]

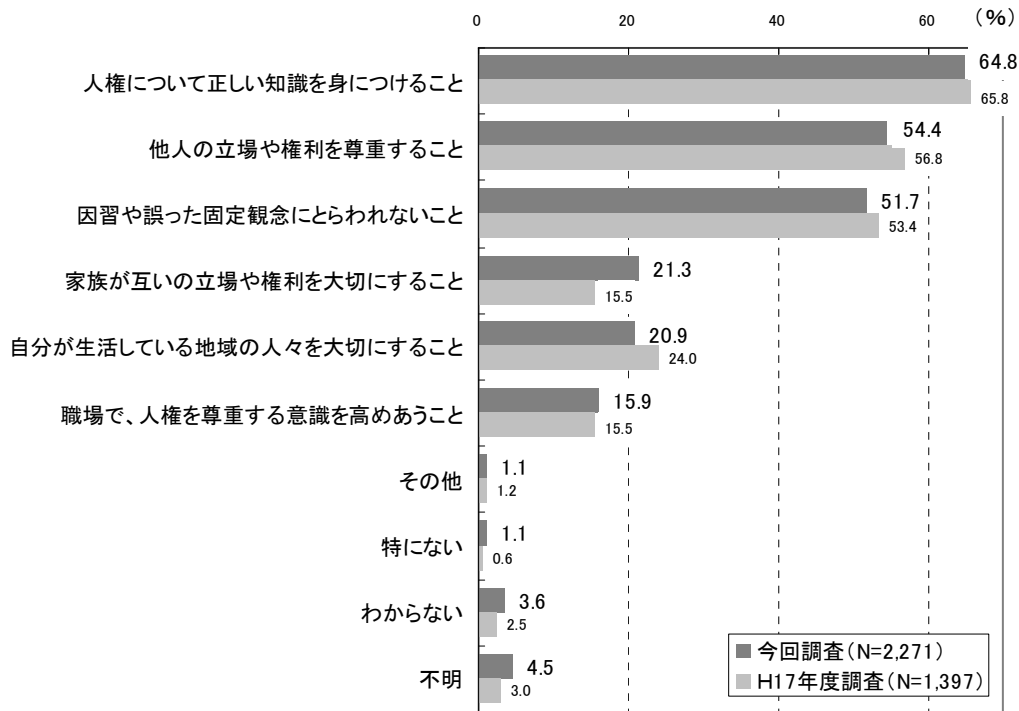


性別年齢別で見ると、年齢層が若いほど「学校や地域における人権教育の充実」「企業における人権意識の向上」、年齢層が高いほど「人権意識を高めるための市民啓発の充実」が多くなっている。(集計表P147 表60 参照)

5-6. 市民一人ひとりが人権を尊重しあうための心がけや行動【問 46】

市民一人ひとりが人権を尊重しあうために、心がけたり行動すべきこととして、どのようなことが求められると思うかを尋ねたところ、「人権について正しい知識を身につけること」が64.8%と最も多く、次いで「他人の立場や権利を尊重すること」が54.4%、「因習や誤った固定観念にとらわれないこと」が51.7%を占めている。

図 5-6 市民一人ひとりが人権を尊重しあうための心がけや行動[複数回答]



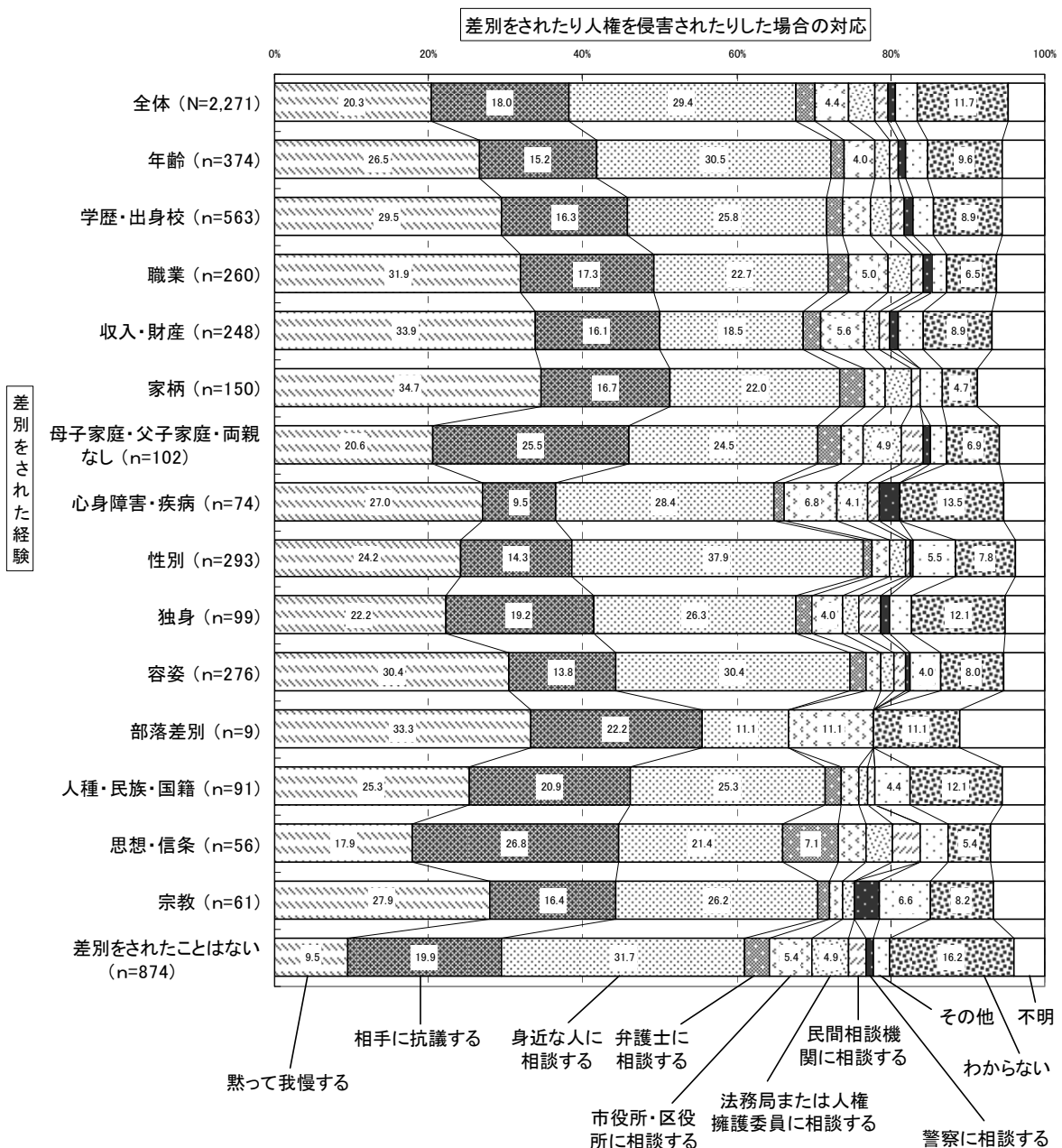
性別年齢別で見ると、年齢層が高いほど「地域の人々を大切にすること」、50歳代以下で「職場で、人権を尊重する意識を高めあうこと」がやや多くなっている。また、70歳代・80歳以上で「因習や誤った固定観念にとらわれないこと」が少なくなっている。(集計表P148表61参照)

6. 設問間クロス集計結果

6-1. 差別をされたり人権を侵害されたりした場合の対応【問6】× 差別をされた経験【問5】

自分が差別をされたり人権を侵害されたりした場合の対応を尋ねた設問【問6】（P12参照）について、自分がこれまでに何について差別をされたかを尋ねた設問【問5】（P11参照）の回答別で見ると、「職業」「収入・財産」「家柄」「容姿」「部落差別」と回答した人は、「黙って我慢する」が3割以上を占め、「母子・父子家庭・両親なし」「思想・信条」と回答した人は、「相手に抗議する」が1/4以上を占めている。また、「性別」と回答した人は、「身近な人に相談する」が37.9%となっている。

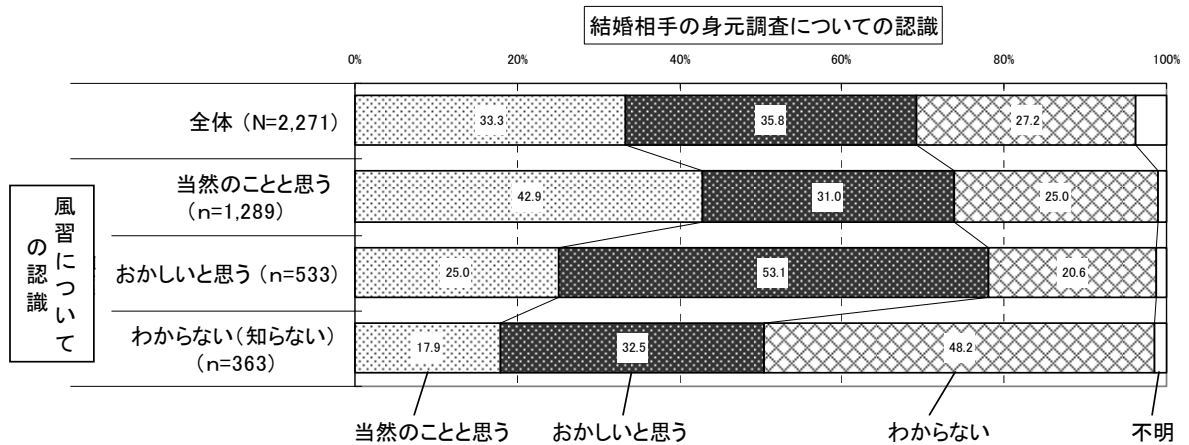
図 6-1 差別をされたり人権を侵害されたりした場合の対応 × 差別をされた経験【複数回答】



6-2. 結婚相手の身元調査をすることについての認識【問 9-1】 × 風習についての認識【問 8-1】

結婚相手を決めるときに、相手の身元調査をすることについてどう思うかを尋ねた設問【問 9-1】（P16 参照）について、お祝い事は「大安」の日を選ぶ、「友引」の日はお葬式を避けるという風習についてどう思うかを尋ねた設問【問 8-1】（P14 参照）の回答別で見ると、風習について「当然のことと思う」と回答した人は、身元調査についても「当然のことと思う」、風習について「おかしいと思う」と回答した人は、身元調査についても「おかしいと思う」と回答した人の割合が多くなっている。

図 6-2 結婚相手の身元調査をすることについての認識 × 風習についての認識

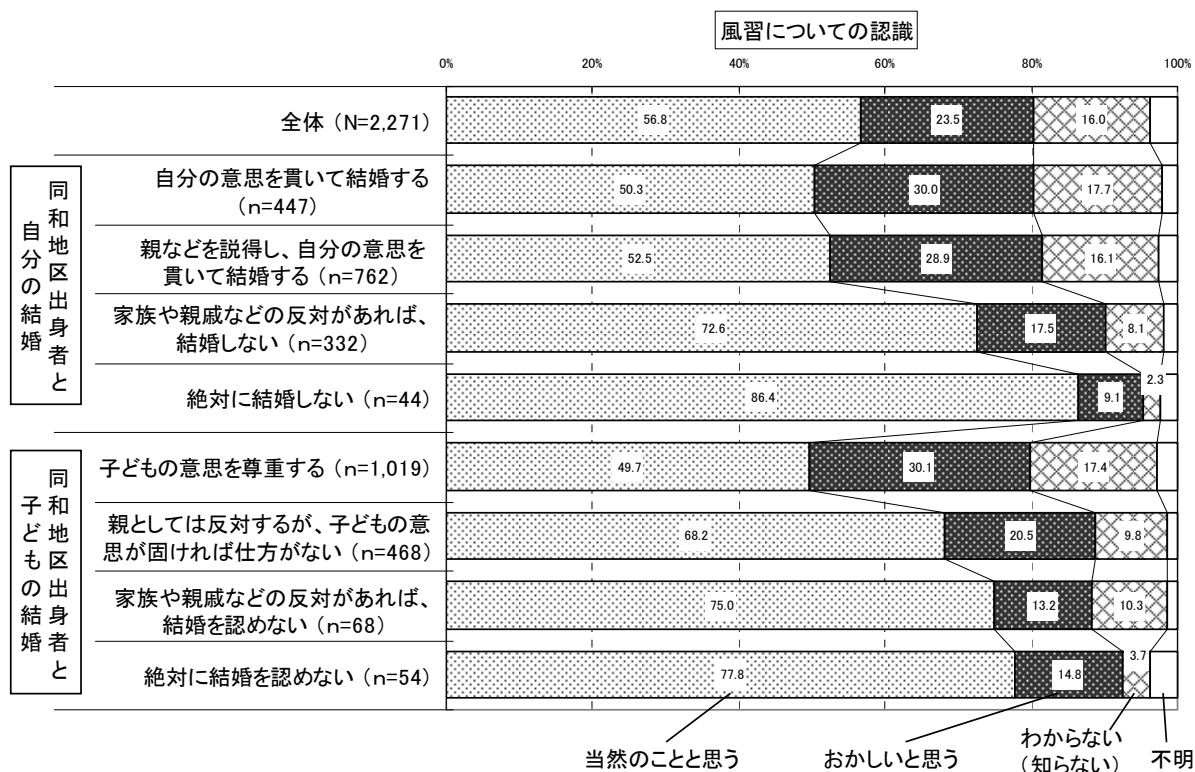


6-3. 風習についての認識【問8-1】× 同和地区出身の人との結婚についての対応【問14】

お祝い事は「大安」の日を選ぶ、「友引」の日はお葬式を避けるという風習についてどう思うかを尋ねた設問【問8-1】(P14参照)について、自分自身が同和地区出身の人と恋愛し、結婚しようとしたとき、親や親戚などから強い反対を受けたらどうするかを尋ねた設問【問14-1】(P22参照)の回答別で見ると、「同和地区出身者と結婚しない」と回答した人は、風習について「当然のことと思う」が多くなっている。一方、「同和地区出身者と結婚する」と回答した人は、風習について「おかしいと思う」「わからない(知らない)」が多くなっている。

また、自分の子どもが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であると分かった場合、親としてどうするかを尋ねた設問【問14-2】(P23参照)の回答別で見ると、「同和地区出身者との結婚を認めない」と回答した人は、風習について「当然のことと思う」が多くなっている。一方、「子どもの意思を尊重する」と回答した人は、風習について「おかしいと思う」「わからない(知らない)」が多くなっている。

図 6-3 風習についての認識 × 同和地区出身の人との結婚についての対応

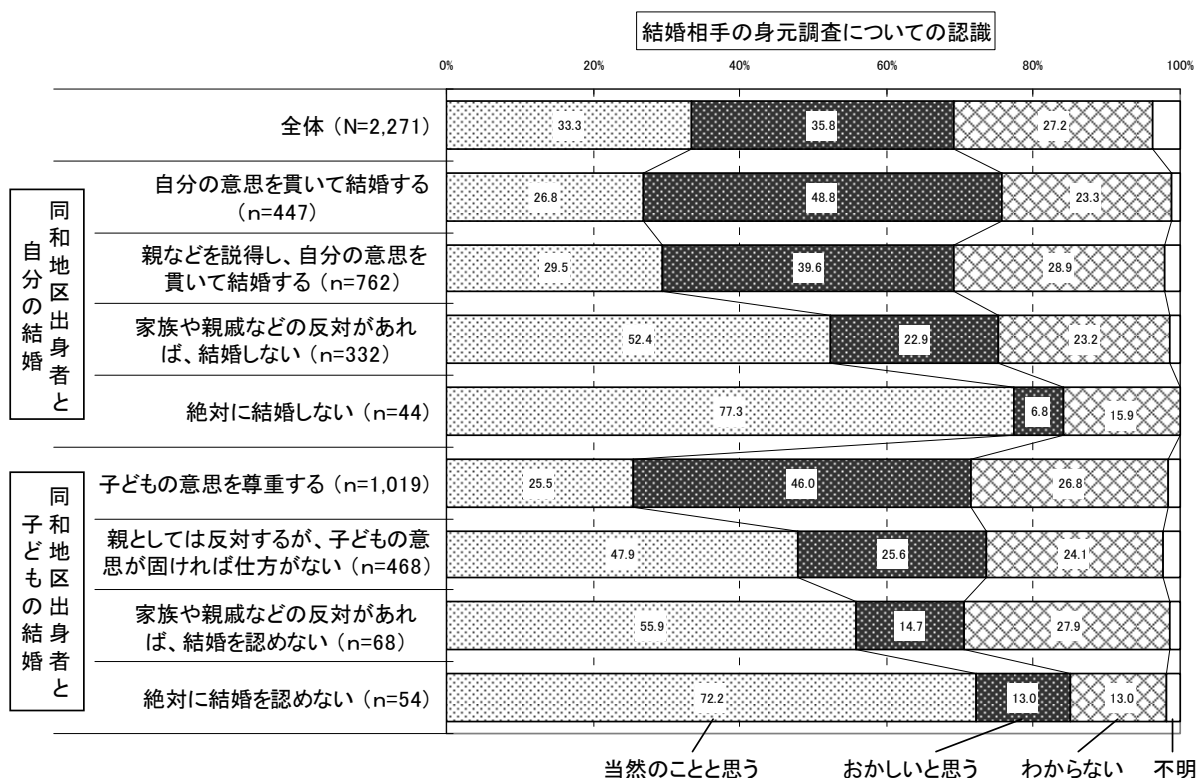


6-4. 結婚相手の身元調査をすることについての認識【問9-1】× 同和地区出身の人との結婚についての対応【問14】

結婚相手を決めるときに、相手の身元調査をすることについてどう思うかを尋ねた設問【問9-1】（P16参照）について、自分自身が同和地区出身の人と恋愛し、結婚しようとしたとき、親や親戚などから強い反対を受けたらどうするかを尋ねた設問【問14-1】（P22参照）の回答別で見ると、「同和地区出身者と結婚しない」と回答した人は、身元調査について「当然のことと思う」が多くなっている。一方、「同和地区出身者と結婚する」と回答した人ほど、身元調査について「おかしいと思う」が多くなっている。

また、自分の子どもが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であると分かった場合、親としてどうするかを尋ねた設問【問14-2】（P23参照）の回答別で見ると、「同和地区出身者との結婚を認めない」と回答した人ほど、身元調査について「当然のことと思う」が多くなっている。一方、「子どもの意思を尊重する」と回答した人は、身元調査について「おかしいと思う」が多くなっている。

図 6-4 結婚相手の身元調査をすることについての認識 × 同和地区出身の人との結婚についての対応

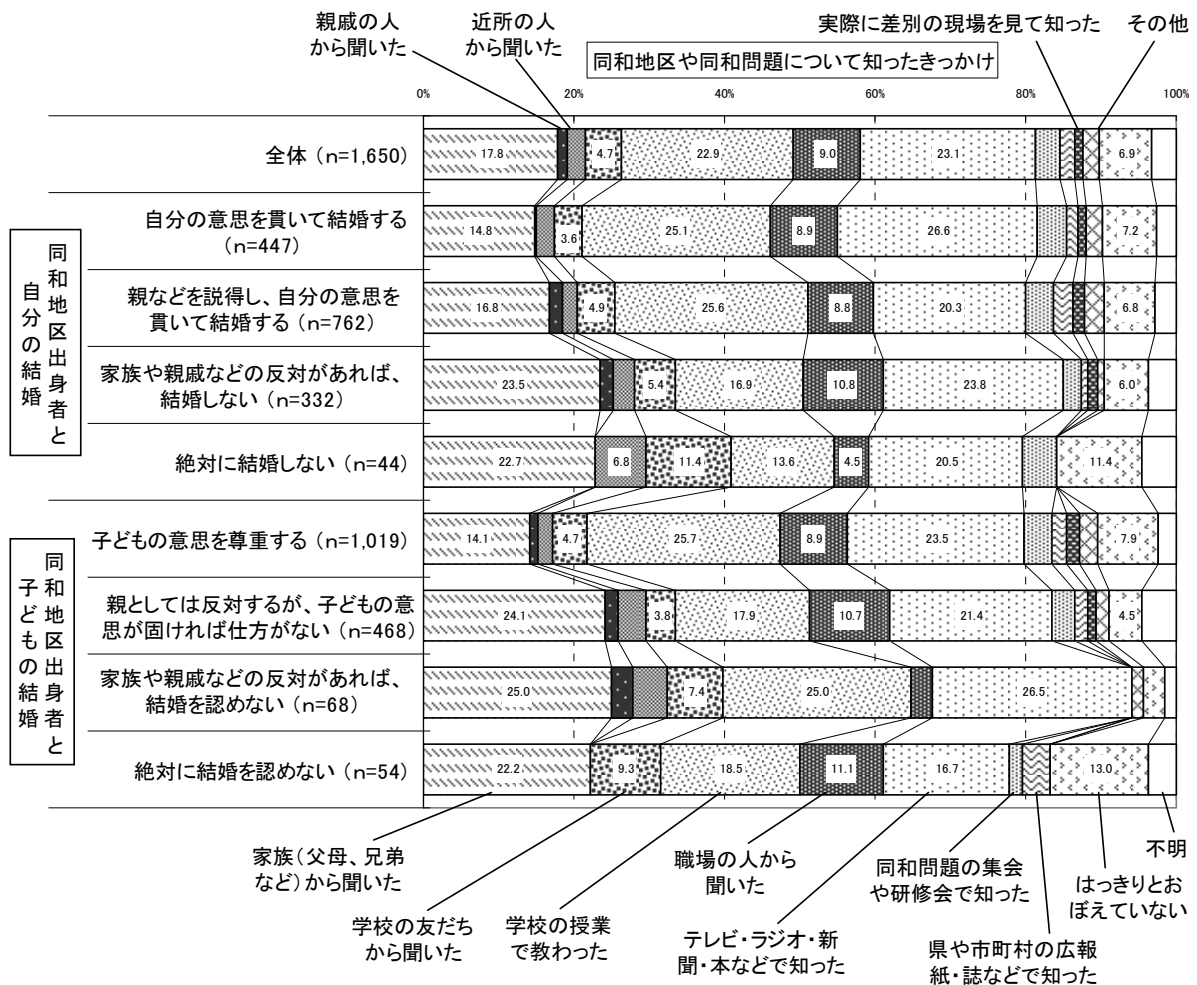


6-5. 同和地区や同和問題について知ったきっかけ【問 12】× 同和地区出身の人との結婚についての対応【問 14】

同和地区や同和問題について、初めて知ったきっかけを尋ねた設問【問 12】（P20 参照）について、自分自身が同和地区出身の人と恋愛し、結婚しようとしたとき、親や親戚などから強い反対を受けたらどうするかを尋ねた設問【問 14-1】（P22 参照）の回答別で見ると、「同和地区出身者と結婚しない」と回答した人ほど、「家族」「親戚」「近所の人」「学校の友だち」から聞いた人が多くなっている。一方、「同和地区出身者と結婚する」と回答した人ほど、「学校の授業で教わった」が多くなっている。

また、自分の子どもが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であると分かった場合、親としてどうするかを尋ねた設問【問 14-2】（P23 参照）の回答別で見ると、「子どもの意思を尊重する」と回答した人は「家族から聞いた」の14.1%よりも「学校の授業で教わった」が25.7%と多くなっている。一方、「絶対に結婚を認めない」と回答した人は「学校の授業で教わった」の18.5%より「家族から聞いた」が22.2%と多くなっている。

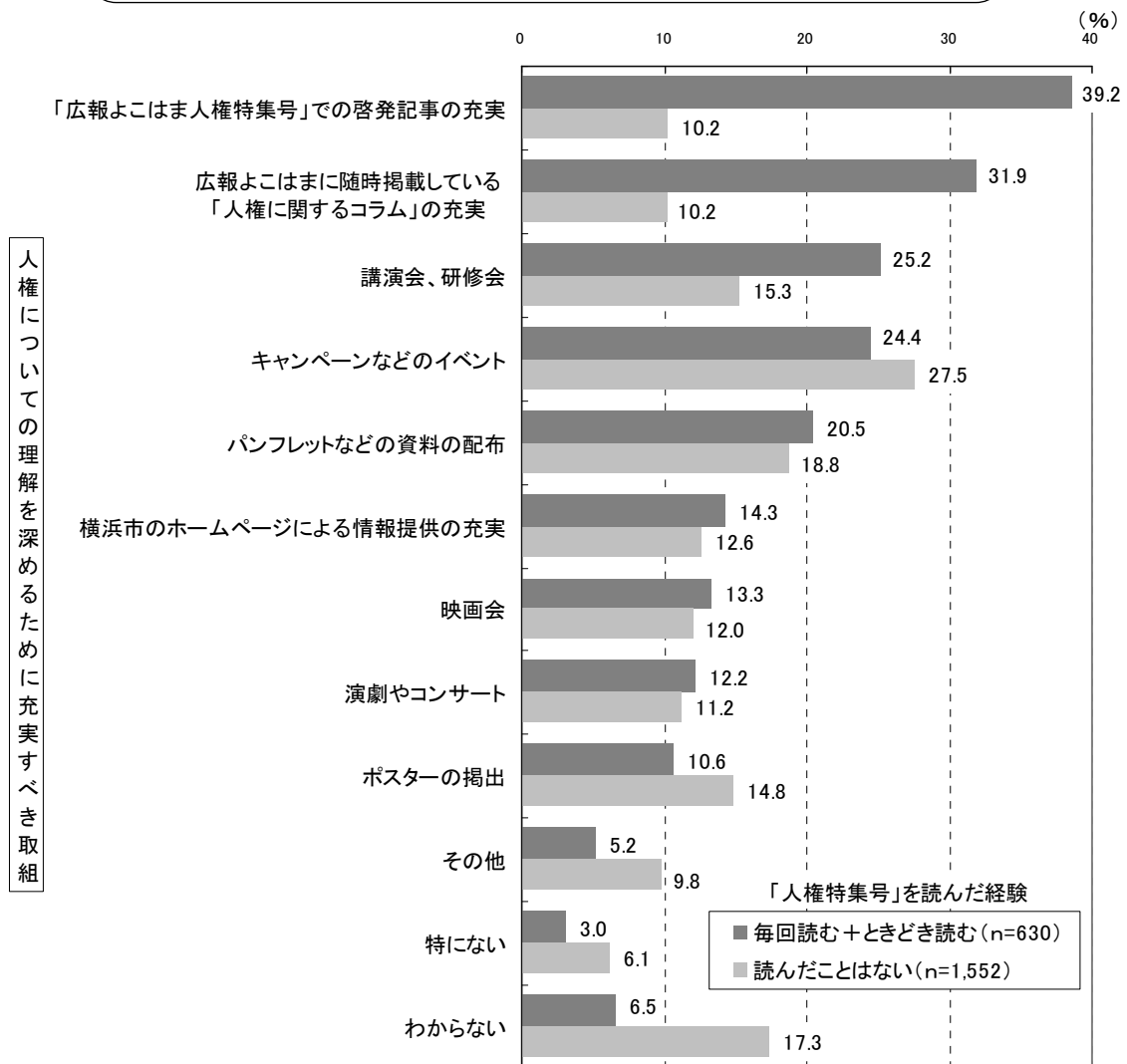
図 6-5 同和地区や同和問題について知ったきっかけ × 同和地区出身の人との結婚についての対応



6-6. 人権についての理解を深めるために充実すべき取組【問 43】 × 「広報よこはま人権特集号」を読んだ経験【問 42-3】

人権についての理解を深めてもらうためにどのような取組を充実させていくべきだと思うかを尋ねた設問【問 43】（P57 参照）について、横浜市が年 1 回発行している「広報よこはま人権特集号」を読んだことのあるかを尋ねた設問【問 42-3】（P53 参照）の回答別で見ると、「毎回読む」「ときどき読む」を合わせ「読む」と回答した人は、「人権特集号での啓発記事の充実」が 39.2%と最も多く、次いで「人権に関するコラムの充実」が 31.9%、「講演会、研修会」が 25.2%を占めている。一方、「読んだことはない」と回答した人は、「キャンペーンなどのイベント」が 27.5%と最も多く、次いで「パンフレットなどの資料の配布」が 18.8%となっており、「人権特集号での啓発記事の充実」「人権に関するコラムの充実」は、ともに 10.2%と少なくなっている。

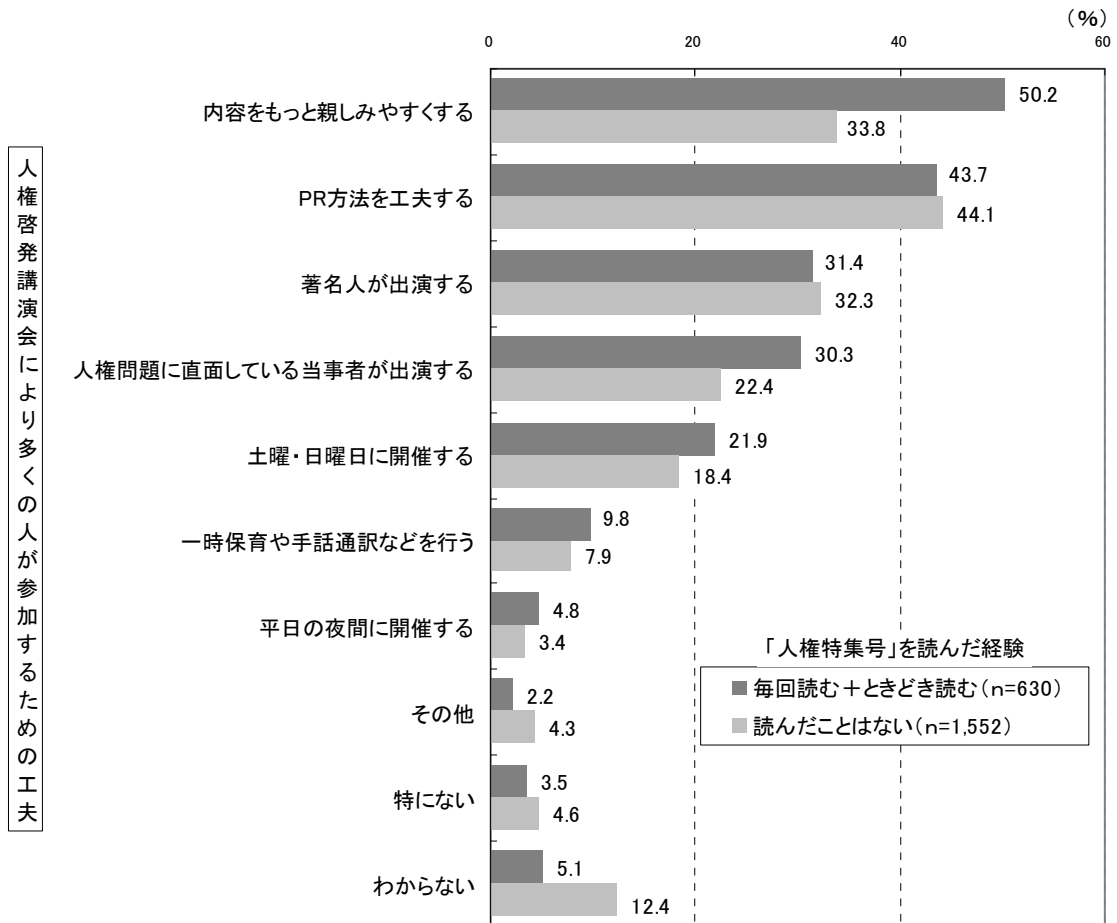
図 6-6 人権についての理解を深めるために充実すべき取組[複数回答] × 「広報よこはま人権特集号」を読んだ経験



6-7. 人権啓発講演会により多くの人が参加するための工夫【問 44】 × 「広報よこはま人権特集号」を読んだ経験【問 42-3】

人権啓発講演会などにより多くの人が参加するために、どのような工夫が効果的だと思うかを尋ねた設問【問 44】（P58 参照）について、横浜市が年 1 回発行している「広報よこはま人権特集号」を読んだことのあるかを尋ねた設問【問 42-3】（P53 参照）の回答別で見ると、「毎回読む」「ときどき読む」を合わせ「読む」と回答した人は、「内容をもっと親しみやすくする」が 50.2%と最も多く、次いで「PR方法を工夫する」が 43.7%となっている。一方、「読んだことはない」と回答した人は、「PR方法を工夫する」が 44.1%と最も多く、次いで「内容をもっと親しみやすくする」が 33.8%となっている。また、人権特集号を「読む」と回答した人は、「読まない」と回答した人よりも、「内容をもっと親しみやすくする」「人権問題に直面している当事者が出演する」との回答が多くなっている。

図 6-7 人権啓発講演会により多くの人が参加するための工夫[複数回答] × 「広報よこはま人権特集号」を読んだ経験



Ⅲ. 自由意見

質問の最後に、人権についての意見を自由回答形式で求めたところ、407人から468件の回答があった。主な意見の要点をまとめた結果は次のとおりである。

1. 人権や差別に関する意識について

1-1. 人権について改めて考えさせられた、人権に関する施策や事業に関心を持ち、理解を深めたいという意見 [47件]

- ◆ 人権問題は人任せで考えたことはあまりなかったが、アンケートを読んでいるうちに考えるべきことがたくさんあることを知った。ありがとうございました。
 - ◆ アンケートに答えることで自分の意識の低さに反省させられた。せめて、広報のコラムは読もうと思う。アンケートに答えるにあたって、娘と話ができたことがとても良かった。
- など

1-2. 周囲に対する思いやりや助け合い、相互理解が大切という意見 [21件]

- ◆ 人権というと、大きな問題のように思うが、相手のことを考え、思いやることで、答は自ら出る。「相手の立場で考えること」を幼少期から教育していくべき。
 - ◆ どんな人にも生きる権利があり、よりよい環境の中で生きていきたいと思っている。他の人の心の中を汲み取り、分かち合い、互いに共有することが大切。
- など

1-3. 人権尊重の社会、差別のない社会にしていきたい、なってほしいという意見 [14件]

- ◆ 多くの新たな人権問題が発生している事に驚いている。現状より少しでも良い状態になるよう皆が問題を認識し、努力していくことが大切。
 - ◆ 差別のない、安心して幸せに暮らせる横浜にしていけたらいい。誰かのせいで他の誰かが傷ついたり、悲しむようなことが許される社会であっては絶対にいけない。
- など

1-4. 人権に対する正しい理解、個人個人の意識の向上が必要という意見 [9件]

- ◆ 人権問題は、個人個人の意識の問題にある。一人ひとりが確かな情報を身につけて、差別のないまちづくりをしていけば良い。
 - ◆ 差別意識をなくすのは、正確な知識を得ることでそれぞれが意識を高めるしかない。同じ人間同士、差別し合うのは悲しい。
- など

1-5. 気づかずに差別をしているかもしれないという意見 [5件]

- ◆ さまざまな差別、人権問題があることに気づかされた。知らず知らずのうちに差別の目でいろいろな人たちを見ていた自分に気づき、反省した。
 - ◆ 差別を「知らない」ことで、差別がないようにも感じる反面、「知らない」がゆえに、気づかずにしてしまうこともあるのではと思う。
- など

1-6. 差別された気持ちは当事者にしかわからないという意見 [4件]

- ◆ 当事者にならなければその苦しみ分かるはずもなく、難しい問題。
- ◆ 人権に関することは、経験しているが、自分の置かれた立場では、なかなか意見を発するのは困難。
など

1-7. 被差別者の人権を守ることが必要という意見 [3件]

- ◆ 相互扶助の精神が人々の間に広まり「助けられること」を決して恥ずべきものではないと思える社会づくりが必要。
など

1-8. 今の社会は人権が守られていないという意見 [12件]

- ◆ 人権を大切にすることは、国民の心の豊かさが一番。今の日本に望むのは難しい。
- ◆ 今の時代は人と人との繋がりが希薄で、人のことより「自分が自分が」というのが前面に出てしまっている。
など

1-9. 人権に対する自分自身の見解・主張などの意見 [7件]

- ◆ 人権蹂躪じゅうりゅうの最たるものは偽政者の悪政であり、戦争であることは明白。「人権」を考える際にはこの点も考える必要がある。
- ◆ 「人権」なんてことを考えなければいけないこと自体おかしい。女性も、子どもも、障害者も、外国人も、自然に接すれば良い。
など

1-10. 差別はなくならないという意見 [6件]

- ◆ 職業、障害者、出生地に対する差別などしないが、心の中でもそのような差別を全くしない人はいるのか。こればかりは、人間の無意識な部分、感情の部分によるものなので、どうしようもない。
- ◆ 人は他人と比べることで幸せを感じる生物だから、絶対に差別はなくならない。
など

1-11. 被差別者は優遇されている、問題があるという意見 [11件]

- ◆ 思うように仕事に就くことができず、障害者雇用やホームレスの生活支援はうらやましい。
- ◆ 差別を受ける側に立ちすぎた意見ばかり聞こえてくる気もする。あくまでも、公平な立場で人権問題を考え、差別を利用した利権問題にも踏み込んでいくべきだと思う。
など

1-12. 人権問題は身近にないため、わからない、関心がないという意見 [15件]

- ◆ 自分を含め周りや家族で差別という仕打ちをされていないと、あまり関心を持ってない。
など

2. 人権啓発について

2-1. 人権意識を高めるためには広報活動や情報提供が必要という意見 [19件]

- ◆ 人権に対して興味を持っている人は少ないのではないか。もっと目立つPRをして、みんなが知識を持っていければ、次世代にも引き継がれていくと思う。
- ◆ 差別や人権問題の根底にある知識不足や誤った認識をなくすためにも、もっと深く突っ込んだ情報をたくさんの幅広い人々に知らせる必要がある。
など

2-2. 啓発の手法についての意見 [18件]

- ◆ テーマを絞り込んで、深く掘り下げる。民間企業とのタイアップによって新しい展開が生まれるのではないかと。
- ◆ 知る機会が少ない。日々、忙しい生活を送る人が多い中では、日常の生活メディアを活用して認知を図っていくべき。
- ◆ 土日、平日夜など開催日時は工夫が必要。どちらも選べるよう設定すると良い。
など

2-3. 啓発のターゲットについての意見 [4件]

- ◆ 情報に関心を持たない人にどのようにアプローチするかを考えるべき。
- ◆ 人権に関わる職業に従事する人々、特に公務員、教職員の意識を高めなければ、実際の現場での問題はなくなる。
- など

2-4. 啓発することにより差別が助長されるという意見 [3件]

- ◆ 中途半端な人権啓発活動により、今まで特に何も考えずに生活してきた人が、差別があることを知り、差別するようになることもあるのではないかと。
- など

3. 人権教育について

3-1. 子どもへの教育が大切という意見 [51件]

- ◆ 人権は、お互いを認め合うことが大事。皆が同じでない個性であったり、思想、考え方があっていいのだという教育が必要。子どもへの教育は大きい。
- ◆ 学校教育で道徳の時間を増やして、子どものうちから間違った固定観念にとらわれないうちから教育していくのが望ましい。成人してからの意識改善は難しいと思う。
- ◆ 障害者や外国人の人権については、幼稚園児にも理解することができる。紙芝居や絵本などで、小さいうちから関心を持たせたり、理解させたりすることも必要。
など

3-2. 学校をはじめ家庭、地域、職場などでの教育が必要という意見 [9件]

- ◆ 学校や地域、職場で繰り返しこの問題を取り上げて、記憶に刷り込んでいかないといけないと思う。たまに取り上げて意味がない地道な作業であると思う。
 - ◆ 行政や教育機関だけに人権啓発を任せるのではなく、まず、家族でこの問題を話し合う機会を作るよう親を教育することが必要だと思う。
- など

3-3. 人権教育のターゲットについての意見 [6件]

- ◆ まず、高齢者の方々への教育をし、それが下の年代にも伝わり、いい教育ができる。
 - ◆ 人権に関する問題は、今や無視出来ない方向へと行っているように感じる。これから社会に巣立つ若人に、十分な教育をされることが望まれる。
- など

3-4. 人権教育のテーマや視点についての意見 [8件]

- ◆ 知らないから意識が薄く、差別などの行動、発言をする人たちが多過ぎる。もっと、人権教育を充実させるべき。
 - ◆ 人として持っている権利とともに、責任についても学ぶべきだし、自分の権利と相手の権利が同等であるということも、常に理解できるように教育・啓発すべき。
- など

4. 人権施策について

4-1. 法整備や支援体制の強化が必要という意見 [16件]

- ◆ 今日のような情報化社会の中で氾濫している人権侵害に対しては、罰則強化や法的整備をもっと強力で押し進める必要がある。
 - ◆ 日本の社会においては、人権が守られていない。政府、公的機関を始め、NGO、NPO、ボランティアを含めて真剣に取り組むべき問題である。
- など

4-2. 人権施策の取組方法や視点に関する提案や意見 [15件]

- ◆ 施策として取り組むのであれば、横浜市で現実に直面している人権問題にターゲットを絞るべき。地域性や社会のありようなども考慮して、本当に今必要な施策に取り組んでいただきたい。
 - ◆ 満席の地下鉄で手押し車のご老人に誰一人席を譲らず、同じようなご老人が席を譲ろうとしている情景を見た。全席優先席ではなく、優先席を用意し、老人や健常者ではない人たちをきちんと守っていききたいと思う。
- など

4-3. 人権施策の必要性についての意見 [13件]

- ◆ 人権は当然のこと、特別に取り組む必要はないという意見 (7件)
- ◆ 人権施策に取り組むことに否定的な意見 (6件)

5. 同和問題について

5-1. 同和問題は存在する、なくしていくべきという意見 [4件]

- ◆ 若い頃、結婚問題で知り合いが自殺し、すごいショックを受けた。何事においても差別はいけない。
- ◆ 同和問題は、知らない人が多いのに、なぜ、いつまでも差別がなくなるのか。差別を教えているのは親など周囲の大人たちだと思う。
など

5-2. 同和問題が今もあることを知らなかったという意見 [4件]

- ◆ 同和問題は過去のことと思っていたが、いまだに苦しんでいる人々がいると知り驚いた。
など

5-3. 同和問題はそっとしておけばなくなるという意見 [10件]

- ◆ このまま同化して行けば、全く問題はなくなる。知らない人に広報等で中身を知らせれば、一部で済んでいたことを多くの人を知ることになり、問題が余計に広がる。
など

5-4. 被差別者に問題があるという意見 [3件]

- ◆ 差別される人たちも意識改革が必要だと思う。
など

5-5. 同和問題についてのその他の意見 [4件]

6. 外国人の人権問題について

6-1. 外国人に対する差別についての意見 [10件]

- ◆ 日本人ももっと異国の方々に普通に接することが出来るように心掛けたら良い。言葉の問題もあるが、笑顔だけでも優しさが相手に伝わるのではないか。
- ◆ アメリカ人の夫が隣人に「汚い外人」と罵られたことがある。差別は無知と恐怖からくる。差別を完全になくすことは不可能だと思うが、それぞれの文化を尊重すること、色々な人間がいてよい社会という啓発活動が重要であると思う。
- ◆ 妻は韓国人だが、申請や手続きをする際、外国人が一人で行く場合と私が同席した時の役人、特に入国管理をしている人間の行動や言葉づかいの差には驚かされる。
など

6-2. 日本で暮らす外国人は、日本の文化・習慣などを尊重すべきという意見 [3件]

7. 女性の人権問題について

7-1. 男女平等のための取組、意識改革が必要という意見 [5件]

- ◆ 親が男女を平等に考えていない場合、子どもにもインプットされ、将来的に男女差別の思考になる。親子で男女の平等を考えられる授業、カウンセリングがあれば良い。
 - ◆ 日本社会は現実にはまだまだ男社会の色合いが残っているから、男性の意識改革に力を入れることで、女性や子どもの人権問題は少しは緩和されると思う。
- など

7-2. 女性の性の問題についての意見 [2件]

- ◆ 子どもがなかなか出来なくてとても悩んでいる。男性側も協力的でない人が多い。子どもがいなくて辛い人の悩みを和らげる環境、周囲の理解を高めてほしい。
- など

7-3. 女性に対する暴力についての意見 [1件]

7-4. 男女それぞれの特性を認めるべきという意見 [6件]

- ◆ 「男らしさ、女らしさ」は日本の伝統的教育で、それを壊すと、日本の文化基盤を危うくする。
 - ◆ 女性の人権ばかりで男性の人権についてももう少し考えた方がいい。父子家庭や男性の人権も大事。
- など

8. 障害者の人権問題について

8-1. 障害者の人権が守られていない、障害者への差別があるという意見 [8件]

- ◆ 個別支援学級に通っていた子どもが、担任に障害の本質を理解してもらえず、ただ悪い子と捉えられていた。普通の子とのトラブルでも、一方的にうちの子が怒られた。
 - ◆ 私は精神障害者なので、それゆえの差別的行為、言動によく直面する。日本では、まだまだ障害者に対する正しい理解や、対処の仕方が確立されていない。
- など

8-2. 障害者支援を充実することが必要という意見 [3件]

- ◆ 精神、身体障害者の人たちの入居できる施設などが増えたら良い。
 - ◆ 障害者の自立について考えてもらいたい。兄弟に障害者がいるが、親が死んだ後、兄弟に責任がかかってくる。自分の生活だけで精一杯なのに、今後とても不安。
- など

9. 子どもの人権問題について

9-1. 児童虐待は許せない、対応の強化が必要という意見 [8件]

- ◆ 親から虐待を受けた子どものニュースで、やりきれない気持ちでいっぱいになる。法の改正で家庭への強制立ち入りが認められたが、手続きなどで時間がかかり、とり返しのつかないことになる事件も少なくない。まだまだ改正が必要だと思う。
- ◆ 様々な要因が重なって虐待をする親もいる。施設の充実や相談できる場所を増やせば、新たな気持ちで子育てに取り組み、幸せな家庭が増えると思う。
など

9-2. いじめをなくす取組が必要という意見 [2件]

- ◆ いじめは深刻であるが、一番の問題は「いじめられる側にも問題あり」とする見方。「いじめる側が100%悪い」ことをPRし徹底しない限り、いじめは解決しない。
など

9-3. 子どもの人権を守るための取組や行動が必要という意見 [7件]

- ◆ 子どもの人権は、成長過程に即して親が覚悟を持って育てること、家庭の中で守られていくことだと思う。
- ◆ 子ども向け雑誌等のポルノ、わいせつ表現の規制を検討するべき。
など

10. ホームレスの人権問題、格差社会・貧困問題について

10-1. ホームレスへの支援を充実すべきという意見 [2件]

- ◆ ホームレスの人権について、深く憂慮している。行政の支援で、最低限の寝所、食事、衣服を与えてあげてもらえないか。
など

10-2. ホームレスの人権に配慮する必要はないという意見 [4件]

10-3. 格差と貧困を是正することが必要という意見 [6件]

- ◆ 貧困と格差は人権問題だと思う。大企業が一方的に解雇できる法律こそ、労働者を人間としてみていない。全ての雇用を正社員にする法律をつくってほしい。
- ◆ 生活保護に関する偏見は改善されなければならない。「助けられること」を決して恥ずべきものではないと思える社会づくりが必要。
など

11. さまざまな人権問題について

11-1. 高齢者の人権問題についての意見 [4件]

- ◆ 人権が常に保たれる社会、特に高齢者を大切にする環境づくりを進めてもらいたい。
- ◆ 老老介護中。現代は自己主張が先行し、他人はどうでもよいという風潮が見られる。
など

11-2. 疾病に関する人権問題についての意見 [2件]

- ◆ ハンセン病に対しては、心の奥にまだわだかまりがあるのは拭えない。自分の心の歩みが必要。
など

11-3. 犯罪被害者の人権問題についての意見 [2件]

- ◆ 犯罪被害者は、辛い目に遭ったにもかかわらず、犯人や法律から置いてけぼりにされて諸々のことが進み、気がつけば孤立しているという状態は、間違っている。
など

11-4. アイヌ民族の人権問題についての意見 [4件]

- ◆ アイヌ民族の文化は、小学生のうちから知識を深め、大切にすべき先住民の文化。
など

11-5. インターネット上の人権問題についての意見 [3件]

- ◆ インターネット上での違法な情報発信等の監視、法規制等に取り組んでほしい。
など

11-6. 北朝鮮による拉致被害者の人権問題についての意見 [3件]

- ◆ 最も損なわれている人権は、北朝鮮に拉致された人と家族。他人事にはしてはいけない。
など

12. その他

12-1. 調査に対する評価 [22件]

12-2. 調査だけで終わるのではなく結果を具体的な形にしてほしいという意見 [2件]

12-3. 「人権」「差別」などの言葉がわかりにくいという意見 [3件]

12-4. 調査する必要性、効果に疑問を感じるなどの意見 [5件]

12-5. 市など行政に対する要望や意見 [10件]

資料 1. アンケート調査票

人権に関する市民意識調査

～ ご協力のお願い ～

横浜市では、人権尊重の意識を高めるための人権啓発をはじめ、人権に関するさまざまな施策に取り組んでいます。

このたび、より効果的に人権に関する取組を進めていくために、市民の皆様の人権に関する意識などについて、アンケート調査を行うこととしました。

この調査は、横浜市にお住まいの20歳以上の方の中から、無作為に選ばせていただいた5,000人の方をお願いしております。お答えいただいた結果はすべて統計的に処理を行います。また、無記名調査ですので、個人情報が入り漏洩するなどのご迷惑をおかけすることはございません。

なお、本調査は「有限会社自然文化創舎」に事務の委託をしますが、「横浜市個人情報の保護に関する条例」に基づき適切に行いますので、安心してご回答ください。

質問項目が多くお手数をおかけしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

平成22年6月

横浜市

次ページからのアンケート調査票に直接回答してください。

— ご記入にあたってのお願い —

1. この調査は、あて名のご本人が、ご自身のお考えでご記入ください。
2. 回答は、番号を○で囲んでください。答えの数は設問によって異なりますのでご注意ください。
3. 回答の中で「その他」を選んだ場合は、お手数ですが（ ）内に具体的な内容をできる限りご記入くださいますようお願いいたします。
4. 記入いただいたアンケート調査票は、同封の封筒に入れて、7月31日(土)までに投函してください。(切手を貼る必要はありません。)
5. このアンケートについてご不明な点、お問い合わせなどがございましたら、次のところまでお願いいたします。

横浜市 市民局 人権課 (担当) 奥山、杉山

〒231-0017 横浜市中区港町1-1

電話 045-671-2379

FAX 045-681-5453

【風習や結婚調査についておたずねします】

問 8 たとえば、お祝い事は「大安」の日を選ぶ、「友引」の日はお葬式を避ける、といった風習について、あなたのお考えに近いものはどれですか。
(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

8-1 そうした風習については

1. 当然のことと思う
2. おかしいと思う
3. わからない(知らない)

8-2 では、あなたご自身はどうしますか

1. 自分も従う(従った)
2. 気にしない(従わない)
3. なくしていくよう働きかける
4. わからない

問 9 結婚相手を決めるときに相手の身元調査をすることについて、あなたのお考えに近いものはどれですか。(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

9-1 そうしたことについては

1. 当然のことと思う
2. おかしいと思う
3. わからない

9-2 では、あなたご自身はどうしますか

1. 自分も従う(従った)
2. 気にしない(従わない)
3. なくしていくよう働きかける
4. わからない

【同和問題についておたずねします】

問 10 あなたは、日本の社会に「同和地区」「被差別部落」などと呼ばれ、差別を受けている地区があること、あるいは「同和問題」「部落問題」「部落差別」などと言われる問題があるのを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 知っている → 問 11 へお進みください
2. 知らない → 問 17 (6ページ) へお進みください

問 11 あなたが、同和地区や同和問題について、初めて知ったのはいつ頃ですか。
(あてはまるもの1つに○)

1. 小学校入学以前
2. 小学生のとき
3. 中学生のとき
4. 15～18歳未満(高校生のとき)
5. 18～20歳未満
6. 20歳以上
7. はっきりとおぼえていない

問 15 同和問題で、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。
(あてはまるもの3つ以内に○)

1. 結婚問題で周囲が反対すること
2. 就職の際や職場において不利な扱いをすること
3. 地域社会で不利な扱いをすること
4. 身元調査をすること
5. 差別的な発言や行為をすること
6. 差別的な落書きをすること
7. インターネットを利用して差別的な情報を掲載すること
8. その他 ()
9. 特にない
10. わからない

問 16 同和問題を解決するために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるもの3つ以内に○)

1. 同和問題にかかわる人権相談などを充実する
2. 学校や地域における人権教育を推進する
3. 広報紙・誌の発行や人権講演会など、人権啓発を推進する
4. 市民一人ひとりが、同和問題について、正しい理解を深めるように努力する
5. 同和地区の人が、積極的に行政や同和地区外の人に働きかけていく
6. 同和地区内外の人たちが、交流を活発にし、まちづくりをすすめる
7. 同和地区の人が一定の地区(同和地区)にかたまって生活しないで、分散して住むようにする
8. 同和問題については、そっとしておけば、差別は自然になくなる
9. その他 ()
10. 特にない
11. わからない

【人権問題に対する課題や施策についておたずねします】

問 17 外国人が地域で生活するとき、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。（あてはまるもの3つ以内に○）

1. じろじろ見たり、避けたりすること
2. 外国人の意見や行動を尊重しないこと
3. 差別的な発言や行為をすること
4. アパートや住宅への入居が困難なこと
5. 外国人が働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと
6. 施設・道路・鉄道案内の外国語表記など、外国人にも暮らしやすいまちづくりが図られていないこと
7. 外国語で対応できる行政相談窓口や病院・施設が少ないこと
8. 近隣や地域の人とのふれあいや理解を深める機会が少ないこと
9. その他（）
10. 特にない
11. わからない

問 18 外国人の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるもの3つ以内に○）

1. 互いが、ともに暮らす市民であることの理解を深める啓発を推進する
2. 外国語による情報提供を充実させる
3. 外国語による相談の場を増やす
4. 外国人のための日本語教室を設ける
5. 外国人も、日本人と同等のサービス（医療、福祉、教育など）を受けられるようにする
6. 外国人と日本人の相互理解と交流を進める
7. その他（）
8. 特にない
9. わからない

問 19 女性に関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。（あてはまるもの3つ以内に○）

1. 「男は仕事、女は家庭」といった男女の固定的な役割分担意識
2. 就職時の採用条件、仕事の内容、昇給昇進における男女差など、職場における男女の待遇のちがい
3. 職場や学校などにおけるセクシャル・ハラスメント（性的いやがらせ）
4. 夫や恋人など親しい関係にある男性からの女性に対する暴力（なぐる、暴言、行動を監視するなど）
5. 売春・買春（援助交際も含む）
6. テレビ、ビデオ、雑誌、インターネットなどによるわいせつ情報の氾濫
7. その他（)
8. 特にない
9. わからない

問 20 女性の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるもの3つ以内に○）

1. 女性のための相談・支援体制を充実する
2. 男女ともに、働きながら、家事や育児・介護などを両立できる環境を整備する
3. さまざまな意思決定や方針決定の場への女性の参画を促進する
4. 女性の人権を守るための啓発広報活動などを進める
5. 男女平等などに関する教育を充実する
6. マスコミなどが紙面、番組、広告などの内容に配慮する
7. 女性に対する犯罪の取り締まりを強化する
8. 女性に対する暴力の加害者への教育・相談体制を充実する
9. その他（)
10. 特にない
11. わからない

問21 障害のある人が地域で生活するとき、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。（あてはまるもの3つ以内に○）

1. じろじろ見たり、避けたりすること
2. 障害のある人の意志を尊重しないこと
3. 差別的な発言や行為をすること
4. アパートや住宅への入居が困難なこと
5. 道路の段差解消、エレベーターの設置などの暮らしやすいまちづくりが十分でないこと
6. 働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと
7. 学校の受け入れ体制が十分でないこと
8. スポーツ、文化活動、地域活動に気軽に参加できないこと
9. 近隣や地域の人とのふれあいや理解を深める機会が少ないこと
10. その他（）
11. 特にない
12. わからない

問22 障害のある人の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるもの3つ以内に○）

1. 障害のある人のための相談・支援体制を充実する
2. 障害のある人の人権を守るための教育・啓発活動を推進する
3. 在宅サービスや福祉施設・病院を充実する
4. 障害のある人が自立して生活しやすい環境にする
5. 障害に応じた教育を行う
6. 障害のある人の雇用を確保する
7. 障害のある人とない人の交流を促進する
8. 障害のある人が審議会などへ参加し、意見を反映させる機会を増やす
9. 人権侵害があった場合に救済するための法整備を行う
10. その他（）
11. 特にない
12. わからない

問29 子どもに関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に○)

1. 仲間はずれや無視、暴力や嫌がらせなどのいじめをすること
2. いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをすること
3. 教師が子どもをなぐるなど体罰を加えること
4. 親などが子どもに暴力を加えるなど虐待すること
5. 大人が子どもの意見を無視したり、大人の考えを押しつけること
6. 児童買春や児童ポルノなど
7. その他 ()
8. 特にない
9. わからない

問30 子どもの人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの3つ以内に○)

1. 子どものための相談・支援体制を充実する
2. 子どもの人権を守るための教育・啓発活動を推進する
3. 教師の資質や能力を高める
4. 親などへの教育、相談・支援体制を充実する
5. 子どもに自分も人も大切であることを教える
6. 子どもの人格を尊重する
7. 児童買春や児童ポルノなどの取り締まりを強化する
8. その他 ()
9. 特にない
10. わからない

問31 ホームレスに関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に○)

1. ホームレスに対する誤解や偏見があること
2. 通行人などの周囲の人が嫌がらせをしたり、暴力をふるうこと
3. 医療機関において、診療拒否などの差別的な扱いをすること
4. 就職することが難しく、経済的に自立した生活ができないこと
5. アパートや住宅への入居が困難なこと
6. 店舗などへの入店や施設利用を拒否すること
7. その他 ()
8. 特にない
9. わからない

問32 ホームレスの人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるもの3つ以内に○)

1. ホームレスのための相談・支援体制を充実する
2. ホームレスの人権を守るための教育・啓発活動を推進する
3. ホームレスが自立して生活できるよう支援する
4. ホームレスのための施設を充実する
5. その他 ()
6. 特にない
7. わからない

問33 犯罪被害者等^(注1)に関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に○)

1. 犯罪行為によって経済的な負担を強いられること
2. 事件のことで、周囲がうわさ話をすること
3. 関係機関に相談しても期待にそった支援が得られないこと
4. 捜査活動や刑事裁判によって精神的な負担がかかること
5. マスコミ報道により、犯罪被害者等の私生活の平穏が保てなくなること
6. その他 ()
7. 特にない
8. わからない

(注1) 犯罪被害者等とは、犯罪などにより害を被った者およびその家族または遺族をさします。わが国では、犯罪被害者等の権利利益の保護が図られる社会を実現するため、平成16年「犯罪被害者等基本法」が制定されました。また、実際の犯罪現場では地域住民など、犯罪被害者等の周辺の人々にまで人権侵害が及んでいる事例も見られます。

問34 犯罪被害者等の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるもの3つ以内に○)

1. 犯罪被害者等のための相談・支援体制を充実する
2. 犯罪被害者等の人権を守るための教育・啓発活動を推進する
3. 犯罪被害者等のための経済的な支援をする
4. 犯罪被害者等への適切なカウンセリングを行う
5. 捜査活動や刑事裁判において犯罪被害者等に配慮した支援などを行う
6. マスコミなどは犯罪被害者等の人権に配慮した報道や取材を行う
7. その他 ()
8. 特にない
9. わからない

問35 性同一性障害^(注2)・同性愛などの性的少数者に関する事で、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に○)

1. 性的少数者に対する社会的理解が低いため、好奇または偏見の目で見ること
2. 就職や仕事の内容・待遇などで不利な立場におかれること
3. 地域社会・職場・家庭・学校などで排除され、孤立してしまうこと
4. 嫌がらせをしたり、蔑称で呼ぶなど差別的な言動をすること
5. 法律が不十分であったり、整備されていないこと
6. その他 ()
7. 特にない
8. わからない

(注2)性同一性障害とは、生物学的な性「からだの性」と性の自己認識「こころの性」が一致しない状態をさします。自己の性自認どおり振る舞うことが社会的に受け入れられないことや、外見と戸籍上の性別との不一致などにより、さまざまな精神的苦痛や社会生活上の困難を強いられています。

問36 性同一性障害・同性愛などの性的少数者の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思えますか。(あてはまるもの3つ以内に○)

1. 性的少数者のための相談・支援体制を充実する
2. 性的少数者に関する正しい理解を深めるための教育・啓発活動を推進する
3. 性的少数者に関する法整備を行う
4. その他 ()
5. 特にない
6. わからない

問37 アイヌ民族^(注3)に関する事で、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つ以内に○)

1. 先住民としてのアイヌ民族に対する理解や認識が十分ではないこと
2. 結婚や就職において不利な条件におかれること
3. 経済的に困窮状態におかれている人が多いこと
4. 差別的な発言や行為をすること
5. アイヌ民族の独自の文化や伝統の保存・伝承が図られていないこと
6. その他 ()
7. 特にない
8. わからない

(注3)アイヌ民族とは、日本とロシアにまたがる北方先住民で、歴史的には本州東北部から北海道、千島列島、樺太(サハリン)を生活圏としていた民族をいいます。平成19年「先住民の権利に関する国際連合宣言」が採択されたことを受け、平成20年「アイヌ民族を先住民とすることを求める決議」が衆参両院において全会一致で可決されました。

問38 アイヌ民族の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるもの3つ以内に○)

1. アイヌ民族のための相談・支援体制を充実する
2. アイヌ民族の歴史について認識を深めるための教育・啓発活動を推進する
3. アイヌ民族の独自の文化・伝統の保存・伝承を推進する
4. アイヌ民族の雇用を確保する
5. その他 ()
6. 特にない
7. わからない

問39 インターネット上で、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。
(あてはまるもの3つ以内に○)

1. 他人の誹謗中傷や差別的な表現など、人権を侵害する情報を掲載すること
2. 出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること
3. 事件の捜査対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること
4. 児童ポルノが存在すること
5. その他 ()
6. 特にない
7. わからない

問40 インターネット上の人権侵害を防ぐために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるもの3つ以内に○)

1. インターネット上で人権侵害を受けた人のための相談・支援体制を充実する
2. インターネットの利用者やプロバイダなどに対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発活動を推進する
3. 情報の提供停止や削除などに関する法的規制を強化する
4. 違法な情報発信者に対する監視や取り締まりを強化する
5. その他 ()
6. 特にない
7. わからない

【人権啓発活動についておたずねします】

問 41 あなたは、これまで人権問題に関する知識や情報を何から得ましたか。
(あてはまるもの3つ以内に○)

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 講演会、研修会 | 8. 映画、ビデオ |
| 2. キャンペーンなどのイベント | 9. 新聞 |
| 3. 市町村が発行する広報紙・誌 | 10. 本 |
| 4. パンフレットなどの資料 | 11. 学校の授業 |
| 5. ポスター | 12. その他 () |
| 6. インターネット | 13. 特にない |
| 7. テレビ、ラジオ | |

問 42 あなたは、横浜市(区役所)が行っている人権啓発講演会やイベントに参加したり、
広報紙で「人権問題」に関する記事を読んだりしたことなどはありますか。
ある場合、人権についての理解は深まりましたか。
それぞれについて、お答えください。

42-1 講演会・研修会に参加したことはありますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|--------------------------|
| 1. 何回も参加した | <input type="checkbox"/> |
| 2. 1～2回参加した | <input type="checkbox"/> |
| 3. 参加したことはない | <input type="checkbox"/> |
- 42-(1)へ
お進み
ください

42-(1) 講演会・研修会に参加して、
人権について理解は深まりましたか。(1つに○)

1. 深まった
2. まあ深まった
3. あまり深まらなかった

42-2 人権啓発キャンペーンなどのイ
ベントに参加したことはありますか。
(1つに○)

- | | |
|--------------|--------------------------|
| 1. 何回も参加した | <input type="checkbox"/> |
| 2. 1～2回参加した | <input type="checkbox"/> |
| 3. 参加したことはない | <input type="checkbox"/> |
- 42-(2)へ
お進み
ください

42-(2) イベントに参加して、人権
について理解は深まりましたか。
(1つに○)

1. 深まった
2. まあ深まった
3. あまり深まらなかった

42-3 年1回発行している「広報よこはま人権特集号」を読んだことはありますか。(1つに○)

- 1. 毎回読む
- 2. ときどき読む
- 3. 読んだことはない

42-(3)へ
お進み
ください

42-(3) 「広報よこはま人権特集号」を読んで、人権について理解は深まりましたか。(1つに○)

- 1. 深まった
- 2. まあ深まった
- 3. あまり深まらなかった

42-4 毎月発行する広報よこはまに随時掲載している「人権に関するコラム」を読んだことはありますか。(1つに○)

- 1. 毎回読む
- 2. ときどき読む
- 3. 読んだことはない

42-(4)へ
お進み
ください

42-(4) 「人権に関するコラム」を読んで、人権について理解は深まりましたか。(1つに○)

- 1. 深まった
- 2. まあ深まった
- 3. あまり深まらなかった

42-5 公共施設などに掲出されている「人権啓発ポスター」を見たことはありますか。(1つに○)

- 1. 何回も見た
- 2. 1～2回は見た
- 3. 見たことはない

42-(5)へ
お進み
ください

42-(5) 「人権啓発ポスター」を見て、人権について理解は深まりましたか。(1つに○)

- 1. 深まった
- 2. まあ深まった
- 3. あまり深まらなかった

42-6 横浜市のホームページにある人権に関するページを見たことはありますか。(1つに○)

- 1. よく見る
- 2. ときどき見る
- 3. 見たことはない

42-(6)へ
お進み
ください

42-(6) 横浜市のホームページを見て、人権について理解は深まりましたか。(1つに○)

- 1. 深まった
- 2. まあ深まった
- 3. あまり深まらなかった

問 43 横浜市では、人権についての理解を深めていただくためにさまざまな取組を進めています。あなたは、今後どのような取組を充実させていくべきだと思いますか。
(あてはまるもの3つ以内に○)

1. 講演会、研修会
2. キャンペーンなどのイベント
3. 演劇やコンサート
4. 映画会
5. 「広報よこはま人権特集号」での啓発記事の充実
6. 広報よこはまに随時掲載している「人権に関するコラム」の充実
7. パンフレットなどの資料の配布
8. ポスターの掲出
9. 横浜市のホームページによる情報提供の充実
10. その他 ()
11. 特にない
12. わからない

問 44 人権啓発講演会などに、より多くの人に参加するために、あなたはどのような工夫が効果的だと思いますか。(あてはまるもの3つ以内に○)

1. 著名人が出演する
2. 人権問題に直面している当事者が出演する
3. 内容をもっと親しみやすくする
4. 土曜・日曜日に開催する
5. 平日の夜間に開催する
6. 一時保育や手話通訳などを行う
7. PR方法を工夫する
8. その他 ()
9. 特にない
10. わからない

問45 横浜市がめざす「互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」を実現するために、あなたは今後どのような取組が必要だと思いますか。(あてはまるもの3つ以内に○)

1. 人権施策に関する指針の策定と市民への周知
2. 人権意識を高めるための市民啓発の充実
3. 学校や地域における人権教育の充実
4. 社会における不公正な格差を解消するための施策の充実
5. 教職員、保健・医療・福祉関係従事者、公務員など人権問題に深く関わる職業に従事する人の人権意識の向上
6. 企業における人権意識の向上
7. 人権侵害に対する救済策の強化
8. その他 ()
9. 特にない
10. わからない

問46 市民一人ひとりが、人権を尊重しあうために、心がけたり行動すべきこととして、あなたはどのようなことが求められると思いますか。(あてはまるもの3つ以内に○)

1. 人権について正しい知識を身につけること
2. 因習や誤った固定観念にとらわれないこと
3. 他人の立場や権利を尊重すること
4. 自分が生活している地域の人々を大切にすること
5. 家族が互いの立場や権利を大切にすること
6. 職場で、人権を尊重する意識を高めあうこと
7. その他 ()
8. 特にない
9. わからない

資料 2. 集計表

1-1. 関心のある人権問題

表1 問1 日本の社会には、基本的人権にかかわるさまざまな問題があります。あなたは、どの人権問題に関心がありますか。
(あてはまるものすべてに○)

	性別		年齢							
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113	
%	子どもの人権問題	46.0	36.7	33.5	43.2	46.6	42.9	41.4	40.6	36.3
	女性の人権問題	47.1	25.0	38.7	43.0	42.5	37.0	32.2	32.2	27.4
	高齢者の人権問題	41.5	36.3	20.8	24.4	31.6	38.4	54.2	54.7	61.1
	障害者の人権問題	47.5	45.4	44.8	43.6	48.9	49.6	45.8	47.5	40.7
	外国人の人権問題	14.9	21.3	24.1	20.8	18.8	18.2	15.0	13.8	8.0
	アイヌ民族の人権問題	8.9	12.6	8.0	8.5	9.7	9.8	12.6	15.3	7.1
	同和問題	11.6	18.4	6.6	14.3	14.2	15.7	15.3	18.4	14.2
	HIV感染者やハンセン病患者・元患者などの人権問題	24.4	23.3	26.4	25.3	26.2	22.1	23.2	23.4	14.2
	職業差別	28.8	31.3	37.3	28.2	27.7	33.1	30.0	30.6	15.9
	ホームレスの人権問題	12.2	17.4	17.5	11.2	14.8	15.4	13.8	15.9	15.0
	性同一性障害など性的少数者の人権問題	16.8	13.9	25.5	21.0	17.0	16.2	7.5	12.8	2.7
	北朝鮮による拉致被害者等の人権問題	29.5	31.2	13.7	17.4	27.5	30.0	44.1	43.1	34.5
	刑を終えて出所した人の人権問題	13.3	15.3	19.8	10.7	12.0	12.9	16.0	18.1	10.6
	犯罪被害者等の人権問題	30.8	35.4	29.2	34.0	40.5	33.6	31.0	30.9	15.0
	インターネット上での人権問題	33.9	34.4	40.6	39.6	43.8	36.4	28.6	23.1	8.0
	その他	1.0	1.8	2.8	0.9	1.0	0.8	1.9	1.6	-
特にない	4.3	6.1	5.2	4.7	5.6	5.3	3.4	7.2	8.0	
不明	2.3	1.6	1.9	0.2	0.8	0.8	3.1	4.4	8.0	

	職業							全体	H17年度調査	
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない			
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397	
%	子どもの人権問題	37.5	49.0	36.6	50.9	36.6	47.5	35.3	41.7	51.3
	女性の人権問題	33.1	46.5	31.4	47.4	46.3	35.0	27.8	37.1	45.6
	高齢者の人権問題	28.3	40.5	37.9	45.5	17.1	37.5	50.5	39.1	41.2
	障害者の人権問題	44.4	44.2	41.8	49.9	41.5	47.5	49.3	46.5	47.7
	外国人の人権問題	22.1	16.7	14.4	14.3	39.0	22.5	13.7	17.6	22.7
	アイヌ民族の人権問題	9.6	8.5	14.4	9.2	14.6	5.0	13.7	10.5	11.2
	同和問題	15.9	11.0	17.0	13.4	14.6	10.0	15.8	14.6	16.5
	HIV感染者やハンセン病患者・元患者などの人権問題	24.3	22.9	31.4	23.3	31.7	27.5	21.2	23.8	29.3
	職業差別	29.5	31.2	33.3	28.3	53.7	25.0	28.1	29.7	24.0
	ホームレスの人権問題	15.8	13.3	14.4	10.9	17.1	7.5	17.3	14.4	14.5
	性同一性障害など性的少数者の人権問題	16.2	17.0	17.6	16.6	22.0	10.0	10.9	15.4	13.4
	北朝鮮による拉致被害者等の人権問題	22.3	27.8	38.6	35.4	19.5	32.5	36.6	30.2	選択肢なし
	刑を終えて出所した人の人権問題	12.3	14.2	21.6	12.2	34.1	15.0	15.0	14.0	14.2
	犯罪被害者等の人権問題	34.3	31.2	41.8	33.8	29.3	32.5	27.8	32.7	37.9
	インターネット上での人権問題	39.8	36.5	39.2	36.1	34.1	32.5	19.7	33.9	29.7
	その他	1.3	0.8	3.3	0.4	4.9	-	1.7	1.3	1.9
特にない	5.6	3.4	6.5	4.6	2.4	2.5	6.9	5.2	5.3	
不明	0.7	1.7	-	1.7	2.4	-	5.4	2.1	1.8	

1-2. 今の日本は基本的な人権が尊重されている社会か

表2 問2 あなたは、今の日本では「基本的な人権」が尊重されている社会だと思いますか。(1つに○)

	性別		年齢							
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113	
%	そう思う	15.0	23.1	20.8	19.5	13.0	18.8	17.4	22.5	23.0
	いちがいいには言えない	72.0	63.7	66.0	70.0	71.5	70.0	65.9	67.2	61.9
	そう思わない	11.7	12.7	12.7	10.5	14.8	10.9	14.8	9.4	9.7
	不明	1.4	0.5	0.5	-	0.8	0.3	1.9	0.9	5.3

	職業							全体	H17年度調査	
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない			
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397	
%	そう思う	21.9	14.4	13.1	15.1	24.4	22.5	21.8	18.7	16.4
	いちがいいには言えない	67.1	69.7	69.9	73.8	56.1	72.5	63.6	68.2	68.1
	そう思わない	10.6	14.7	16.3	10.7	19.5	5.0	12.2	12.2	14.4
	不明	0.4	1.1	0.7	0.4	-	-	2.4	1.0	1.1

1-3. 国民一人ひとりの人権意識は10年前に比べて高くなっているか

表3 問3 あなたは、国民一人ひとりの人権意識は10年前に比べて高くなっていると思いますか。(1つに○)

	性別		年齢							
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113	
%	そう思う	37.8	34.1	32.5	34.2	30.5	40.1	36.3	42.2	38.1
	いちがいいには言えない	43.6	40.7	45.3	44.1	46.1	39.8	40.7	39.7	38.9
	そう思わない	17.2	24.5	21.2	21.7	23.2	19.6	21.1	15.6	18.6
	不明	1.4	0.7	0.9	-	0.3	0.6	1.9	2.5	4.4

	職業							全体	H17年度調査	
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない			
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397	
%	そう思う	36.7	33.7	37.9	37.1	31.7	35.0	36.2	36.2	38.1
	いちがいいには言えない	40.6	42.2	39.9	45.7	48.8	47.5	41.1	42.3	39.6
	そう思わない	22.3	22.9	20.9	16.8	19.5	17.5	19.9	20.4	21.4
	不明	0.4	1.1	1.3	0.4	-	-	2.8	1.1	0.9

1-4. 差別についての認識と行為

問4 「差別」について、あなたのお考えに近いものはどれですか。

表4 4-1 差別について(1つに○)

	性別		年齢							
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113	
%	差別はあつてはならない	69.7	65.0	56.6	60.6	70.0	72.5	72.4	68.8	71.7
	差別があるのは仕方がない	20.6	26.4	37.7	31.8	20.9	20.7	17.7	17.8	13.3
	差別をされる側に原因がある	2.4	3.8	1.4	1.8	1.0	1.7	4.8	7.2	3.5
	わからない	5.5	3.8	4.2	5.8	7.9	3.6	2.7	4.4	4.4
	不明	1.8	0.9	-	-	0.3	1.4	2.4	1.9	7.1

	職業							全体	H17年度調査	
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない			
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397	
%	差別はあつてはならない	65.2	68.0	67.3	72.7	53.7	80.0	66.6	67.6	71.9
	差別があるのは仕方がない	28.9	21.2	22.2	19.1	34.1	10.0	20.6	23.2	20.6
	差別をされる側に原因がある	1.4	3.7	3.9	2.3	4.9	2.5	5.4	3.0	2.8
	わからない	3.9	6.2	6.5	4.8	7.3	7.5	4.1	4.8	4.4
	不明	0.6	0.8	-	1.0	-	-	3.4	1.4	0.3

表5 4-2 あなたは差別を(1つに○)

	性別		年齢							
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113	
%	しない	20.0	25.8	14.2	13.2	17.3	21.6	28.1	36.3	40.7
	してしまうこともある	19.2	24.4	29.2	30.9	22.6	19.9	15.0	15.9	8.8
	気づかずにしているかもしれない	55.9	47.2	54.7	54.4	56.0	55.5	53.3	41.3	37.2
	わからない	2.9	1.4	1.9	1.1	4.1	1.4	1.7	3.4	3.5
	不明	2.1	1.1	-	0.4	-	1.7	1.9	3.1	9.7

	職業							全体	H17年度調査	
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない			
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397	
%	しない	18.9	19.3	22.2	20.3	12.2	37.5	33.6	22.8	23.0
	してしまうこともある	26.4	22.4	24.2	16.8	41.5	25.0	15.2	21.5	21.4
	気づかずにしているかもしれない	52.8	53.5	51.6	59.1	43.9	37.5	44.1	51.8	52.7
	わからない	1.4	3.1	1.3	2.5	2.4	-	3.0	2.3	1.9
	不明	0.6	1.7	0.7	1.3	-	-	4.1	1.6	1.0

1-5. 差別をされた経験

表6 問5 あなたはこれまでに、「差別」をされたと思ったことがありますか。ある場合、何について差別をされましたか。(3つ以内に○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113
%									
年齢	19.9	12.3	12.3	17.0	21.6	21.3	14.3	10.9	13.3
学歴・出身校	21.3	29.3	21.2	29.8	25.7	24.4	26.6	21.6	12.4
職業	10.0	13.2	11.3	14.1	9.9	13.7	10.2	10.0	6.2
収入・財産	9.6	12.8	7.5	13.6	12.5	8.1	10.9	12.5	6.2
家柄	7.0	6.1	9.0	5.4	7.9	6.4	6.8	6.3	3.5
母子家庭・父子家庭・両親なし	5.4	3.3	2.4	5.4	6.6	2.5	4.6	4.4	2.7
心身障害・疾病	3.0	3.7	2.8	5.6	4.1	2.5	1.7	2.5	2.7
性別	20.4	3.6	18.9	20.4	19.1	11.8	6.5	4.4	1.8
独身	4.3	4.5	1.4	7.8	6.9	3.6	2.4	2.8	1.8
容姿	13.4	10.7	23.1	17.0	14.8	12.9	5.6	5.6	3.5
部落差別	0.2	0.6	-	0.2	-	0.6	1.0	0.6	-
人種・民族・国籍	4.3	3.7	2.8	7.6	6.4	4.5	1.9	0.3	0.9
思想・信条	1.7	3.5	5.2	1.3	1.5	2.0	4.1	2.5	0.9
宗教	2.8	2.6	3.8	3.1	2.8	2.0	2.9	2.2	1.8
その他	1.9	1.7	2.4	1.3	1.8	2.2	1.2	2.8	0.9
差別をされたことはない	37.4	39.5	34.9	31.8	28.8	38.9	40.9	50.6	60.2
不明	2.0	3.3	2.8	1.1	2.3	1.4	4.4	3.1	4.4

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397
%									
年齢	14.7	21.2	15.0	18.9	14.6	20.0	13.9	16.5	16.7
学歴・出身校	27.1	26.6	27.5	20.8	39.0	25.0	22.3	24.8	19.9
職業	10.6	13.9	17.0	9.0	12.2	17.5	10.5	11.4	7.7
収入・財産	11.3	13.6	14.4	7.3	4.9	7.5	11.8	10.9	9.7
家柄	5.8	7.1	11.1	6.7	9.8	7.5	5.4	6.6	4.0
母子家庭・父子家庭・両親なし	4.1	5.9	3.9	3.6	2.4	5.0	4.9	4.5	4.8
心身障害・疾病	3.4	2.5	-	3.1	-	5.0	4.9	3.3	2.8
性別	13.1	16.1	8.5	19.5	24.4	7.5	4.7	12.9	13.5
独身	6.8	4.2	3.3	2.3	-	5.0	3.9	4.4	2.2
容姿	11.8	14.7	9.2	16.1	26.8	10.0	6.4	12.2	8.1
部落差別	0.6	-	0.7	0.2	-	-	0.6	0.4	0.4
人種・民族・国籍	5.5	5.4	3.9	3.8	7.3	7.5	0.6	4.0	3.9
思想・信条	2.4	2.3	2.6	1.5	7.3	-	3.6	2.5	2.1
宗教	2.7	3.1	2.0	1.9	4.9	2.5	3.0	2.7	1.5
その他	1.8	3.1	0.7	1.0	-	2.5	2.1	1.8	3.5
差別をされたことはない	36.4	30.0	42.5	41.7	26.8	35.0	44.5	38.5	40.5
不明	2.4	1.7	2.0	1.0	4.9	-	4.7	2.6	5.2

1-6. 差別をされたり人権を侵害されたりした場合の対応

表7 問6 もし、あなたが差別をされたり、人権を侵害されたりした場合、まずどうしますか。(1つに○)

	性別		年齢							
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113	
%	黙って我慢する	20.2	20.4	21.2	24.8	23.9	16.0	20.8	14.7	14.2
	相手に抗議する	12.5	24.9	23.1	15.7	15.0	22.1	16.7	20.6	13.3
	身近な人に相談する	38.3	18.8	36.3	36.2	33.8	29.7	22.5	22.8	20.4
	弁護士に相談する	1.6	3.6	0.5	2.2	2.3	2.2	2.9	3.1	5.3
	市役所・区役所に相談する	4.0	4.7	1.4	1.8	1.8	4.5	5.8	9.4	8.8
	法務局または人権擁護委員に相談する	2.2	5.0	-	1.6	1.5	2.5	5.3	7.5	8.0
	民間相談機関に相談する	1.7	1.8	0.9	0.4	1.8	1.7	2.7	2.2	3.5
	警察に相談する	0.6	1.1	0.9	0.4	0.3	1.4	0.5	1.9	1.8
	その他	2.2	3.8	2.4	4.0	2.5	2.5	3.1	2.8	0.9
	わからない	11.7	11.4	9.4	9.2	14.5	12.3	13.1	9.1	14.2
不明	5.1	4.4	3.8	3.6	2.5	5.0	6.5	5.9	9.7	

	職業							全体	H17年度調査	
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない			
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397	
%	黙って我慢する	25.0	19.8	19.0	19.5	24.4	17.5	14.3	20.3	20.0
	相手に抗議する	22.0	13.9	22.9	11.1	19.5	15.0	20.6	18.0	19.7
	身近な人に相談する	25.1	36.0	26.1	43.2	41.5	35.0	18.0	29.4	32.0
	弁護士に相談する	2.1	2.3	6.5	1.3	-	7.5	2.8	2.5	2.1
	市役所・区役所に相談する	2.3	3.4	2.6	4.0	2.4	7.5	9.0	4.4	3.5
	法務局または人権擁護委員に相談する	2.3	2.8	2.0	2.1	-	2.5	7.9	3.4	4.8
	民間相談機関に相談する	1.0	1.4	2.0	1.3	2.4	-	3.6	1.7	選択肢なし
	警察に相談する	0.7	0.8	0.7	0.8	2.4	-	1.1	0.9	0.9
	その他	3.4	1.7	3.9	1.9	4.9	-	3.4	2.9	4.4
	わからない	11.8	13.0	8.5	12.2	2.4	10.0	11.6	11.7	7.7
不明	4.4	4.8	5.9	2.7	-	5.0	7.7	4.8	4.9	

1-7. 他人を差別した経験

表8 問7 あなたはこれまでに、他人を「差別」したことがありますか。ある場合、何について差別したことがありますか。(3つ以内に○)

	性別		年齢							
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113	
%	年齢	3.4	5.0	5.2	5.4	5.3	5.3	2.2	2.5	0.9
	学歴・出身校	8.1	7.4	8.5	8.1	9.7	7.8	8.7	4.7	4.4
	職業	7.1	7.2	6.6	6.3	7.6	9.5	7.0	7.5	1.8
	収入・財産	3.4	3.7	4.2	3.6	3.3	4.5	3.1	3.1	2.7
	家柄	3.0	3.2	1.9	4.9	1.5	3.1	4.4	1.9	2.7
	母子家庭・父子家庭・両親なし	1.4	1.5	1.9	2.7	1.0	1.4	1.0	1.3	-
	心身障害・疾病	5.3	6.9	10.8	9.2	5.9	4.2	5.8	1.9	2.7
	性別	3.1	5.6	4.2	4.0	5.9	6.2	3.9	2.2	-
	独身	0.8	0.8	0.5	1.3	1.0	1.1	0.2	0.6	-
	容姿	10.1	14.2	22.2	19.9	13.7	9.8	6.1	4.1	2.7
	部落差別	0.9	1.1	0.5	0.9	0.3	0.8	1.7	1.3	1.8
	人種・民族・国籍	9.1	12.5	9.0	13.6	12.2	12.3	9.7	5.6	7.1
	思想・信条	5.5	8.6	5.2	5.6	6.9	7.8	9.0	5.9	7.1
	宗教	16.5	15.5	17.0	21.0	17.0	15.1	16.0	11.3	7.1
	その他	3.3	3.1	3.8	4.0	4.3	3.1	2.9	1.6	0.9
	差別をしたことはない	47.8	44.8	36.8	35.1	42.0	48.5	51.8	60.0	64.6
	不明	5.1	4.2	4.2	3.6	4.1	2.8	6.1	5.9	9.7

	職業							全体	H17年度調査	
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない			
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397	
%	年齢	5.6	4.5	2.6	3.6	7.3	5.0	2.1	4.1	3.5
	学歴・出身校	7.1	8.8	8.5	9.2	12.2	5.0	6.2	7.8	7.0
	職業	6.6	8.5	6.5	6.3	12.2	10.0	7.5	7.1	7.2
	収入・財産	3.4	4.0	5.2	2.1	2.4	7.5	4.3	3.5	2.4
	家柄	3.8	2.3	3.9	3.6	-	5.0	2.1	3.1	1.9
	母子家庭・父子家庭・両親なし	1.4	2.5	0.7	1.0	2.4	2.5	1.3	1.5	1.1
	心身障害・疾病	8.3	4.8	5.9	5.0	9.8	-	4.5	6.0	4.9
	性別	6.3	2.5	4.6	2.7	7.3	5.0	3.4	4.3	3.3
	独身	1.1	0.6	0.7	1.0	-	-	0.2	0.8	1.1
	容姿	17.1	11.6	8.5	9.0	26.8	7.5	7.1	11.8	8.1
	部落差別	0.8	0.6	2.0	1.3	-	-	1.1	1.0	1.1
	人種・民族・国籍	14.1	12.5	12.4	7.5	7.3	2.5	7.1	10.5	9.4
	思想・信条	6.3	5.4	9.2	7.5	12.2	-	7.5	6.9	6.3
	宗教	17.1	18.7	16.3	17.6	9.8	7.5	12.0	15.9	12.9
	その他	3.7	3.4	1.3	2.9	7.3	7.5	2.6	3.2	6.9
	差別をしたことはない	40.8	46.7	48.4	48.6	26.8	55.0	54.6	46.7	50.0
	不明	3.7	3.7	3.3	4.2	4.9	5.0	7.3	4.7	4.7

2-1. 風習についての認識と行為

問8 たとえば、お祝い事は「大安」の日を選ぶ、「友引」の日はお葬式を避ける、といった風習について、あなたのお考えに近いものはどれですか。

表9 8-1 そうした風習については(1つに○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113
%									
当然のことと思う	59.3	53.9	42.5	54.4	57.3	59.7	59.6	60.3	65.5
おかしいと思う	20.8	26.7	17.5	20.4	21.1	25.5	28.3	26.9	20.4
わからない(知らない)	16.5	15.2	36.8	23.7	18.3	10.1	8.2	7.2	8.0
不明	3.4	4.2	3.3	1.6	3.3	4.8	3.9	5.6	6.2

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	
%									お祝い事は「大安」の日でないとは良くないとする風習
当然のことと思う	53.6	56.1	63.4	63.5	48.8	52.5	55.2	56.8	
おかしいと思う	22.4	21.5	21.6	21.8	22.0	32.5	27.8	23.5	
わからない(知らない)	20.6	19.0	11.8	11.9	24.4	12.5	11.3	16.0	
不明	3.4	3.4	3.3	2.7	4.9	2.5	5.6	3.8	

表10 8-2 では、あなたご自身はどうしますか(1つに○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113
%									
自分も従う(従った)	63.9	55.9	39.6	54.8	57.0	68.1	66.6	65.0	70.8
気にしない(従わない)	25.7	32.7	46.2	36.0	32.3	21.8	22.5	22.5	16.8
なくしていくよう働きかける	4.4	4.6	2.4	3.1	4.3	5.3	5.6	6.6	1.8
わからない	3.7	3.9	9.9	4.5	4.3	2.0	2.7	2.2	2.7
不明	2.3	2.9	1.9	1.6	2.0	2.8	2.7	3.8	8.0

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	
%									お祝い事は「大安」の日でないとは良くないとする風習
自分も従う(従った)	54.7	60.9	62.7	68.8	34.1	65.0	60.4	60.2	
気にしない(従わない)	34.4	27.5	26.8	23.7	48.8	22.5	26.6	28.8	
なくしていくよう働きかける	3.8	5.4	3.9	3.6	2.4	7.5	5.4	4.4	
わからない	4.2	4.5	4.6	2.1	12.2	5.0	3.4	3.8	
不明	2.8	1.7	2.0	1.9	2.4	-	4.3	2.7	

2-2. 結婚相手の身元調査をすることについての認識と行為

問9 結婚相手を決めるときに相手の身元調査をすることについて、あなたのお考えに近いものはどれですか。

表 11 9-1 そうしたことについては(1つに○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113
%									
当然のことと思う	32.7	34.0	25.9	24.4	24.9	33.3	36.1	47.8	60.2
おかしいと思う	33.3	39.4	34.4	38.7	34.4	40.3	39.7	30.6	19.5
わからない	30.2	23.3	36.3	35.6	37.7	23.2	20.8	15.0	10.6
不明	3.8	3.3	3.3	1.3	3.1	3.1	3.4	6.6	9.7

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	
%									設問なし
当然のことと思う	25.4	32.0	33.3	33.8	36.6	50.0	43.9	33.3	
おかしいと思う	40.1	32.9	41.8	32.1	34.1	42.5	33.6	35.8	
わからない	31.6	32.0	22.2	31.2	26.8	7.5	16.5	27.2	
不明	3.0	3.1	2.6	2.9	2.4	-	6.0	3.7	

表 12 9-2 では、あなたご自身はどうしますか(1つに○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113
%									
自分も従う(従った)	23.3	22.1	17.0	13.6	15.5	20.7	24.7	37.8	52.2
気にしない(従わない)	49.4	58.6	61.3	63.1	59.8	56.6	48.9	38.8	23.9
なくしていくよう働きかける	8.0	7.5	5.7	6.5	7.1	6.4	10.4	10.6	6.2
わからない	16.2	9.1	13.7	15.4	15.8	13.4	12.3	8.4	9.7
不明	3.0	2.6	2.4	1.3	1.8	2.8	3.6	4.4	8.0

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	
%									設問なし
自分も従う(従った)	14.7	21.0	21.6	26.6	24.4	35.0	31.3	22.7	
気にしない(従わない)	65.9	51.8	51.6	47.6	53.7	45.0	43.5	53.3	
なくしていくよう働きかける	5.8	7.6	13.7	8.4	7.3	7.5	8.6	7.8	
わからない	11.1	17.3	11.1	14.7	12.2	12.5	12.2	13.1	
不明	2.5	2.3	2.0	2.7	2.4	-	4.5	3.0	

3-1. 同和地区や同和問題についての認知

表 13 問 10 あなたは、日本の社会に「同和地区」「被差別部落」などと呼ばれ、差別を受けている地区があること、あるいは「同和問題」「部落問題」「部落差別」などと言われる問題があるのを知っていますか。(1つに○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113
% 知っている	70.0	76.0	53.8	68.9	77.4	77.3	76.3	75.6	69.0
% 知らない	29.0	22.0	44.3	30.4	21.9	21.0	22.5	21.9	27.4
% 不明	1.0	2.0	1.9	0.7	0.8	1.7	1.2	2.5	3.5

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397
% 知っている	76.4	66.0	66.7	71.9	61.0	67.5	75.6	72.7	77.7
% 知らない	22.0	33.1	32.0	27.0	36.6	32.5	22.3	25.8	20.5
% 不明	1.6	0.8	1.3	1.0	2.4	-	2.1	1.5	1.8

3-2. 同和地区や同和問題についての認知時期

問 10 で「知っている」と回答した人について

表 14 問 11 あなたが、同和地区や同和問題について、初めて知ったのはいつ頃ですか。(1つに○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(n)	876	756	114	308	304	276	315	242	78
% 小学校入学以前	1.7	1.5	-	0.3	1.3	1.1	1.3	3.7	6.4
% 小学生のとき	23.5	24.5	36.0	34.7	31.6	15.2	12.4	19.8	23.1
% 中学生のとき	16.1	15.2	17.5	15.9	15.1	19.2	17.8	10.7	9.0
% 15～18歳未満(高校生のとき)	12.3	12.0	13.2	9.7	10.9	12.3	14.3	12.8	16.7
% 18～20歳未満	7.5	8.5	7.9	5.8	5.9	10.9	8.6	7.9	11.5
% 20歳以上	23.3	25.4	12.3	21.1	23.7	30.8	27.9	25.2	15.4
% はっきりとおぼえていない	14.8	12.8	13.2	11.4	11.2	10.5	17.1	19.4	17.9
% 不明	0.7	0.1	-	1.0	0.3	-	0.6	0.4	-

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(n)	542	233	102	343	25	27	353	1,650	1,085
% 小学校入学以前	0.4	2.1	3.9	0.9	-	-	3.1	1.6	1.9
% 小学生のとき	28.4	19.7	21.6	22.2	24.0	37.0	21.5	23.8	23.2
% 中学生のとき	15.9	19.7	15.7	16.9	12.0	14.8	11.6	15.8	16.7
% 15～18歳未満(高校生のとき)	10.3	12.4	12.7	12.0	32.0	3.7	14.2	12.3	10.9
% 18～20歳未満	7.9	9.4	4.9	8.2	12.0	7.4	7.4	8.0	10.3
% 20歳以上	25.6	24.5	25.5	23.6	16.0	25.9	23.2	24.2	23.1
% はっきりとおぼえていない	11.1	10.7	15.7	15.7	4.0	11.1	19.0	13.9	12.5
% 不明	0.4	1.3	-	0.6	-	-	-	0.4	0.7

3-3. 同和地区や同和問題について知ったきっかけ

問 10 で「知っている」と回答した人について

表 15 問 12 あなたが、同和地区や同和問題について、初めて知ったきっかけは何ですか。(1つに○)

	性別		年齢							
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
回答者数(n)	876	756	114	308	304	276	315	242	78	
%	家族(父母、兄弟など)から聞いた	19.1	16.5	14.0	14.6	16.1	17.8	18.7	24.8	17.9
	親戚の人から聞いた	1.4	1.1	2.6	0.6	0.3	0.7	1.3	2.1	3.8
	近所の人から聞いた	1.9	3.2	-	0.3	1.6	1.1	3.2	6.2	9.0
	学校の友だちから聞いた	4.6	4.8	1.8	2.3	5.3	6.2	4.1	6.6	6.4
	学校の授業で教わった	24.8	21.0	50.0	42.5	32.9	14.1	10.8	3.7	7.7
	職場の人から聞いた	6.4	11.8	4.4	6.5	10.2	11.6	10.8	7.4	6.4
	テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った	23.1	23.3	14.9	17.2	15.5	28.6	30.2	28.5	25.6
	同和問題の集会や研修会で知った	3.1	3.6	0.9	2.3	4.9	4.3	3.5	3.3	-
	県や市町村の広報紙・誌などで知った	2.3	1.3	-	0.6	2.0	1.1	2.9	2.9	3.8
	実際に差別の現場を見て知った	1.4	1.3	0.9	1.0	0.7	1.8	1.0	2.1	3.8
	その他	2.3	1.9	2.6	1.9	2.6	1.8	2.2	2.1	-
	はっきりとおぼえていない	6.4	7.3	6.1	7.5	6.3	6.9	7.0	6.6	9.0
不明	3.4	3.0	1.8	2.6	1.6	4.0	4.4	3.7	6.4	

	職業							全体	H17年度調査	
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない			
回答者数(n)	542	233	102	343	25	27	353	1,650	1,085	
%	家族(父母、兄弟など)から聞いた	14.9	18.0	21.6	19.8	20.0	11.1	19.5	17.8	18.6
	親戚の人から聞いた	0.6	1.3	-	1.5	-	-	2.5	1.3	1.2
	近所の人から聞いた	0.9	1.7	2.0	1.7	-	7.4	6.2	2.5	3.4
	学校の友だちから聞いた	5.7	3.4	4.9	4.4	-	3.7	4.2	4.7	7.0
	学校の授業で教わった	31.0	21.5	16.7	26.8	32.0	18.5	9.6	22.9	21.7
	職場の人から聞いた	10.0	9.0	10.8	5.5	-	3.7	11.0	9.0	8.0
	テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った	19.4	24.5	24.5	22.4	36.0	29.6	26.9	23.1	20.5
	同和問題の集会や研修会で知った	5.2	4.3	1.0	1.7	-	-	2.5	3.3	2.5
	県や市町村の広報紙・誌などで知った	1.1	1.3	2.0	2.3	-	3.7	2.8	1.9	2.0
	実際に差別の現場を見て知った	0.7	2.1	2.0	1.2	-	3.7	1.7	1.3	選択肢なし
	その他	1.8	2.6	2.0	2.9	4.0	3.7	1.1	2.1	5.5
	はっきりとおぼえていない	6.1	6.0	7.8	7.0	8.0	3.7	8.5	6.9	6.2
不明	2.6	4.3	4.9	2.6	-	11.1	3.1	3.3	3.4	

3-4. 親しい人が同和地区出身であることがわかった場合の対応

問 10 で「知っている」と回答した人について

表 16 問 13 日ごろ親しく付き合っている隣近所の人が、何かのことで、同和地区出身の人であることがわかった場合、あなたは
どうしますか。(1つに○)

	性別		年齢							
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
回答者数(n)	876	756	114	308	304	276	315	242	78	
%	これまでと同じように親しく付き合う	84.9	86.1	90.4	89.9	88.5	87.0	82.9	78.1	75.6
	表面的には付き合うが、できるだけ付き合いは避けていく	9.2	10.6	7.0	6.8	6.6	9.1	11.4	15.7	17.9
	付き合いをやめてしまう	0.2	0.1	-	-	-	-	-	0.8	1.3
	その他	4.0	2.2	2.6	3.2	3.3	3.3	3.5	2.9	2.6
	不明	1.6	0.9	-	-	1.6	0.7	2.2	2.5	2.6

	職業							全体	H17年度調査	
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない			
回答者数(n)	542	233	102	343	25	27	353	1,650	1,085	
%	これまでと同じように親しく付き合う	90.6	83.7	84.3	81.6	100.0	92.6	80.5	85.4	84.1
	表面的には付き合うが、できるだけ付き合いは避けていく	6.8	9.9	13.7	10.8	-	3.7	14.2	9.9	10.1
	付き合いをやめてしまう	-	-	-	0.3	-	-	0.6	0.2	0.3
	その他	2.4	3.4	2.0	5.5	-	3.7	2.5	3.2	4.6
	不明	0.2	3.0	-	1.7	-	-	2.3	1.3	0.9

3-5. 同和地区出身の人との結婚についての対応

問 10 で「知っている」と回答した人について

問 14 同和地区出身の人との結婚についておたずねします。

表 17 14-1 あなたが同和地区出身の人と恋愛し、結婚しようとしたとき、親や親戚などから強い反対を受けたら、あなたはどのようにしますか。(1つに○)

	性別		年齢							
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
回答者数(n)	876	756	114	308	304	276	315	242	78	
%	自分の意思を貫いて結婚する	17.8	37.6	29.8	26.0	29.3	27.9	27.3	23.6	24.4
	親などを説得し、自分の意思を貫いて結婚する	50.1	42.1	55.3	55.5	47.4	50.4	43.2	35.5	23.1
	家族や親戚などの反対があれば、結婚しない	24.4	15.1	12.3	14.3	18.8	15.2	23.2	28.5	38.5
	絶対に結婚しない	3.3	2.0	1.8	1.9	1.3	3.3	2.5	4.1	6.4
	不明	4.3	3.3	0.9	2.3	3.3	3.3	3.8	8.3	7.7

	職業							全体	H17年度調査	
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない			
回答者数(n)	542	233	102	343	25	27	353	1,650	1,085	
%	自分の意思を貫いて結婚する	35.6	17.6	31.4	14.3	40.0	33.3	29.7	27.1	23.4
	親などを説得し、自分の意思を貫いて結婚する	48.2	53.6	45.1	48.4	56.0	44.4	36.5	46.2	48.5
	家族や親戚などの反対があれば、結婚しない	12.9	20.2	18.6	30.0	4.0	11.1	23.8	20.1	20.2
	絶対に結婚しない	1.3	3.0	1.0	4.1	-	7.4	3.7	2.7	3.2
	不明	2.0	5.6	3.9	3.2	-	3.7	6.2	3.9	4.7

表 18 14-2 あなたの子どもが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であると分かった場合、あなたはどのようにしますか。(1つに○)

	性別		年齢							
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
回答者数(n)	876	756	114	308	304	276	315	242	78	
%	子どもの意思を尊重する	56.1	68.3	74.6	69.2	66.8	63.4	54.6	52.5	44.9
	親としては反対するが、子どもの意思が固ければ仕方がない	32.3	23.8	21.9	21.8	22.7	26.8	35.9	36.0	37.2
	家族や親戚などの反対があれば、結婚を認めない	5.1	3.0	0.9	4.9	4.6	3.3	3.5	5.4	6.4
	絶対に結婚を認めない	3.9	2.6	1.8	2.6	2.6	5.4	2.2	3.3	7.7
	不明	2.6	2.2	0.9	1.6	3.3	1.1	3.8	2.9	3.8

	職業							全体	H17年度調査	
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない			
回答者数(n)	542	233	102	343	25	27	353	1,650	1,085	
%	子どもの意思を尊重する	73.2	56.2	55.9	49.9	84.0	74.1	58.6	61.8	60.6
	親としては反対するが、子どもの意思が固ければ仕方がない	19.7	33.9	34.3	35.6	12.0	18.5	31.2	28.4	28.1
	家族や親戚などの反対があれば、結婚を認めない	3.1	3.0	6.9	5.8	4.0	3.7	4.0	4.1	5.5
	絶対に結婚を認めない	2.2	3.9	2.0	5.8	-	3.7	2.8	3.3	2.9
	不明	1.7	3.0	1.0	2.9	-	-	3.4	2.5	2.8

3-6. 同和問題で人権上問題があると思うこと

問 10 で「知っている」と回答した人について

表 19 問 15 同和問題で、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(3つ以内に○)

	性別		年齢							
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
回答者数(n)	876	756	114	308	304	276	315	242	78	
%	結婚問題で周囲が反対すること	37.1	42.6	48.2	42.9	40.8	37.7	36.2	35.5	41.0
	就職の際や職場において不利な扱いをすること	60.6	57.5	68.4	65.9	65.5	59.1	58.1	44.6	42.3
	地域社会で不利な扱いをすること	54.5	50.4	57.9	59.7	58.2	51.4	50.2	40.9	42.3
	身元調査をすること	13.0	14.3	8.8	12.7	10.2	13.8	17.1	13.6	21.8
	差別的な発言や行為をすること	33.6	34.8	35.1	36.7	36.8	35.1	32.1	30.2	28.2
	差別的な落書きをすること	5.5	5.3	6.1	7.5	4.3	3.6	7.0	5.4	1.3
	インターネットを利用して差別的な情報を掲載すること	14.5	11.1	14.9	12.3	15.1	13.8	12.4	11.2	9.0
	その他	1.1	3.6	3.5	3.6	1.0	1.4	1.6	3.3	2.6
	特にない	2.6	4.1	6.1	1.9	1.0	2.9	3.5	5.4	7.7
	わからない	9.7	6.0	2.6	4.5	7.2	11.6	7.0	13.6	9.0
不明	1.8	1.6	0.9	0.6	2.0	1.4	2.2	3.3	1.3	

	職業							全体	H17年度調査	
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない			
回答者数(n)	542	233	102	343	25	27	353	1,650	1,085	
%	結婚問題で周囲が反対すること	44.8	33.5	39.2	38.8	52.0	44.4	35.4	39.6	38.6
	就職の際や職場において不利な扱いをすること	64.8	61.4	60.8	56.6	64.0	70.4	49.0	58.9	55.1
	地域社会で不利な扱いをすること	54.6	54.5	54.9	52.8	48.0	51.9	47.6	52.3	50.5
	身元調査をすること	14.4	10.7	14.7	12.8	12.0	7.4	15.0	13.6	22.8
	差別的な発言や行為をすること	35.2	38.2	32.4	33.8	36.0	33.3	30.6	33.9	28.1
	差別的な落書きをすること	5.0	6.4	10.8	5.2	4.0	3.7	4.5	5.4	3.2
	インターネットを利用して差別的な情報を掲載すること	12.2	13.7	18.6	15.2	12.0	14.8	9.1	12.9	7.5
	その他	2.2	1.3	-	2.3	8.0	-	3.1	2.3	3.3
	特にない	3.1	1.3	3.9	2.0	16.0	7.4	4.8	3.3	4.0
	わからない	5.5	9.4	7.8	10.5	4.0	7.4	9.6	8.1	9.7
不明	1.7	2.1	-	1.5	-	-	2.5	1.8	2.5	

3-7. 同和問題を解決するために必要なこと

問 10 で「知っている」と回答した人について

表 20 問 16 同和問題を解決するために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(3つ以内に○)

	性別		年齢							
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
回答者数(n)	876	756	114	308	304	276	315	242	78	
%	同和問題にかかわる人権相談などを充実する	16.0	14.2	14.0	10.7	14.1	15.6	14.6	20.2	21.8
	学校や地域における人権教育を推進する	49.2	49.9	60.5	49.7	54.9	52.9	47.3	39.3	37.2
	広報紙・誌の発行や人権講演会など、人権啓発を推進する	11.6	13.2	11.4	9.1	10.5	12.7	16.8	10.7	19.2
	市民一人ひとりが、同和問題について、正しい理解を深めるように努力する	53.1	51.5	55.3	52.9	58.6	53.3	48.9	48.3	42.3
	同和地区の人が、積極的に行政や同和地区外の人に働きかけていく	4.0	7.5	6.1	3.6	6.3	6.9	6.3	5.4	3.8
	同和地区内外の人たちが、交流を活発にし、まちづくりをすすめる	14.7	17.1	21.9	18.2	16.8	13.4	15.9	12.4	11.5
	同和地区の人が一定の地区(同和地区)にかたまっ て生活しないで、分散して 住むようにする	24.1	22.1	16.7	28.6	20.4	22.1	23.2	22.3	26.9
	同和問題については、そっ としておけば、差別は自然 になくなる	16.4	20.9	19.3	14.6	11.8	12.7	22.5	28.9	32.1
	その他	3.0	7.5	7.0	8.4	4.6	4.0	3.5	5.0	2.6
	特にない	0.6	2.0	0.9	0.3	0.3	1.4	1.9	1.7	3.8
	わからない	10.2	5.4	4.4	8.1	7.6	9.8	6.7	9.9	9.0
不明	1.4	1.3	0.9	0.3	1.0	1.4	2.5	1.7	1.3	

	職業							全体	H17年度 調査	
	会社員・公 務員等	パート・アル バイト等	自営業・ 個人業	家事専業	学生	その他の 職業	仕事はし ていない			
回答者数(n)	542	233	102	343	25	27	353	1,650	1,085	
%	同和問題にかかわる人権相談などを充実する	11.6	18.5	11.8	16.0	12.0	14.8	18.4	15.0	20.8
	学校や地域における人権教育を推進する	54.1	50.2	59.8	47.5	52.0	66.7	39.4	49.2	48.8
	広報紙・誌の発行や人権講演会など、人権啓発を推進する	13.3	12.0	13.7	10.8	16.0	22.2	11.0	12.4	15.5
	市民一人ひとりが、同和問題について、正しい理解を深めるように努力する	54.2	56.2	52.9	49.0	56.0	77.8	48.2	52.1	54.7
	同和地区の人が、積極的に行政や同和地区外の人に働きかけていく	5.9	6.9	2.0	2.3	4.0	-	9.1	5.6	12.2
	同和地区内外の人たちが、交流を活発にし、まちづくりをすすめる	18.6	13.3	15.7	13.4	20.0	18.5	14.7	15.7	選択肢なし
	同和地区の人が一定の地区(同和地区)にかたまっ て生活しないで、分散して 住むようにする	20.1	24.9	21.6	27.7	20.0	7.4	23.8	23.0	27.2
	同和問題については、そっ としておけば、差別は自然 になくなる	16.1	11.2	22.5	19.8	24.0	7.4	25.8	18.7	19.8
	その他	7.4	1.3	2.9	3.5	12.0	-	5.7	5.1	5.5
	特にない	0.7	-	1.0	1.2	-	3.7	2.8	1.3	-
	わからない	5.7	11.2	8.8	11.4	-	3.7	7.4	8.1	4.9
不明	1.1	1.7	-	1.5	-	-	1.7	1.3	1.5	

4-1. 外国人について人権上問題があると思うこと

表 21 問 17 外国人が地域で生活するとき、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(3つ以内に○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113
じろじろ見たり、避けたりすること	22.6	22.4	24.5	24.4	22.9	21.0	22.3	20.6	20.4
外国人の意見や行動を尊重しないこと	10.5	13.2	17.5	13.9	12.2	9.0	10.4	9.7	7.1
差別的な発言や行為をすること	29.9	29.8	44.3	36.7	37.2	29.4	21.1	18.1	14.2
アパートや住宅への入居が困難なこと	35.9	31.1	40.1	40.7	38.2	33.1	34.6	20.3	15.0
外国人が働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと	26.1	28.1	30.7	29.8	29.8	27.7	24.5	20.9	22.1
施設・道路・鉄道案内の外国語表記など、外国人にも暮らしやすいまちづくりが「図られていないこと」	14.5	14.8	11.8	10.5	12.2	14.3	18.6	17.8	21.2
外国語で対応できる行政相談窓口や病院・施設が少ないこと	31.6	29.2	26.9	32.4	29.8	35.9	32.9	25.0	23.0
近隣や地域の人とのふれあいや理解を深める機会が少ないこと	28.6	32.1	20.8	26.4	26.0	33.6	33.9	35.3	35.4
その他	1.5	1.8	0.9	1.6	1.8	2.2	1.5	2.2	0.9
特になし	5.1	6.3	4.7	4.3	5.6	4.5	6.3	8.1	8.0
わからない	7.6	5.9	3.8	3.6	6.1	6.7	8.0	12.2	11.5
不明	2.5	1.2	0.5	0.7	0.5	1.1	2.7	5.0	6.2

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397
じろじろ見たり、避けたりすること	24.5	23.8	22.2	22.0	17.1	25.0	19.5	22.6	23.6
外国人の意見や行動を尊重しないこと	14.4	7.9	11.1	10.5	22.0	7.5	10.3	11.6	9.5
差別的な発言や行為をすること	35.0	32.6	26.1	29.6	48.8	25.0	19.9	29.7	26.2
アパートや住宅への入居が困難なこと	38.5	34.3	34.6	34.4	39.0	37.5	24.8	33.6	30.9
外国人が働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと	27.5	32.9	27.5	22.2	34.1	32.5	25.7	26.8	32.6
施設・道路・鉄道案内の外国語表記など、外国人にも暮らしやすいまちづくりが「図られていないこと」	14.2	12.2	11.8	14.9	7.3	12.5	18.4	14.6	16.2
外国語で対応できる行政相談窓口や病院・施設が少ないこと	31.6	34.0	28.8	30.4	24.4	35.0	27.6	30.5	31.9
近隣や地域の人とのふれあいや理解を深める機会が少ないこと	28.1	31.2	32.0	29.4	24.4	27.5	32.5	30.0	31.3
その他	1.3	0.6	3.3	1.9	4.9	-	1.9	1.7	2.8
特になし	4.7	5.4	5.9	4.6	4.9	7.5	8.1	5.7	5.7
わからない	4.5	5.7	7.2	9.2	2.4	5.0	9.9	6.9	6.6
不明	0.7	3.1	0.7	2.3	-	2.5	3.2	2.0	1.9

4-2. 外国人の人権を守るために必要なこと

表 22 問 18 外国人の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(3つ以内に○)

	性別		年齢							
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113	
%	互いが、ともに暮らす市民であることの理解を深める啓発を推進する	42.4	48.4	41.0	39.4	47.1	45.4	46.7	51.3	43.4
	外国語による情報提供を充実させる	24.4	21.0	27.8	21.5	25.2	27.7	21.5	15.3	20.4
	外国語による相談の場を増やす	30.2	25.2	28.3	28.9	29.5	32.2	27.4	24.1	17.7
	外国人のための日本語教室を設ける	16.7	18.6	19.3	16.1	18.8	18.2	17.2	16.9	15.9
	外国人も、日本人と同等のサービス(医療、福祉、教育など)を受けられるようにする	36.0	37.2	43.4	37.6	32.1	35.0	39.0	34.7	34.5
	外国人と日本人の相互理解と交流を進める	40.8	51.1	42.0	48.5	44.0	45.4	46.5	44.4	39.8
	その他	2.2	3.6	3.8	4.0	3.1	3.1	1.2	2.5	1.8
	特になし	3.6	4.2	5.2	2.2	4.1	3.6	4.6	4.1	4.4
	わからない	8.3	4.2	1.4	5.1	5.3	6.7	7.0	10.6	13.3
	不明	1.9	1.0	0.5	0.4	0.5	0.8	1.7	4.7	5.3

	職業							全体	H17年度調査	
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない			
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397	
%	互いが、ともに暮らす市民であることの理解を深める啓発を推進する	46.1	46.7	47.7	40.7	36.6	45.0	47.1	45.2	48.7
	外国語による情報提供を充実させる	24.8	22.9	17.0	25.4	29.3	22.5	18.6	22.9	25.4
	外国語による相談の場を増やす	27.2	29.2	28.1	33.1	26.8	32.5	22.7	28.0	27.2
	外国人のための日本語教室を設ける	17.5	22.1	17.0	14.7	24.4	25.0	16.3	17.6	17.0
	外国人も、日本人と同等のサービス(医療、福祉、教育など)を受けられるようにする	38.4	34.6	35.9	34.0	36.6	35.0	37.9	36.3	28.6
	外国人と日本人の相互理解と交流を進める	47.2	44.2	46.4	41.5	51.2	50.0	45.4	45.0	51.9
	その他	4.2	1.1	2.6	1.9	9.8	-	1.9	2.8	3.1
	特になし	2.8	3.7	3.9	4.2	7.3	2.5	4.7	3.9	3.1
	わからない	3.8	5.9	7.8	9.9	-	5.0	8.6	6.6	5.7
	不明	0.7	2.3	0.7	1.5	-	-	3.2	1.6	1.6

4-3. 女性について人権上問題があると思うこと

表 23 問 19 女性に関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(3つ以内に○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113
% 「男は仕事、女は家庭」といった男女の固定的な役割分担意識	36.9	33.5	38.7	38.7	32.8	35.0	31.7	35.6	36.3
就職時の採用条件、仕事の内容、昇給昇進における男女差など、職場における男女の待遇のちがひ	52.3	49.2	52.8	55.0	51.9	51.0	50.8	45.6	40.7
職場や学校などにおけるセクシャル・ハラスメント(性的いやがらせ)	37.1	37.4	46.2	40.3	45.3	35.0	31.7	29.7	26.5
夫や恋人など親しい関係にある男性からの女性に対する暴力(なぐる、暴言、行動を監視するなど)	39.9	39.8	45.3	43.8	45.0	43.4	39.0	25.9	23.9
売春・買春(援助交際も含む)	26.0	21.3	24.1	21.3	23.9	24.9	25.4	23.4	24.8
テレビ、ビデオ、雑誌、インターネットなどによるわいせつ情報の氾濫	28.0	19.2	11.8	17.0	19.3	25.2	33.2	31.3	35.4
その他	1.0	2.1	0.9	2.9	2.0	-	1.5	1.3	0.9
特になし	2.7	6.0	3.8	4.3	3.6	3.6	3.6	5.9	7.1
わからない	3.6	3.8	2.8	1.3	2.5	3.9	5.1	5.9	8.0
不明	2.2	1.7	0.5	2.0	0.8	1.4	2.2	4.7	3.5

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397
% 「男は仕事、女は家庭」といった男女の固定的な役割分担意識	37.5	34.0	36.6	33.8	39.0	30.0	34.5	35.3	40.1
就職時の採用条件、仕事の内容、昇給昇進における男女差など、職場における男女の待遇のちがひ	52.8	54.4	47.1	50.3	56.1	50.0	46.9	50.9	54.3
職場や学校などにおけるセクシャル・ハラスメント(性的いやがらせ)	40.1	40.5	32.7	38.8	46.3	32.5	29.8	37.1	33.1
夫や恋人など親しい関係にある男性からの女性に対する暴力(なぐる、暴言、行動を監視するなど)	41.2	41.4	47.1	42.3	51.2	40.0	30.8	39.7	32.1
売春・買春(援助交際も含む)	19.9	22.4	24.8	27.3	31.7	47.5	25.1	23.8	31.4
テレビ、ビデオ、雑誌、インターネットなどによるわいせつ情報の氾濫	16.9	26.1	25.5	28.9	14.6	15.0	29.6	24.0	30.1
その他	1.8	2.3	1.3	0.2	2.4	-	1.7	1.5	1.6
特になし	4.9	3.1	1.3	2.7	2.4	10.0	5.8	4.2	3.7
わからない	2.7	2.5	5.9	4.4	-	-	5.6	3.7	2.4
不明	1.4	2.3	0.7	2.3	-	-	3.4	2.0	1.5

4-4. 女性の人権を守るために必要なこと

表 24 問 20 女性の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(3つ以内に○)

	性別		年齢							
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113	
%	女性のための相談・支援体制を充実する	29.1	24.1	23.1	26.6	26.5	28.0	23.7	28.8	37.2
	男女ともに、働きながら、家事や育児・介護などを両立できる環境を整備する	73.1	66.5	73.1	72.7	68.7	72.0	72.4	65.9	54.9
	さまざまな意思決定や方針決定の場への女性の参画を促進する	21.2	25.1	18.9	17.4	20.4	26.9	28.1	25.6	20.4
	女性の人権を守るための啓発広報活動などを進める	6.1	8.3	2.8	2.2	6.1	5.9	10.7	13.1	10.6
	男女平等などに関する教育を充実する	25.2	25.0	24.1	21.9	26.7	26.9	24.9	26.3	26.5
	マスコミなどが紙面、番組、広告などの内容に配慮する	15.5	13.5	16.0	11.9	13.0	13.7	15.5	17.2	20.4
	女性に対する犯罪の取り締まりを強化する	29.7	23.6	34.4	30.6	33.1	20.2	24.7	20.0	24.8
	女性に対する暴力の加害者への教育・相談体制を充実する	23.0	20.7	27.8	26.8	20.9	24.9	17.4	19.1	10.6
	その他	1.5	3.0	3.8	3.6	1.8	2.0	1.5	0.9	1.8
	特にない	1.5	4.4	3.3	2.0	2.8	2.8	2.4	3.8	4.4
	わからない	2.5	2.3	0.5	1.8	2.3	2.5	1.9	4.4	6.2
不明	1.8	1.7	0.5	2.0	0.8	1.7	1.9	3.1	3.5	

	職業							全体	H17年度調査	
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない			
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397	
%	女性のための相談・支援体制を充実する	24.4	30.0	23.5	30.0	14.6	27.5	26.8	26.7	30.6
	男女ともに、働きながら、家事や育児・介護などを両立できる環境を整備する	71.1	74.8	66.7	72.1	75.6	65.0	64.0	69.9	70.3
	さまざまな意思決定や方針決定の場への女性の参画を促進する	22.8	17.3	24.8	23.5	17.1	22.5	26.1	22.8	30.9
	女性の人権を守るための啓発広報活動などを進める	5.1	8.5	9.2	5.9	2.4	2.5	10.1	7.1	7.9
	男女平等などに関する教育を充実する	25.1	26.3	28.1	23.9	22.0	20.0	25.7	25.2	25.4
	マスコミなどが紙面、番組、広告などの内容に配慮する	12.0	15.0	20.3	16.4	12.2	7.5	15.8	14.6	18.5
	女性に対する犯罪の取り締まりを強化する	26.7	29.7	25.5	29.8	39.0	25.0	22.3	26.9	29.0
	女性に対する暴力の加害者への教育・相談体制を充実する	23.8	23.8	19.6	22.2	36.6	27.5	16.9	21.9	選択肢なし
	その他	2.5	1.7	2.6	0.8	7.3	5.0	2.1	2.2	2.4
	特にない	3.1	2.0	1.3	1.5	4.9	7.5	4.1	2.9	2.5
	わからない	1.4	1.4	3.9	2.3	-	-	5.1	2.5	2.1
不明	1.7	2.5	0.7	1.5	-	-	2.6	1.8	1.4	

4-5. 障害のある人について人権上問題があると思うこと

表 25 問 21 障害のある人が地域で生活するとき、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(3つ以内に○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113
%									
じろじろ見たり、避けたりすること	37.4	33.0	46.7	34.2	33.3	30.0	33.7	37.8	39.8
障害のある人の意思を尊重しないこと	13.6	18.6	20.3	15.4	13.5	15.7	11.1	19.7	22.1
差別的な発言や行為をすること	35.9	36.2	50.5	42.3	42.5	30.5	27.1	31.3	23.0
アパートや住宅への入居が困難なこと	15.7	13.8	11.3	15.2	15.5	16.2	16.0	13.4	13.3
道路の段差解消、エレベーターの設置などの暮らしやすいまちづくりが十分でないこと	45.2	38.2	34.0	44.3	47.3	46.2	42.1	35.0	35.4
働ける場所や能力を發揮する機会が少ないこと	48.1	49.4	44.8	47.4	50.1	54.1	53.0	44.7	31.9
学校の受け入れ体制が十分でないこと	23.4	19.6	29.2	26.2	26.7	24.4	20.3	9.1	4.4
スポーツ、文化活動、地域活動に気軽に参加できないこと	5.8	6.1	5.7	3.8	3.3	6.7	7.7	8.1	8.8
近隣や地域の人とのふれあいや理解を深める機会が少ないこと	18.5	21.5	11.3	15.9	14.8	21.0	25.2	26.9	23.9
その他	0.7	1.3	0.9	1.3	2.3	-	0.5	0.9	-
特にない	1.8	2.3	0.5	0.2	1.8	1.7	3.4	3.1	6.2
わからない	2.8	2.0	0.5	2.2	1.8	1.7	1.9	5.3	7.1
不明	1.9	1.7	0.5	2.2	0.8	2.0	2.2	2.5	4.4

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397
%									
じろじろ見たり、避けたりすること	34.7	35.7	30.7	37.3	43.9	30.0	35.1	35.3	33.1
障害のある人の意思を尊重しないこと	14.5	14.4	18.3	13.6	24.4	12.5	19.5	15.8	11.1
差別的な発言や行為をすること	40.3	35.1	35.3	35.8	53.7	35.0	28.9	36.0	29.3
アパートや住宅への入居が困難なこと	15.0	13.6	19.6	15.9	14.6	5.0	14.3	14.8	18.5
道路の段差解消、エレベーターの設置などの暮らしやすいまちづくりが十分でないこと	44.0	47.6	32.7	45.1	24.4	60.0	35.1	42.0	45.3
働ける場所や能力を發揮する機会が少ないこと	48.2	53.5	43.8	47.6	51.2	57.5	47.1	48.3	49.9
学校の受け入れ体制が十分でないこと	24.1	24.9	25.5	23.1	19.5	20.0	13.5	21.5	9.1
スポーツ、文化活動、地域活動に気軽に参加できないこと	4.8	6.2	5.2	6.1	9.8	15.0	6.4	5.9	5.2
近隣や地域の人とのふれあいや理解を深める機会が少ないこと	15.7	19.3	26.8	20.5	9.8	27.5	22.9	19.7	19.5
その他	1.4	1.1	1.3	0.4	-	-	0.9	1.0	1.1
特にない	0.8	1.7	2.0	1.5	2.4	2.5	4.5	2.1	2.1
わからない	1.3	2.0	2.0	3.1	-	2.5	4.7	2.6	3.0
不明	2.0	2.8	0.7	1.5	-	-	2.1	1.9	1.9

4-6. 障害のある人の人権を守るために必要なこと

表 26 問 22 障害のある人の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(3つ以内に○)

	性別		年齢							
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113	
%	障害のある人のための相談・支援体制を充実する	36.4	37.1	30.2	30.0	34.4	40.6	38.0	43.8	46.9
	障害のある人の人権を守るための教育・啓発活動を推進する	18.0	22.5	16.0	15.4	23.9	17.9	23.2	22.2	17.7
	在宅サービスや福祉施設・病院を充実する	33.7	29.1	34.9	27.5	29.3	32.8	35.1	34.7	26.5
	障害のある人が自立して生活しやすい環境にする	62.7	57.7	56.1	62.2	63.1	62.2	62.0	57.8	45.1
	障害に応じた教育を行う	17.5	14.8	21.7	19.2	17.3	17.9	13.3	10.0	14.2
	障害のある人の雇用を確保する	36.7	35.3	40.1	40.9	33.3	38.4	35.6	31.3	23.9
	障害のある人とない人の交流を促進する	15.9	16.1	20.8	21.9	17.8	14.8	11.1	12.8	6.2
	障害のある人が審議会などへ参加し、意見を反映させる機会を増やす	11.2	10.1	11.3	9.4	8.1	11.5	12.1	11.3	14.2
	人権侵害があった場合に救済するための法整備を行う	11.7	12.9	11.8	11.2	15.3	10.1	11.6	13.4	12.4
	その他	1.2	1.7	2.8	1.6	2.8	1.1	-	0.9	0.9
	特にない	1.1	1.0	-	0.2	1.0	0.8	1.5	1.9	3.5
	わからない	2.2	2.2	0.9	2.7	1.5	2.2	1.9	3.1	5.3
不明	2.2	1.7	0.9	2.0	0.5	1.7	2.7	3.1	5.3	

	職業							全体	H17年度調査	
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない			
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397	
%	障害のある人のための相談・支援体制を充実する	31.9	39.7	36.6	38.2	34.1	37.5	40.9	36.8	37.7
	障害のある人の人権を守るための教育・啓発活動を推進する	20.3	16.1	25.5	20.3	17.1	17.5	20.1	20.1	22.1
	在宅サービスや福祉施設・病院を充実する	28.5	34.0	32.0	34.2	29.3	42.5	31.9	31.6	23.4
	障害のある人が自立して生活しやすい環境にする	62.1	63.7	53.6	63.5	56.1	65.0	54.2	60.2	62.8
	障害に応じた教育を行う	14.2	19.0	18.3	18.0	29.3	7.5	13.9	16.2	13.7
	障害のある人の雇用を確保する	39.6	38.5	28.1	34.2	34.1	42.5	32.3	35.9	31.6
	障害のある人とない人の交流を促進する	19.2	14.2	17.0	15.7	22.0	25.0	10.9	15.9	21.4
	障害のある人が審議会などへ参加し、意見を反映させる機会を増やす	10.4	11.6	9.2	10.7	9.8	15.0	10.9	10.6	12.0
	人権侵害があった場合に救済するための法整備を行う	10.3	15.0	13.1	13.4	7.3	17.5	11.6	12.2	13.8
	その他	2.7	0.3	1.3	1.3	-	-	0.6	1.4	1.5
	特にない	0.7	0.6	0.7	0.8	-	-	2.4	1.1	1.4
	わからない	1.6	2.0	2.0	2.5	-	2.5	3.9	2.3	2.6
不明	1.6	3.1	2.6	1.5	-	-	2.8	2.1	1.5	

4-7. エイズ患者やHIV感染者について人権上問題があると思うこと

表 27 問 23 エイズ患者やHIV(エイズウイルス)感染者に関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(3つ以内に○)

	性別		年齢							
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113	
%	患者や感染者のプライバシーが守られないこと	36.5	39.6	40.1	35.8	38.9	41.7	36.1	36.6	33.6
	就職の際や職場において不利な扱いをすること	42.5	41.1	41.0	43.0	47.1	44.8	41.6	35.6	27.4
	病院での治療や入院を断ること	40.3	37.2	37.3	44.1	45.5	40.6	36.3	30.6	23.9
	患者や感染者との結婚に反対すること	8.5	10.9	17.9	9.4	8.1	6.4	7.5	10.3	13.3
	無断でエイズ検査をすること	13.7	11.4	8.0	19.7	14.0	10.6	9.9	11.9	7.1
	差別的な発言や行為をすること	36.7	35.7	48.1	40.7	40.2	37.5	29.5	29.1	21.2
	その他	0.2	1.1	0.9	0.9	0.5	0.6	-	1.3	-
	特になし	2.6	4.5	3.3	2.2	1.8	3.1	4.6	5.6	5.3
	わからない	16.1	15.8	11.8	10.5	12.2	14.6	20.3	24.4	26.5
	不明	3.4	2.4	0.9	1.8	1.8	1.7	4.6	4.4	10.6

	職業							全体	H17年度調査	
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない			
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397	
%	患者や感染者のプライバシーが守られないこと	38.8	38.2	42.5	35.6	43.9	37.5	36.6	37.7	43.5
	就職の際や職場において不利な扱いをすること	42.5	44.8	41.8	42.6	56.1	50.0	36.0	41.7	43.1
	病院での治療や入院を断ること	41.0	44.5	41.8	41.3	39.0	25.0	29.3	38.7	41.2
	患者や感染者との結婚に反対すること	9.9	9.3	5.9	7.3	24.4	22.5	10.3	9.5	11.2
	無断でエイズ検査をすること	14.2	12.5	13.1	14.7	4.9	7.5	9.6	12.6	15.5
	差別的な発言や行為をすること	37.9	38.5	31.4	38.6	46.3	42.5	29.8	36.0	36.4
	その他	0.7	0.3	1.3	0.2	2.4	-	0.9	0.6	1.1
	特になし	3.4	2.3	3.3	1.9	4.9	5.0	5.1	3.4	4.3
	わからない	12.6	13.0	14.4	16.8	2.4	10.0	25.3	16.2	11.4
	不明	1.8	3.4	3.3	2.5	-	7.5	4.5	3.1	1.8

4-8. エイズ患者やHIV感染者の人権を守るために必要なこと

表 28 問 24 エイズ患者やHIV(エイズウィルス)感染者の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。

(3つ以内に○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113
%									
プライバシーに配慮した医療体制やカウンセリング体制を充実する	57.5	53.1	50.0	55.7	58.3	59.7	56.7	50.9	48.7
患者や感染者への偏見や差別をなくすための啓発活動を行う	22.4	27.1	22.2	24.6	29.8	24.1	22.8	25.0	14.2
エイズ・HIVに関する正しい知識について義務教育の中に取り入れる	64.5	60.7	67.9	69.1	65.6	67.8	60.8	51.9	38.9
患者や感染者を支援するため、行政・医療機関・NGOなどのネットワーク化を進める	20.4	23.1	23.6	17.7	19.3	24.4	24.2	21.9	20.4
患者や感染者の生活を支援する	14.6	13.7	21.2	16.6	14.0	17.4	9.2	10.9	8.8
患者や感染者の医療費を援助する	23.2	21.2	27.8	26.6	21.1	21.3	20.6	18.8	16.8
その他	0.4	1.0	0.9	0.7	1.0	0.6	0.2	0.9	-
特にない	1.1	2.5	1.4	0.7	1.5	1.4	1.9	2.5	6.2
わからない	7.9	8.4	5.2	4.7	5.3	6.4	9.2	16.3	18.6
不明	3.0	2.3	0.5	1.8	1.5	1.4	4.4	4.1	9.7

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397
%									
プライバシーに配慮した医療体制やカウンセリング体制を充実する	55.6	60.3	51.6	59.5	43.9	47.5	51.0	55.4	61.8
患者や感染者への偏見や差別をなくすための啓発活動を行う	27.1	23.5	27.5	25.4	29.3	20.0	19.3	24.5	25.1
エイズ・HIVに関する正しい知識について義務教育の中に取り入れる	63.9	67.1	70.6	64.2	78.0	67.5	52.0	62.6	66.6
患者や感染者を支援するため、行政・医療機関・NGOなどのネットワーク化を進める	21.7	20.4	20.9	22.0	17.1	27.5	21.8	21.5	27.1
患者や感染者の生活を支援する	16.4	17.3	11.1	12.8	22.0	17.5	10.3	14.1	15.7
患者や感染者の医療費を援助する	23.6	29.7	18.3	20.3	22.0	25.0	18.0	22.1	15.3
その他	0.6	0.8	1.3	0.2	2.4	-	0.6	0.7	1.5
特にない	1.4	0.8	2.0	1.0	-	5.0	3.0	1.8	1.9
わからない	5.8	5.1	5.9	7.8	4.9	5.0	16.5	8.4	6.6
不明	1.4	2.5	3.3	2.5	-	10.0	4.5	2.8	1.6

4-9. ハンセン病患者や元患者について人権上問題があると思うこと

表 29 問 25 ハンセン病患者や元患者に関する事で、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(3つ以内に○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113
%									
じろじろ見たり、避けたりすること	30.7	31.9	30.7	27.7	29.3	36.4	31.2	32.8	29.2
就職の際や職場において不利な扱いをすること	29.3	29.6	31.6	29.3	29.3	29.4	28.6	30.0	26.5
病院での治療や入院を断ること	24.3	23.2	25.0	24.8	26.2	24.6	21.8	19.7	24.8
家族や親戚からつきあいを拒絶されること	23.6	21.0	23.1	23.0	24.2	19.0	24.0	21.6	19.5
社会復帰が困難なこと	36.2	33.8	32.1	32.9	37.4	40.3	35.1	33.8	26.5
差別的な発言や行為をすること	21.3	19.9	25.0	21.5	25.2	21.6	15.5	19.1	13.3
アパートや住宅への入居が困難なこと	6.7	7.8	6.6	6.3	9.2	6.4	7.5	6.6	8.0
旅館やホテルなどの利用で不当な扱いを受けること	8.7	10.4	11.8	9.4	10.7	11.2	8.2	5.3	10.6
怖い病気といった誤解があること	33.5	33.3	23.1	31.3	32.1	38.4	38.0	32.5	33.6
その他	0.2	0.4	0.5	0.7	0.3	0.3	-	-	-
特になし	1.2	2.2	0.5	0.4	1.3	1.4	2.4	3.4	3.5
わからない	14.1	13.5	17.5	16.6	13.7	10.1	11.9	15.0	15.9
不明	3.0	2.5	0.5	2.0	1.3	2.0	4.1	4.7	8.8

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	
%									設問なし
じろじろ見たり、避けたりすること	31.3	31.2	28.8	32.3	34.1	35.0	29.3	31.1	
就職の際や職場において不利な扱いをすること	30.2	32.9	24.2	27.0	34.1	35.0	29.3	29.3	
病院での治療や入院を断ること	23.6	22.4	26.8	27.0	24.4	20.0	21.0	23.7	
家族や親戚からつきあいを拒絶されること	19.6	23.5	26.1	24.9	36.6	20.0	21.0	22.4	
社会復帰が困難なこと	34.6	37.7	34.0	37.1	29.3	32.5	32.8	35.0	
差別的な発言や行為をすること	22.1	21.0	18.3	23.5	34.1	15.0	15.8	20.7	
アパートや住宅への入居が困難なこと	8.3	5.9	6.5	6.9	2.4	10.0	7.1	7.1	
旅館やホテルなどの利用で不当な扱いを受けること	10.3	8.8	7.8	9.6	12.2	12.5	8.6	9.3	
怖い病気といった誤解があること	31.9	35.7	33.3	32.7	36.6	45.0	33.4	33.3	
その他	0.4	-	-	0.4	-	-	0.2	0.3	
特になし	1.3	0.6	2.0	0.8	-	-	3.6	1.7	
わからない	14.0	16.4	12.4	13.2	4.9	12.5	14.8	14.1	
不明	1.7	2.3	3.9	2.5	-	5.0	4.5	2.9	

4-10. ハンセン病患者や元患者の人権を守るために必要なこと

表 30 問 26 ハンセン病患者や元患者の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(3つ以内に○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113
%									
医療体制やカウンセリング体制を充実する	39.4	38.2	40.6	35.8	35.1	38.4	39.5	43.4	45.1
患者や元患者への偏見や差別をなくすための啓発活動を行う	34.6	39.9	31.6	30.4	38.9	37.3	41.2	41.9	32.7
ハンセン病に関する正しい知識について義務教育の中に取り入れる	62.6	60.1	65.6	67.1	63.1	62.2	62.2	53.1	41.6
患者や元患者を支援するため、行政・医療機関・NGOなどのネットワーク化を進める	26.0	24.1	23.6	17.7	23.2	33.3	31.0	24.4	19.5
患者や元患者の生活を支援する	23.2	22.5	25.9	24.6	22.6	31.1	17.9	17.2	18.6
地域との交流を促進する	7.6	7.4	8.0	9.2	8.7	7.0	5.1	7.5	6.2
その他	0.4	1.0	1.4	1.1	1.0	-	0.2	0.6	-
特になし	0.9	1.7	0.5	0.4	1.5	1.1	1.5	1.9	3.5
わからない	11.8	12.0	13.7	12.5	11.5	8.7	11.6	13.8	16.8
不明	3.0	2.5	0.5	2.0	1.5	2.0	3.4	4.4	10.6

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	
%									設問なし
医療体制やカウンセリング体制を充実する	36.0	39.7	39.9	42.3	39.0	32.5	39.2	38.8	
患者や元患者への偏見や差別をなくすための啓発活動を行う	35.7	36.5	35.9	36.7	46.3	32.5	39.2	36.9	
ハンセン病に関する正しい知識について義務教育の中に取り入れる	63.2	62.9	65.4	64.6	70.7	60.0	52.9	61.3	
患者や元患者を支援するため、行政・医療機関・NGOなどのネットワーク化を進める	23.3	28.3	26.1	26.6	22.0	30.0	23.6	25.0	
患者や元患者の生活を支援する	26.8	24.6	21.6	21.0	26.8	30.0	17.3	22.8	
地域との交流を促進する	8.3	5.1	9.2	8.0	9.8	12.5	6.4	7.4	
その他	1.0	-	0.7	0.6	4.9	-	0.4	0.7	
特になし	1.4	0.6	0.7	0.4	-	-	2.4	1.3	
わからない	11.1	13.3	11.1	10.7	4.9	10.0	15.2	12.2	
不明	1.7	3.4	3.3	2.1	-	5.0	4.1	2.8	

4-11. 高齢者について人権上問題があると思うこと

表 31 問 27 高齢者に関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(3つ以内に○)

	性別		年齢							
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113	
%	働ける場所や能力を發揮する機会が少ないこと	46.3	50.6	38.2	42.5	47.3	55.5	54.5	49.4	41.6
	悪徳商法などの被害にあう高齢者が多いこと	42.2	43.2	41.0	45.9	39.9	42.0	39.2	43.8	51.3
	家庭内での看護や介護において劣悪な処遇や虐待が行われていること	34.3	29.2	42.5	36.5	33.3	33.6	28.6	24.4	18.6
	病院や福祉施設内において劣悪な処遇や虐待が行われていること	46.0	34.0	46.2	46.8	46.1	44.8	38.7	26.3	21.2
	高齢者を邪魔者扱いすること	34.8	40.3	41.5	35.3	35.9	37.5	39.5	39.1	25.7
	高齢者の意見や行動を尊重しないこと	19.8	17.7	14.6	13.2	17.3	17.6	20.6	28.4	24.8
	その他	1.2	1.1	2.8	0.7	2.0	0.3	0.7	1.6	-
	特にない	3.0	3.5	5.2	3.8	2.5	1.1	3.4	2.2	8.8
	わからない	2.1	2.5	2.4	1.1	2.5	2.2	1.9	3.4	5.3
不明	2.6	1.6	0.5	2.0	1.3	1.7	2.4	3.1	8.0	

	職業							全体	H17年度調査	
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない			
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397	
%	働ける場所や能力を發揮する機会が少ないこと	48.5	53.0	43.1	44.0	48.8	60.0	48.6	48.1	43.7
	悪徳商法などの被害にあう高齢者が多いこと	42.5	45.9	46.4	44.2	31.7	32.5	39.6	42.7	41.2
	家庭内での看護や介護において劣悪な処遇や虐待が行われていること	34.6	32.3	30.1	35.2	43.9	32.5	24.4	31.9	27.5
	病院や福祉施設内において劣悪な処遇や虐待が行われていること	40.3	46.2	40.5	47.6	43.9	30.0	30.6	40.5	34.5
	高齢者を邪魔者扱いすること	38.2	37.1	34.6	35.4	36.6	22.5	39.8	37.1	37.5
	高齢者の意見や行動を尊重しないこと	14.0	20.4	19.6	21.4	14.6	22.5	22.1	18.7	18.2
	その他	1.4	1.1	1.3	0.4	4.9	-	1.3	1.1	1.1
	特にない	2.5	3.4	3.3	1.9	9.8	5.0	4.3	3.3	1.7
	わからない	2.0	1.1	3.3	2.7	-	2.5	3.4	2.3	1.7
不明	1.6	2.3	3.3	1.9	-	5.0	3.0	2.2	1.9	

4-12. 高齢者の人権を守るために必要なこと

表 32 問 28 高齢者の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(3つ以内に○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113
%									
高齢者のための相談・支援体制を充実する	38.0	40.3	27.8	31.3	37.7	41.5	43.3	45.6	52.2
高齢者の人権を守るための教育・啓発活動を推進する	11.3	18.9	12.3	9.8	14.5	14.6	17.4	20.0	14.2
高齢者が地域の支援を得て、生活しやすい環境にする	62.9	54.7	54.7	60.0	56.5	66.4	62.2	54.7	50.4
高齢者に対する犯罪の取り締まりを強化する	26.6	30.8	32.5	34.7	31.6	27.7	23.5	20.9	23.9
高齢者和其他の世代との交流を促進する	30.5	27.6	38.7	31.1	28.8	30.8	28.1	23.8	19.5
在宅サービスや福祉施設・病院を充実する	62.3	47.5	55.2	53.7	55.5	63.0	56.7	51.9	50.4
その他	1.8	2.4	1.9	3.6	2.3	1.7	1.0	2.8	-
特にない	1.8	3.1	3.8	2.7	1.8	0.8	2.4	2.5	5.3
わからない	1.8	2.1	1.9	2.0	2.3	0.6	1.9	3.8	0.9
不明	2.6	1.9	0.5	2.2	1.8	1.7	2.2	3.8	6.2

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397
%									
高齢者のための相談・支援体制を充実する	35.8	38.8	37.9	39.4	29.3	32.5	45.0	39.1	40.3
高齢者の人権を守るための教育・啓発活動を推進する	14.7	14.2	22.9	10.1	12.2	10.0	17.8	14.8	16.8
高齢者が地域の支援を得て、生活しやすい環境にする	58.4	66.9	51.6	63.3	43.9	67.5	52.9	58.9	63.8
高齢者に対する犯罪の取り締まりを強化する	34.8	26.6	22.2	27.7	29.3	30.0	22.9	28.4	36.6
高齢者和其他の世代との交流を促進する	32.0	26.1	26.8	31.0	36.6	22.5	25.9	29.1	41.6
在宅サービスや福祉施設・病院を充実する	51.2	63.2	49.0	67.5	46.3	55.0	48.8	55.7	選択肢なし
その他	2.7	2.3	2.0	1.7	2.4	-	1.9	2.1	1.9
特にない	2.4	2.3	2.0	0.8	4.9	5.0	3.6	2.4	1.4
わからない	1.0	2.0	3.9	2.1	-	5.0	2.8	2.0	1.9
不明	1.7	2.5	3.9	1.7	-	5.0	3.0	2.3	1.3

4-13. 子どもについて人権上問題があると思うこと

表 33 問 29 子どもに関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(3つ以内に○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113
%									
仲間はずれや無視、暴力や嫌がらせなどのいじめをすること	63.5	66.4	54.2	57.9	66.4	71.4	69.2	69.1	54.0
いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事	49.2	59.2	40.6	50.8	52.9	60.8	57.4	52.8	55.8
教師が子どもをなぐるなど体罰を加えること	11.3	7.8	15.1	12.8	9.4	4.5	8.2	8.8	13.3
親などが子どもに暴力を加えるなど虐待すること	55.4	48.6	57.1	53.2	48.1	59.1	54.7	47.2	36.3
大人が子どもの意見を無視したり、大人の考えを押しつけること	27.2	27.2	40.1	28.9	26.5	22.4	25.2	26.6	23.9
児童買春や児童ポルノなど	42.3	29.3	35.8	42.1	44.3	33.3	32.0	29.7	34.5
その他	1.1	1.7	3.3	1.8	1.3	1.1	0.7	1.3	-
特にない	1.0	1.6	1.4	0.4	2.0	0.6	1.2	1.9	2.7
わからない	1.7	1.7	2.4	0.2	1.5	2.0	1.0	3.1	7.1
不明	1.9	1.8	0.9	1.1	0.8	0.6	2.9	3.8	6.2

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397
%									
仲間はずれや無視、暴力や嫌がらせなどのいじめをすること	63.6	70.0	59.5	66.7	51.2	65.0	64.2	64.8	69.1
いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事	55.4	55.8	59.5	46.1	39.0	62.5	55.0	53.5	51.3
教師が子どもをなぐるなど体罰を加えること	8.5	11.3	9.2	12.4	12.2	2.5	8.1	9.6	9.2
親などが子どもに暴力を加えるなど虐待すること	48.4	59.5	52.9	54.9	65.9	60.0	48.2	52.1	32.1
大人が子どもの意見を無視したり、大人の考えを押しつけること	29.5	26.1	24.8	24.9	34.1	27.5	27.4	27.2	30.9
児童買春や児童ポルノなど	34.6	37.4	43.1	47.0	29.3	40.0	27.0	36.5	47.0
その他	1.6	0.8	1.3	0.8	7.3	2.5	1.1	1.4	2.2
特にない	1.3	0.8	2.0	0.8	2.4	2.5	1.7	1.3	1.5
わからない	1.4	0.6	2.6	1.5	-	-	3.6	1.8	2.1
不明	1.4	1.4	1.3	1.3	-	2.5	3.4	1.9	1.4

4-14. 子どもの人権を守るために必要なこと

表 34 問 30 子どもの人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(3つ以内に○)

	性別		年齢							
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113	
%	子どものための相談・支援体制を充実する	32.2	32.9	29.7	26.4	30.8	40.9	33.7	32.5	36.3
	子どもの人権を守るための教育・啓発活動を推進する	20.8	29.6	15.1	19.7	20.4	26.6	28.8	34.1	29.2
	教師の資質や能力を高める	41.8	37.8	34.9	38.9	43.0	38.7	38.3	44.7	39.8
	親などへの教育、相談・支援体制を充実する	45.4	44.2	50.9	50.1	40.5	51.0	46.2	35.3	28.3
	子どもに自分も人も大切であることを教える	56.4	48.4	55.2	53.5	53.7	52.7	50.6	53.8	48.7
	子どもの人格を尊重する	19.7	20.3	28.3	23.9	20.1	12.0	18.9	19.7	16.8
	児童買春や児童ポルノなどの取り締まりを強化する	33.2	23.3	27.4	31.3	31.0	28.9	27.4	24.4	30.1
	その他	1.4	3.9	5.2	3.8	3.3	1.7	2.2	0.3	-
	特になし	0.5	1.1	0.9	0.2	1.3	0.3	0.5	0.9	3.5
	わからない	1.2	2.0	0.9	0.9	1.8	2.0	1.0	2.5	5.3
不明	1.2	1.7	0.9	1.3	0.5	0.3	2.2	2.5	4.4	

	職業							全体	H17年度調査	
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない			
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397	
%	子どものための相談・支援体制を充実する	31.6	32.0	32.7	33.5	36.6	45.0	31.7	32.5	28.9
	子どもの人権を守るための教育・啓発活動を推進する	24.5	25.2	24.8	21.6	17.1	32.5	27.4	24.7	29.8
	教師の資質や能力を高める	36.7	43.3	39.9	42.1	31.7	37.5	41.3	39.9	49.2
	親などへの教育、相談・支援体制を充実する	47.0	50.1	43.1	44.2	53.7	52.5	37.0	44.8	選択肢なし
	子どもに自分も人も大切であることを教える	51.9	59.5	52.3	56.4	46.3	47.5	47.5	52.7	68.6
	子どもの人格を尊重する	21.4	18.7	16.3	18.7	29.3	20.0	20.1	19.8	25.1
	児童買春や児童ポルノなどの取り締まりを強化する	25.2	27.5	31.4	37.7	22.0	35.0	25.5	28.8	40.9
	その他	3.5	2.3	2.0	1.5	9.8	-	1.9	2.5	3.9
	特になし	1.0	0.3	-	0.2	2.4	2.5	1.3	0.8	0.6
	わからない	1.8	0.3	1.3	0.8	-	-	3.9	1.7	1.7
不明	1.3	1.1	0.7	0.6	-	-	3.0	1.5	1.2	

4-15. ホームレスについて人権上問題があると思うこと

表 35 問 31 ホームレスに関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(3つ以内に○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113
%									
ホームレスに対する誤解や偏見があること	20.8	27.3	18.4	15.7	18.6	22.7	27.1	36.6	37.2
通行人などの周囲の人が嫌がらせをしたり、暴力をふるうこと	39.6	34.6	46.2	43.2	42.5	38.7	30.3	26.3	31.0
医療機関において、診療拒否などの差別的な扱いをすること	23.0	22.7	28.3	19.5	21.4	24.1	22.0	24.7	23.9
就職することが難しく、経済的に自立した生活ができないこと	60.2	57.7	60.4	54.4	58.0	68.1	59.1	58.8	49.6
アパートや住宅への入居が困難なこと	27.2	26.9	25.9	23.0	26.2	32.2	28.8	28.1	21.2
店舗などへの入店や施設利用を拒否すること	7.7	5.9	8.0	5.4	6.6	7.0	5.8	8.1	11.5
その他	0.8	1.3	0.5	0.9	1.8	0.6	0.7	1.9	-
特になし	4.6	7.4	9.9	8.7	5.6	3.1	5.6	3.4	5.3
わからない	11.5	8.3	6.1	8.9	10.9	7.8	12.1	13.1	12.4
不明	2.3	2.2	0.5	1.3	1.0	2.0	4.6	3.1	3.5

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	
%									
ホームレスに対する誤解や偏見があること	22.0	24.4	20.3	19.5	14.6	35.0	31.7	23.7	設問なし
通行人などの周囲の人が嫌がらせをしたり、暴力をふるうこと	41.7	36.5	32.0	40.7	36.6	50.0	28.9	37.2	
医療機関において、診療拒否などの差別的な扱いをすること	20.9	23.8	26.8	26.0	31.7	17.5	19.7	22.7	
就職することが難しく、経済的に自立した生活ができないこと	58.0	63.5	54.9	62.1	63.4	52.5	55.5	59.0	
アパートや住宅への入居が困難なこと	24.7	28.0	25.5	27.0	34.1	25.0	29.8	26.9	
店舗などへの入店や施設利用を拒否すること	6.6	6.2	5.9	7.8	12.2	-	7.3	6.8	
その他	1.4	1.4	0.7	0.2	-	2.5	1.1	1.0	
特になし	7.1	5.1	7.8	3.6	9.8	10.0	5.6	5.9	
わからない	8.3	9.1	12.4	11.9	2.4	5.0	12.4	10.3	
不明	1.6	2.5	3.3	1.5	-	-	3.6	2.3	

4-16. ホームレスの人権を守るために必要なこと

表 36 問 32 ホームレスの人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(3つ以内に○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113
%									
ホームレスのための相談・支援体制を充実する	45.9	48.6	36.3	36.2	41.2	53.5	53.0	58.1	57.5
ホームレスの人権を守るための教育・啓発活動を推進する	9.7	15.4	9.9	8.9	11.2	11.5	13.8	16.6	16.8
ホームレスが自立して生活できるよう支援する	74.2	71.3	74.5	72.7	73.8	77.3	73.6	67.8	62.8
ホームレスのための施設を充実する	26.2	26.0	30.7	19.0	22.6	26.9	23.7	35.0	36.3
その他	2.0	2.5	5.2	2.9	2.3	1.4	1.7	1.6	0.9
特にない	4.0	7.2	9.9	6.9	4.6	3.9	5.6	2.5	6.2
わからない	9.4	5.3	4.7	8.3	8.9	6.4	7.5	9.4	8.8
不明	2.1	2.3	0.9	1.8	0.8	0.8	3.6	3.8	5.3

	職業							全体	H17年度調査(注1)
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397
%									
ホームレスのための相談・支援体制を充実する	41.7	48.7	45.8	48.6	31.7	42.5	54.4	46.9	14.0
ホームレスの人権を守るための教育・啓発活動を推進する	11.3	14.7	13.7	9.4	4.9	2.5	15.2	12.3	3.6
ホームレスが自立して生活できるよう支援する	73.8	72.8	64.1	77.1	85.4	72.5	69.4	72.7	57.1
ホームレスのための施設を充実する	22.7	28.6	26.1	26.0	31.7	30.0	28.5	25.9	6.5
その他	2.8	3.1	3.3	0.8	7.3	-	1.7	2.2	1.9
特にない	7.1	5.7	7.8	2.5	4.9	7.5	4.7	5.5	3.5
わからない	6.8	9.3	7.2	8.0	-	7.5	9.0	7.8	5.7
不明	1.6	1.7	3.9	1.3	2.4	5.0	3.2	2.2	7.7

(注1) 平成17年度調査では、1つを選択する回答形式となっているため、%合計値は100.0となる。

4-17. 犯罪被害者等について人権上問題があると思うこと

表 37 問 33 犯罪被害者等に関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(3つ以内に○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113
%									
犯罪行為によって経済的な負担を強いられること	39.1	48.0	41.5	46.8	45.5	46.2	40.9	38.8	29.2
事件のことで、周囲がうわさ話をすること	35.8	34.8	48.1	38.7	36.4	30.3	32.0	31.3	32.7
関係機関に相談しても期待にそった支援が得られないこと	28.8	31.8	25.5	27.5	28.5	33.6	34.6	29.7	27.4
捜査活動や刑事裁判によって精神的な負担がかかること	43.6	38.7	34.9	47.7	45.0	47.6	40.2	33.4	23.0
マスコミ報道により、犯罪被害者等の私生活の平穏が保てなくなること	74.8	66.8	79.7	77.2	77.9	72.0	67.3	60.3	49.6
その他	0.2	0.8	-	1.1	1.3	-	0.2	-	-
特にない	1.0	1.4	1.4	0.4	0.5	0.3	1.0	2.2	8.0
わからない	7.3	5.8	3.8	3.6	5.1	6.2	9.4	10.0	14.2
不明	1.8	2.0	0.5	0.9	0.5	-	3.4	4.4	7.1

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	
%									
犯罪行為によって経済的な負担を強いられること	48.0	41.1	43.8	38.4	46.3	35.0	42.0	42.9	設問なし
事件のことで、周囲がうわさ話をすること	37.5	40.2	26.1	35.8	46.3	40.0	28.7	35.2	
関係機関に相談しても期待にそった支援が得られないこと	27.1	33.4	41.2	30.4	26.8	27.5	28.7	30.1	
捜査活動や刑事裁判によって精神的な負担がかかること	45.0	46.2	35.3	41.9	29.3	40.0	35.3	41.3	
マスコミ報道により、犯罪被害者等の私生活の平穏が保てなくなること	70.8	76.2	73.9	76.9	80.5	75.0	60.6	70.9	
その他	0.8	0.6	0.7	-	-	-	0.4	0.5	
特にない	0.7	0.3	0.7	0.8	2.4	5.0	3.0	1.2	
わからない	4.5	5.4	7.2	7.3	2.4	7.5	10.7	6.9	
不明	1.3	0.8	2.0	1.7	-	2.5	3.6	1.9	

4-18. 犯罪被害者等の人権を守るために必要なこと

表 38 問 34 犯罪被害者等の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(3つ以内に○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113
%									
犯罪被害者等のための相談・支援体制を充実する	43.5	47.8	32.1	41.4	45.8	48.2	48.2	50.6	51.3
犯罪被害者等の人権を守るための教育・啓発活動を推進する	14.2	19.6	17.5	11.9	16.0	14.0	19.6	21.6	17.7
犯罪被害者等のための経済的な支援をする	28.0	36.1	29.2	36.2	34.9	30.8	29.1	29.7	23.0
犯罪被害者等への適切なカウンセリングを行う	43.5	31.2	38.2	38.5	35.6	42.6	37.3	39.7	26.5
捜査活動や刑事裁判において犯罪被害者等に配慮した支援などを行う	38.6	30.9	39.2	40.5	39.2	40.1	32.0	24.4	17.7
マスコミなどは犯罪被害者等の人権に配慮した報道や取材を行う	67.1	59.8	77.8	69.4	70.5	65.5	58.8	49.1	43.4
その他	0.2	0.6	0.5	0.7	0.3	0.3	0.5	0.3	-
特になし	0.8	1.2	0.9	0.4	0.8	0.3	1.0	1.6	4.4
わからない	4.7	5.0	2.8	3.8	3.6	4.8	5.3	8.1	9.7
不明	1.6	2.3	0.5	0.9	0.8	-	3.9	3.4	7.1

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	
%									設問なし
犯罪被害者等のための相談・支援体制を充実する	44.3	43.1	55.6	46.3	26.8	45.0	46.7	45.5	
犯罪被害者等の人権を守るための教育・啓発活動を推進する	16.2	17.8	15.7	12.2	14.6	20.0	20.3	16.6	
犯罪被害者等のための経済的な支援をする	37.2	28.9	28.1	26.6	31.7	27.5	31.7	31.6	
犯罪被害者等への適切なカウンセリングを行う	34.0	42.5	37.9	46.5	41.5	45.0	31.7	37.9	
捜査活動や刑事裁判において犯罪被害者等に配慮した支援などを行う	37.4	39.7	32.7	39.0	29.3	45.0	25.1	35.0	
マスコミなどは犯罪被害者等の人権に配慮した報道や取材を行う	65.4	69.1	60.1	69.4	78.0	52.5	52.5	63.4	
その他	0.6	0.8	-	-	-	-	0.4	0.4	
特になし	0.8	0.3	0.7	0.6	-	2.5	2.1	1.0	
わからない	3.8	3.7	5.2	4.2	2.4	5.0	8.6	5.1	
不明	1.4	1.1	2.0	1.3	-	-	3.9	1.9	

4-19. 性的少数者について人権上問題があると思うこと

表 39 問 35 性同一性障害・同性愛などの性的少数者に関する事で、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(3つ以内に○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113
%									
性的少数者に対する社会的理解が低い ため、好奇または偏見の目で見ること	52.0	49.5	56.6	53.9	53.9	53.2	46.2	47.5	33.6
就職や仕事の内容・待遇などで不利な立場におかれること	27.2	21.3	25.5	28.6	27.5	25.2	21.1	22.5	13.3
地域社会・職場・家庭・学校などで排除され、孤立してしまうこと	36.4	33.7	41.5	40.7	34.6	39.2	31.2	27.8	25.7
嫌がらせをしたり、蔑称で呼ぶなど差別的な言動をすること	29.4	29.5	45.8	32.4	31.6	30.8	21.1	22.8	24.8
法律が不十分であったり、整備されていないこと	33.1	27.4	38.2	39.6	36.1	27.7	24.5	20.6	19.5
その他	0.3	0.5	0.9	0.7	0.8	-	-	0.3	-
特になし	3.4	5.9	1.4	2.9	4.6	4.5	6.8	5.9	4.4
わからない	15.1	19.4	7.1	8.3	11.7	14.3	25.7	26.9	37.2
不明	2.8	3.0	1.9	1.3	1.5	3.9	2.7	5.6	8.0

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	
%									
性的少数者に対する社会的理解が低い ため、好奇または偏見の目で見ること	53.0	54.1	42.5	53.7	65.9	57.5	43.7	50.7	設問なし
就職や仕事の内容・待遇などで不利な立場におかれること	26.1	26.1	22.2	29.6	26.8	22.5	17.1	24.5	
地域社会・職場・家庭・学校などで排除され、孤立してしまうこと	36.5	34.0	32.7	39.4	48.8	35.0	29.6	35.1	
嫌がらせをしたり、蔑称で呼ぶなど差別的な言動をすること	32.4	31.2	25.5	28.9	48.8	40.0	23.3	29.3	
法律が不十分であったり、整備されていないこと	35.1	32.6	34.6	31.4	31.7	22.5	20.1	30.4	
その他	0.6	0.6	0.7	-	-	-	0.4	0.4	
特になし	4.4	3.1	5.2	3.4	-	5.0	6.6	4.5	
わからない	11.7	14.2	20.3	14.5	4.9	20.0	29.6	17.1	
不明	1.7	4.5	2.6	2.5	-	5.0	4.1	3.0	

4-20. 性的少数者の人権を守るために必要なこと

表 40 問 36 性同一性障害・同性愛などの性的少数者の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(3つ以内に○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113
%									
性的少数者のための相談・支援体制を充実する	39.1	35.7	36.3	37.1	39.2	40.3	34.6	38.4	32.7
性的少数者に関する正しい理解を深めるための教育・啓発活動を推進する	49.4	46.2	60.8	53.0	51.4	51.0	39.2	40.9	32.7
性的少数者に関する法整備を行う	38.2	38.5	48.6	45.0	44.0	36.7	27.1	34.1	28.3
その他	0.6	1.2	2.4	0.9	1.0	0.6	0.5	0.6	0.9
特にない	4.1	7.3	3.8	4.3	5.1	4.2	9.2	5.6	6.2
わからない	18.5	20.3	8.0	13.6	14.0	15.4	28.3	28.4	36.3
不明	3.3	2.9	2.4	1.6	1.8	3.6	3.1	5.9	8.0

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	
%									設問なし
性的少数者のための相談・支援体制を充実する	35.7	39.1	35.9	41.9	41.5	47.5	33.6	37.4	
性的少数者に関する正しい理解を深めるための教育・啓発活動を推進する	52.9	49.0	52.3	49.7	61.0	50.0	36.0	47.7	
性的少数者に関する法整備を行う	43.2	36.3	35.3	40.9	48.8	37.5	29.6	38.0	
その他	0.8	0.6	1.3	0.2	4.9	-	1.3	0.9	
特にない	5.5	4.0	4.6	4.0	4.9	7.5	8.4	5.6	
わからない	14.2	17.3	22.2	18.0	4.9	17.5	30.8	19.5	
不明	2.0	4.5	3.3	2.5	-	5.0	4.5	3.3	

4-21. アイヌ民族について人権上問題があると思うこと

表 41 問 37 アイヌ民族に関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(3つ以内に○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113
%									
先住民としてのアイヌ民族に対する理解や認識が十分ではないこと	58.5	60.6	56.1	55.3	59.5	62.2	63.2	60.9	53.1
結婚や就職において不利な条件におかれること	17.0	17.4	29.7	19.5	16.0	12.9	14.8	12.8	22.1
経済的に困窮状態におかれている人が多いこと	18.8	21.2	21.2	23.7	17.6	18.5	18.9	20.6	15.0
差別的な発言や行為をすること	19.1	21.2	30.2	19.5	21.1	19.3	19.1	16.6	14.2
アイヌ民族の独自の文化や伝統の保存・伝承が図られていないこと	35.2	37.0	32.5	32.4	33.6	40.1	39.7	36.9	34.5
その他	-	0.5	-	0.2	0.3	-	0.2	0.6	-
特になし	2.6	4.6	4.2	2.0	2.0	4.8	3.9	5.0	5.3
わからない	23.2	19.6	17.5	26.0	22.4	18.2	19.6	22.8	25.7
不明	2.8	2.5	1.9	1.1	1.5	3.6	3.1	4.1	6.2

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	
%									設問なし
先住民としてのアイヌ民族に対する理解や認識が十分ではないこと	58.5	56.7	61.4	60.8	65.9	70.0	59.1	59.3	
結婚や就職において不利な条件におかれること	19.3	15.3	12.4	18.7	36.6	12.5	13.9	17.1	
経済的に困窮状態におかれている人が多いこと	19.7	19.0	22.2	19.9	29.3	22.5	18.8	19.9	
差別的な発言や行為をすること	22.4	16.7	20.3	19.9	29.3	12.5	18.8	20.1	
アイヌ民族の独自の文化や伝統の保存・伝承が図られていないこと	33.6	37.1	39.9	33.1	48.8	47.5	37.9	35.9	
その他	0.3	-	-	-	-	-	0.6	0.2	
特になし	3.7	2.3	3.9	2.5	7.3	5.0	4.7	3.6	
わからない	20.6	24.4	20.3	22.6	4.9	20.0	22.9	21.7	
不明	1.7	4.0	3.3	2.1	-	2.5	3.4	2.7	

4-22. アイヌ民族の人権を守るために必要なこと

表 42 問 38 アイヌ民族の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(3つ以内に○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113
%									
アイヌ民族のための相談・支援体制を充実する	22.9	28.0	18.9	17.7	28.0	26.1	28.3	28.4	31.9
アイヌ民族の歴史について認識を深めるための教育・啓発活動を推進する	52.8	54.0	61.3	55.3	53.4	54.1	51.1	49.4	44.2
アイヌ民族の独自の文化・伝統の保存・伝承を推進する	51.7	51.8	52.4	47.4	49.4	56.3	55.2	52.2	44.2
アイヌ民族の雇用を確保する	20.0	21.9	27.4	20.1	19.6	21.3	19.1	21.3	17.7
その他	0.3	1.5	1.4	1.1	1.0	0.3	1.2	0.6	-
特にない	2.1	3.6	3.3	1.3	2.3	3.6	2.9	3.1	6.2
わからない	22.0	17.1	18.9	22.8	20.4	15.4	18.6	21.3	23.9
不明	2.9	2.9	1.9	1.3	1.3	3.6	3.6	4.4	8.0

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	
%									
アイヌ民族のための相談・支援体制を充実する	23.4	24.4	26.8	26.0	22.0	25.0	26.8	25.2	設問なし
アイヌ民族の歴史について認識を深めるための教育・啓発活動を推進する	56.0	52.7	53.6	53.7	68.3	52.5	48.4	53.1	
アイヌ民族の独自の文化・伝統の保存・伝承を推進する	51.6	48.4	60.1	52.4	53.7	52.5	50.5	51.6	
アイヌ民族の雇用を確保する	22.3	20.1	18.3	19.3	26.8	25.0	20.3	20.6	
その他	1.1	-	1.3	0.2	4.9	-	1.5	0.9	
特にない	2.5	2.5	2.6	1.7	7.3	5.0	3.9	2.8	
わからない	17.9	22.9	18.3	21.2	9.8	20.0	21.2	20.0	
不明	2.0	4.2	2.0	2.1	-	2.5	4.1	3.0	

4-23. インターネット上において人権上問題があると思うこと

表 43 問 39 インターネット上で、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(3つ以内に○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113
%									
他人の誹謗中傷や差別的な表現など、人権を侵害する情報を掲載すること	77.1	77.3	83.0	83.0	84.0	81.8	72.9	64.1	53.1
出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること	55.7	55.2	50.9	50.8	51.9	61.6	59.3	60.6	45.1
事件の捜査対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること	37.1	29.8	41.0	32.9	34.1	39.2	32.9	28.8	24.8
児童ポルノが存在すること	46.5	33.6	36.3	47.7	42.5	39.2	41.6	34.4	32.7
その他	0.8	1.9	2.8	1.8	2.3	0.8	0.2	0.6	-
特にない	0.7	2.1	3.3	0.4	1.8	0.3	1.2	1.9	3.5
わからない	6.9	5.9	1.4	2.2	2.8	3.6	9.4	15.3	21.2
不明	2.9	2.4	1.9	1.3	1.3	3.1	2.9	4.7	7.1

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397
%									
他人の誹謗中傷や差別的な表現など、人権を侵害する情報を掲載すること	83.8	80.2	73.9	75.7	82.9	70.0	67.2	76.9	68.9
出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること	51.2	62.3	54.9	59.1	53.7	47.5	54.2	55.3	58.6
事件の捜査対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること	34.6	38.0	33.3	37.5	46.3	30.0	25.9	33.9	24.1
児童ポルノが存在すること	34.0	44.8	41.2	50.9	26.8	47.5	37.5	40.6	30.5
その他	1.8	1.1	-	0.6	7.3	2.5	1.1	1.3	1.8
特にない	1.6	0.6	1.3	0.6	4.9	5.0	2.1	1.4	2.7
わからない	3.1	4.2	7.2	7.5	2.4	2.5	13.3	6.6	8.7
不明	1.7	3.1	2.0	2.1	-	7.5	4.1	2.7	1.5

4-24. インターネット上の人権侵害を防ぐために必要なこと

表 44 問 40 インターネット上の人権侵害を防ぐために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(3つ以内に○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113
% インターネット上で人権侵害を受けた人のための相談・支援体制を充実する	29.8	29.9	27.8	26.0	32.6	31.1	28.3	33.1	30.1
% インターネットの利用者やプロバイダなどに対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発活動を推進する	36.1	39.6	42.9	38.0	37.2	40.3	36.3	36.9	25.7
% 情報の提供停止や削除などに関する法的規制を強化する	68.5	62.4	65.6	70.9	71.5	69.7	67.1	52.5	42.5
% 違法な情報発信者に対する監視や取り締まりを強化する	73.7	68.8	70.8	82.1	77.4	77.9	67.6	58.1	38.9
% その他	0.5	1.5	2.4	1.6	1.0	-	1.0	0.3	-
% 特にない	0.7	2.5	2.4	0.4	2.3	0.6	1.7	2.2	3.5
% わからない	8.4	5.9	2.8	2.5	2.8	3.9	11.1	15.6	26.5
% 不明	3.0	2.5	1.9	1.6	1.3	3.4	2.4	5.3	8.0

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397
% インターネット上で人権侵害を受けた人のための相談・支援体制を充実する	28.2	31.7	29.4	31.2	24.4	35.0	29.8	29.9	29.0
% インターネットの利用者やプロバイダなどに対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発活動を推進する	39.8	39.9	35.9	36.1	51.2	40.0	33.4	37.6	35.1
% 情報の提供停止や削除などに関する法的規制を強化する	69.1	65.7	68.0	69.2	68.3	70.0	55.2	65.5	54.8
% 違法な情報発信者に対する監視や取り締まりを強化する	75.5	73.7	75.2	74.6	70.7	65.0	59.7	71.1	71.5
% その他	1.0	0.8	1.3	0.2	7.3	-	1.1	0.9	1.7
% 特にない	1.6	0.8	2.0	0.8	2.4	2.5	2.8	1.6	1.6
% わからない	3.0	6.5	8.5	8.8	2.4	2.5	13.9	7.4	9.2
% 不明	1.8	2.8	2.0	2.7	-	7.5	4.3	2.9	3.0

5-1. 人権問題に関する知識や情報の収集源

表 45 問 41 あなたは、これまで人権問題に関する知識や情報を何から得ましたか。(3つ以内に○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113
%									
講演会、研修会	11.0	16.7	9.0	8.7	15.0	16.5	15.0	17.2	9.7
キャンペーンなどのイベント	3.0	3.4	0.5	2.5	3.3	3.1	3.6	4.4	5.3
市町村が発行する広報紙・誌	17.7	14.2	5.2	8.7	10.7	16.8	21.8	28.8	25.7
パンフレットなどの資料	5.0	4.9	1.9	3.1	5.6	5.3	6.5	6.9	5.3
ポスター	4.6	3.4	5.7	5.1	4.8	3.4	4.4	2.2	-
インターネット	5.8	11.4	19.3	12.1	11.5	6.4	4.4	0.9	0.9
テレビ、ラジオ	47.8	42.7	42.9	45.2	44.8	45.4	47.9	45.3	45.1
映画、ビデオ	11.3	10.8	13.2	12.1	11.5	14.3	10.7	6.6	5.3
新聞	39.5	44.2	21.2	30.2	38.4	45.7	53.8	53.1	45.1
本	17.7	23.6	21.2	21.9	23.2	19.9	21.1	16.9	11.5
学校の授業	25.2	23.2	58.0	44.1	31.0	13.4	8.5	5.3	3.5
その他	3.1	3.0	5.2	4.9	2.0	2.2	2.7	2.5	0.9
特にない	10.7	7.7	6.6	8.9	9.4	10.9	8.7	10.9	10.6
不明	3.1	3.3	1.4	1.6	1.5	3.1	3.4	5.6	13.3

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397
%									
講演会、研修会	18.3	10.2	11.8	9.2	7.3	15.0	13.9	13.6	14.4
キャンペーンなどのイベント	2.5	4.5	3.9	3.4	-	-	3.2	3.2	2.9
市町村が発行する広報紙・誌	11.3	14.7	12.4	20.5	2.4	12.5	22.5	16.2	17.7
パンフレットなどの資料	4.2	5.9	5.2	4.6	-	15.0	5.8	5.1	5.0
ポスター	4.1	5.1	3.3	5.0	2.4	2.5	2.8	4.1	3.9
インターネット	12.1	6.8	8.5	4.6	29.3	5.0	5.6	8.2	市のホームページ
テレビ、ラジオ	40.5	47.3	46.4	49.9	41.5	47.5	47.8	45.4	71.2
映画、ビデオ	10.6	11.6	14.4	10.7	14.6	15.0	9.9	11.0	7.0
新聞	36.8	38.0	47.1	44.0	26.8	40.0	48.4	41.7	57.3
本	23.6	18.4	22.9	18.4	26.8	5.0	18.0	20.3	20.5
学校の授業	33.1	26.9	14.4	25.2	61.0	20.0	8.4	24.1	選択肢なし
その他	3.1	2.8	5.2	2.5	7.3	5.0	2.4	3.0	5.9
特にない	8.3	11.3	13.7	9.2	2.4	10.0	9.0	9.4	6.8
不明	1.7	3.7	1.3	2.1	-	15.0	6.4	3.3	1.9

5-2. 横浜市が主催する人権啓発イベント等への参加状況と理解度

問 42 あなたは、横浜市(区役所)が行っている人権啓発講演会やイベントに参加したり、広報紙で「人権問題」に関する記事を読んだりしたことなどはありますか。ある場合、人権についての理解は深まりましたか。

表 46 42-1 講演会・研修会に参加したことはありますか。(1つに○)

	性別		年齢							
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113	
%	何回も参加した	1.7	1.9	0.5	0.4	2.0	2.0	2.9	2.8	0.9
	1～2回参加した	4.9	5.0	1.4	1.8	4.8	5.0	7.5	7.8	7.1
	参加したことはない	89.1	89.3	96.7	96.2	91.3	89.1	85.5	80.9	77.9
	不明	4.3	3.7	1.4	1.6	1.8	3.9	4.1	8.4	14.2

	職業							全体	H17年度調査	
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない			
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397	
%	何回も参加した	2.0	2.0	1.3	1.3	-	5.0	1.3	1.8	1.4
	1～2回参加した	3.5	5.9	5.9	5.5	-	10.0	5.8	5.0	4.6
	参加したことはない	92.2	89.0	90.8	88.9	97.6	77.5	86.1	89.2	91.1
	不明	2.3	3.1	2.0	4.4	2.4	7.5	6.9	4.0	2.9

42-1 で「何回も参加した」「1～2回参加した」と回答した人について

表 47 42-(1) 講演会・研修会に参加して、人権について理解は深まりましたか。(1つに○)

	性別		年齢							
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
回答者数(n)	82	69	4	10	27	25	43	34	9	
%	深まった	36.6	30.4	25.0	10.0	55.6	36.0	20.9	38.2	33.3
	まあ深まった	53.7	43.5	75.0	60.0	37.0	44.0	51.2	50.0	55.6
	あまり深まらなかった	9.8	26.1	-	30.0	7.4	20.0	27.9	11.8	11.1
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	職業							全体	H17年度調査	
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない			
回答者数(n)	39	28	11	32	-	6	33	155	84	
%	深まった	38.5	39.3	36.4	34.4	-	16.7	27.3	33.5	27.4
	まあ深まった	33.3	46.4	63.6	53.1	-	66.7	57.6	48.4	60.7
	あまり深まらなかった	28.2	14.3	-	12.5	-	16.7	15.2	17.4	9.5
	不明	-	-	-	-	-	-	-	0.6	2.4

表 48 42-2 人権啓発キャンペーンなどのイベントに参加したことはありますか。(1つに○)

	性別		年齢							
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113	
%	何回も参加した	0.4	1.2	-	-	0.5	0.6	1.5	2.2	-
	1～2回参加した	2.6	3.3	0.9	1.8	2.5	2.8	4.1	4.7	3.5
	参加したことはない	91.5	90.6	96.7	95.5	93.6	91.9	88.4	84.1	80.5
	不明	5.6	4.9	2.4	2.7	3.3	4.8	6.1	9.1	15.9

	職業							全体	H17年度調査	
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない			
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397	
%	何回も参加した	0.7	0.3	1.3	0.4	-	-	1.3	0.7	0.4
	1～2回参加した	2.1	4.2	2.0	2.5	-	5.0	3.9	3.0	2.1
	参加したことはない	94.2	90.7	92.8	91.2	100.0	82.5	86.7	91.0	85.6
	不明	3.0	4.8	3.9	5.9	-	12.5	8.1	5.3	11.8

42-2 で「何回も参加した」「1～2回参加した」と回答した人について

表 49 42-(2) イベントに参加して、人権について理解は深まりましたか。(1つに○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(n)	37	45	2	8	12	12	23	22	4
%									
深まった	27.0	31.1	50.0	37.5	41.7	41.7	17.4	22.7	25.0
まあ深まった	62.2	46.7	50.0	37.5	41.7	50.0	56.5	68.2	50.0
あまり深まらなかった	10.8	22.2	-	25.0	16.7	8.3	26.1	9.1	25.0
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(n)	20	16	5	14	-	2	24	84	36
%									
深まった	35.0	37.5	40.0	21.4	-	50.0	20.8	29.8	25.0
まあ深まった	40.0	50.0	60.0	64.3	-	50.0	66.7	53.6	50.0
あまり深まらなかった	25.0	12.5	-	14.3	-	-	12.5	16.7	16.7
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	8.3

表 50 42-3 年1回発行している「広報よこはま人権特集号」を読んだことはありますか。(1つに○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113
%									
毎回読む	5.8	5.3	0.9	2.7	5.9	3.9	8.2	8.4	12.4
ときどき読む	23.2	20.7	6.6	13.9	18.8	24.1	29.8	32.8	30.1
読んだことはない	67.3	69.8	90.6	82.1	73.0	68.3	57.6	52.2	42.5
不明	3.8	4.1	1.9	1.3	2.3	3.6	4.4	6.6	15.0

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397
%									
毎回読む	4.1	5.1	2.0	7.3	-	10.0	7.3	5.6	8.1
ときどき読む	14.2	25.2	24.2	26.4	4.9	22.5	28.3	22.1	22.8
読んだことはない	79.4	66.3	70.6	62.9	92.7	60.0	57.6	68.3	64.1
不明	2.3	3.4	3.3	3.4	2.4	7.5	6.9	3.9	5.0

42-3 で「毎回読む」「ときどき読む」と回答した人について

表 51 42-(3) 「広報よこはま人権特集号」を読んで、人権について理解は深まりましたか。(1つに○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(n)	363	259	16	74	97	100	157	132	48
%									
深まった	12.9	13.5	6.3	13.5	17.5	8.0	15.9	10.6	14.6
まあ深まった	63.4	59.8	62.5	60.8	63.9	69.0	52.2	65.9	64.6
あまり深まらなかった	22.0	25.9	31.3	23.0	17.5	21.0	29.9	23.5	20.8
不明	1.7	0.8	-	2.7	1.0	2.0	1.9	-	-

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(n)	130	107	40	161	2	13	166	630	431
%									
深まった	15.4	15.0	10.0	13.0	-	15.4	11.4	13.0	10.2
まあ深まった	65.4	64.5	65.0	59.0	50.0	69.2	59.6	62.1	62.4
あまり深まらなかった	18.5	18.7	22.5	26.1	50.0	15.4	28.3	23.7	23.7
不明	0.8	1.9	2.5	1.9	-	-	0.6	1.3	3.7

表 52 42-4 毎月発行する広報よこはまに随時掲載している「人権に関するコラム」を読んだことはありますか。(1つに○)

	性別		年齢							
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113	
%	毎回読む	5.0	3.9	1.4	2.9	3.6	4.2	6.8	5.9	9.7
	ときどき読む	24.7	20.9	4.2	13.4	21.6	23.0	30.3	36.9	35.4
	読んだことはない	66.1	70.7	92.5	82.3	72.0	68.3	58.1	49.4	40.7
	不明	4.2	4.5	1.9	1.3	2.8	4.5	4.8	7.8	14.2

	職業							全体	H17年度調査	
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない			
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397	
%	毎回読む	3.2	4.8	1.3	6.1	-	10.0	5.6	4.5	9.0
	ときどき読む	14.8	26.1	22.9	28.3	4.9	17.5	30.4	23.1	22.7
	読んだことはない	79.5	64.6	72.5	62.1	92.7	65.0	56.3	68.0	61.6
	不明	2.4	4.5	3.3	3.6	2.4	7.5	7.7	4.4	6.7

42-4 で「毎回読む」「ときどき読む」と回答した人について

表 53 42-(4) 「人権に関するコラム」を読んで、人権について理解は深まりましたか。(1つに○)

	性別		年齢							
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
回答者数(n)	372	247	12	73	99	97	153	137	51	
%	深まった	11.6	12.6	25.0	13.7	13.1	8.2	14.4	9.5	9.8
	まあ深まった	65.1	61.5	66.7	63.0	64.6	73.2	56.9	66.4	56.9
	あまり深まらなかった	21.2	24.7	8.3	21.9	19.2	16.5	27.5	24.1	25.5
	不明	2.2	1.2	-	1.4	3.0	2.1	1.3	-	7.8

	職業							全体	H17年度調査	
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない			
回答者数(n)	128	109	37	164	2	11	168	628	443	
%	深まった	11.7	16.5	10.8	9.8	-	9.1	11.9	11.8	9.0
	まあ深まった	65.6	65.1	70.3	66.5	100.0	81.8	55.4	63.9	65.9
	あまり深まらなかった	20.3	17.4	18.9	21.3	-	9.1	30.4	22.5	21.7
	不明	2.3	0.9	-	2.4	-	-	2.4	1.9	3.4

表 54 42-5 公共施設などに掲出されている「人権啓発ポスター」を見たことはありますか。(1つに○)

	性別		年齢							
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113	
%	何回も見た	7.6	8.9	8.0	7.6	8.4	8.1	8.5	9.4	5.3
	1～2回は見た	26.8	30.6	20.8	25.3	26.0	33.3	33.2	31.3	23.0
	見たことはない	61.3	56.0	69.8	65.5	63.1	54.6	52.5	52.8	54.0
	不明	4.3	4.5	1.4	1.6	2.5	3.9	5.8	6.6	17.7

	職業							全体	H17年度調査	
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない			
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397	
%	何回も見た	9.4	8.8	5.9	5.9	7.3	12.5	8.4	8.1	10.0
	1～2回は見た	27.6	26.9	28.8	28.5	31.7	32.5	30.2	28.5	21.3
	見たことはない	60.5	60.1	61.4	62.1	61.0	47.5	53.1	58.9	62.1
	不明	2.4	4.2	3.9	3.6	-	7.5	8.4	4.4	6.5

42-5 で「何回も見た」「1～2回は見た」と回答した人について

表 55 42-(5) 「人権啓発ポスター」を見て、人権について理解は深まりましたか。(1つに○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(n)	431	393	61	147	135	148	172	130	32
%									
深まった	6.3	7.9	8.2	3.4	8.9	4.7	10.5	7.7	3.1
まあ深まった	42.7	37.9	41.0	33.3	38.5	41.9	34.3	51.5	62.5
あまり深まらなかった	46.2	50.6	44.3	57.8	47.4	48.0	50.6	40.8	34.4
不明	4.9	3.6	6.6	5.4	5.2	5.4	4.7	-	-

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(n)	263	126	53	164	16	18	180	833	438
%									
深まった	6.5	7.1	3.8	6.1	12.5	16.7	8.3	7.0	6.8
まあ深まった	38.4	38.9	35.8	41.5	18.8	50.0	45.6	40.6	47.5
あまり深まらなかった	50.2	48.4	50.9	48.2	68.8	27.8	45.0	48.3	39.0
不明	4.9	5.6	9.4	4.3	-	5.6	1.1	4.2	6.6

表 56 42-6 横浜市のホームページにある人権に関するページを見たことはありますか。(1つに○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113
%									
よく見る	0.8	0.6	0.5	0.2	0.5	0.6	1.2	1.3	0.9
ときどき見る	5.0	7.0	1.9	3.6	4.3	3.6	5.3	13.1	16.8
見たことはない	90.0	87.6	95.8	94.6	92.6	92.2	88.1	77.8	65.5
不明	4.2	4.7	1.9	1.6	2.5	3.6	5.3	7.8	16.8

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397
%									
よく見る	0.6	0.8	0.7	0.4	-	-	1.3	0.7	1.8
ときどき見る	3.9	5.4	2.0	5.2	2.4	15.0	10.7	6.0	3.9
見たことはない	93.1	89.8	94.1	90.6	95.1	77.5	79.9	88.9	86.8
不明	2.4	4.0	3.3	3.8	2.4	7.5	8.1	4.4	7.6

42-6 で「よく見る」「ときどき見る」と回答した人について

表 57 42-(6) 横浜市のホームページを見て、人権について理解は深まりましたか。(1つに○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(n)	72	76	5	17	19	15	27	46	20
%									
深まった	18.1	13.2	60.0	11.8	21.1	6.7	14.8	19.6	-
まあ深まった	50.0	56.6	40.0	58.8	52.6	40.0	63.0	43.5	75.0
あまり深まらなかった	27.8	30.3	-	29.4	26.3	46.7	22.2	37.0	15.0
不明	4.2	-	-	-	-	6.7	-	-	10.0

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(n)	32	22	4	27	1	6	56	152	79
%									
深まった	21.9	4.5	-	22.2	100.0	16.7	12.5	15.1	11.4
まあ深まった	53.1	59.1	75.0	44.4	-	66.7	55.4	54.6	55.7
あまり深まらなかった	25.0	31.8	25.0	29.6	-	16.7	30.4	28.3	25.3
不明	-	4.5	-	3.7	-	-	1.8	2.0	7.6

5-3. 人権についての理解を深めるために充実すべき取組

表 58 問 43 横浜市では、人権についての理解を深めていただくためにさまざまな取組を進めています。あなたは、今後どのような取組を充実させていくべきだと思いますか。(3つ以内に○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113
講演会、研修会	18.1	18.5	15.1	13.4	19.8	21.3	18.6	22.5	14.2
キャンペーンなどのイベント	25.8	26.4	32.1	32.9	30.8	30.3	19.9	15.0	10.6
演劇やコンサート	11.5	11.3	22.2	12.8	10.2	14.3	7.3	7.2	7.1
映画会	12.1	12.5	17.5	14.5	15.0	14.6	8.7	7.5	2.7
「広報よこはま人権特集号」での啓発記事の充実	18.4	18.9	5.2	10.1	15.3	18.8	25.4	29.1	33.6
広報よこはまに随時掲載している「人権に関するコラム」の充実	18.1	14.7	5.7	10.7	14.0	12.9	21.5	30.6	23.9
パンフレットなどの資料の配布	18.5	19.5	15.6	19.0	19.3	21.0	19.1	18.1	16.8
ポスターの掲出	14.1	12.7	21.7	14.5	15.8	14.0	10.2	7.2	12.4
横浜市のホームページによる情報提供の充実	11.3	15.9	15.6	15.7	12.5	13.4	12.8	10.6	11.5
その他	7.5	9.4	16.0	12.5	10.4	6.4	5.3	3.8	0.9
特にない	3.8	6.5	4.2	2.9	4.3	6.4	7.7	5.3	3.5
わからない	15.7	12.4	11.3	14.8	13.7	11.2	16.2	14.4	21.2
不明	5.8	4.8	2.8	3.1	2.8	4.5	6.1	10.3	15.0

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397
講演会、研修会	18.5	18.4	18.3	17.2	22.0	17.5	18.4	18.3	18.7
キャンペーンなどのイベント	31.3	28.3	26.1	26.8	31.7	22.5	15.2	25.9	24.3
演劇やコンサート	12.1	12.2	13.1	11.1	24.4	10.0	8.6	11.3	12.7
映画会	12.8	14.2	13.7	11.5	17.1	20.0	9.2	12.3	10.5
「広報よこはま人権特集号」での啓発記事の充実	11.8	22.7	23.5	19.1	2.4	17.5	25.5	18.6	23.3
広報よこはまに随時掲載している「人権に関するコラム」の充実	10.0	17.6	13.7	21.4	7.3	25.0	22.3	16.6	23.1
パンフレットなどの資料の配布	19.7	18.1	19.0	20.1	12.2	22.5	17.3	18.9	29.6
ポスターの掲出	16.2	14.2	11.1	12.8	14.6	15.0	9.6	13.4	16.9
横浜市のホームページによる情報提供の充実	16.1	11.3	15.0	11.9	22.0	15.0	10.5	13.2	10.9
その他	11.6	7.9	8.5	5.5	24.4	2.5	6.0	8.3	7.2
特にない	5.1	4.0	5.9	3.4	2.4	10.0	7.1	5.1	5.0
わからない	11.6	14.2	11.8	16.1	7.3	15.0	17.8	14.4	12.0
不明	3.7	5.1	5.2	5.0	2.4	-	9.4	5.4	3.1

5-4. 人権啓発講演会により多くの人が参加するための工夫

表 59 問 44 人権啓発講演会などに、より多くの人が参加するために、あなたはどのような工夫が効果的だと思いますか。(3つ以内に○)

	性別		年齢							
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113	
%	著名人が出演する	31.9	31.5	42.5	40.3	36.1	32.2	21.3	23.1	22.1
	人権問題に直面している当事者が出演する	24.6	24.7	25.5	16.8	22.4	23.2	29.3	31.6	29.2
	内容をもっと親しみやすくする	38.6	38.2	41.5	39.8	37.4	37.3	33.4	42.8	37.2
	土曜・日曜日に開催する	17.6	22.0	24.1	26.2	20.9	15.1	17.4	15.6	11.5
	平日の夜間に開催する	3.0	4.8	3.3	6.3	3.6	3.6	3.4	1.9	2.7
	一時保育や手話通訳などを行う	11.8	4.5	8.5	17.9	11.5	5.9	3.6	3.8	1.8
	PR方法を工夫する	43.2	43.2	47.6	45.2	52.9	53.2	35.8	30.0	22.1
	その他	2.4	5.3	7.1	4.5	4.3	2.5	3.1	2.5	0.9
	特にない	3.6	5.0	2.8	2.5	2.8	4.8	6.5	5.9	5.3
	わからない	10.3	10.2	8.5	6.3	6.4	10.4	14.3	14.1	19.5
不明	5.4	4.5	2.4	2.7	2.0	3.9	6.5	8.8	16.8	

	職業							全体	H17年度調査	
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない			
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397	
%	著名人が出演する	38.2	31.2	27.5	31.7	34.1	27.5	24.0	31.6	37.7
	人権問題に直面している当事者が出演する	20.0	24.6	32.0	23.7	29.3	32.5	29.1	24.7	24.6
	内容をもっと親しみやすくする	37.5	36.3	39.2	42.1	46.3	52.5	35.1	38.4	42.6
	土曜・日曜日に開催する	25.7	20.7	14.4	13.4	22.0	40.0	14.8	19.4	22.2(注2)
	平日の夜間に開催する	5.1	3.1	3.3	2.1	4.9	15.0	2.8	3.8	
	一時保育や手話通訳などを行う	7.1	9.6	7.2	14.3	4.9	10.0	4.9	8.5	9.9
	PR方法を工夫する	48.9	47.9	45.8	42.6	46.3	27.5	31.3	43.0	46.3
	その他	4.8	2.8	3.9	1.3	14.6	2.5	4.1	3.7	3.6
	特にない	3.1	4.8	5.2	3.1	4.9	5.0	6.2	4.3	3.2
	わからない	8.3	8.5	10.5	11.1	2.4	7.5	15.2	10.4	8.2
不明	3.5	4.2	6.5	4.4	-	-	8.6	5.0	3.4	

(注2) 平成17年度調査では、「土曜、日曜や夜間に開催する」で1つの選択肢となっている。

5-5.「互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」を実現するための取組

表 60 問 45 横浜市がめざす「互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」を実現するために、あなたは今後どのような取組が必要だと思いますか。(3つ以内に○)

	性別		年齢						
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113
%									
人権施策に関する指針の策定と市民への周知	19.7	22.3	24.1	19.5	19.6	21.0	20.1	22.5	21.2
人権意識を高めるための市民啓発の充実	16.3	23.5	10.8	17.4	16.8	17.9	23.2	25.6	25.7
学校や地域における人権教育の充実	54.9	52.6	64.2	63.5	64.9	52.9	46.2	39.1	26.5
社会における不公正な格差を解消するための施策の充実	26.0	25.7	28.8	27.1	25.2	30.5	25.4	20.3	18.6
教職員、保健・医療・福祉関係従事者、公務員など人権問題に深く関わる職業に従事する人の人権意識の向上	44.0	40.5	37.3	41.2	45.5	42.9	46.7	40.0	35.4
企業における人権意識の向上	18.8	22.1	27.8	26.8	22.9	19.9	16.5	12.2	7.1
人権侵害に対する救済策の強化	18.1	18.0	19.8	20.8	19.8	18.8	15.0	14.1	16.8
その他	0.5	2.7	3.8	1.3	2.0	1.1	1.0	0.6	0.9
特にない	1.8	2.5	0.9	0.7	1.8	1.7	3.4	4.4	3.5
わからない	8.9	6.9	7.1	8.1	5.1	6.7	8.2	12.2	14.2
不明	6.2	4.5	2.8	2.2	1.8	3.9	6.5	11.3	20.4

	職業							全体	H17年度調査
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない		
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397
%									
人権施策に関する指針の策定と市民への周知	22.7	20.4	19.6	18.0	26.8	15.0	21.4	20.8	選択肢なし
人権意識を高めるための市民啓発の充実	19.7	15.6	15.7	17.0	9.8	35.0	24.8	19.4	25.6
学校や地域における人権教育の充実	58.0	58.6	52.9	58.5	73.2	57.5	37.3	53.6	59.1
社会における不公正な格差を解消するための施策の充実	26.0	25.8	25.5	25.8	36.6	35.0	24.0	25.8	27.8
教職員、保健・医療・福祉関係従事者、公務員など人権問題に深く関わる職業に従事する人の人権意識の向上	38.4	42.8	44.4	48.8	43.9	40.0	41.5	42.2	47.3
企業における人権意識の向上	28.6	19.5	15.0	17.6	22.0	22.5	12.2	20.1	21.9
人権侵害に対する救済策の強化	18.2	21.2	17.0	18.0	12.2	27.5	15.4	18.0	23.3
その他	2.4	-	1.3	0.4	9.8	-	1.5	1.5	1.7
特にない	1.1	2.0	1.3	1.7	2.4	2.5	4.5	2.3	1.4
わからない	6.8	7.6	9.2	8.6	2.4	7.5	10.5	8.1	5.7
不明	3.0	4.2	5.2	5.2	-	-	11.1	5.5	3.5

5-6. 市民一人ひとりが人権を尊重しあうための心がけや行動

表 61 問 46 市民一人ひとりが、人権を尊重しあうために、心がけたり行動すべきこととして、あなたはどのようなことが求められると思いますか。(3つ以内に○)

	性別		年齢							
	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
回答者数(N, n)	1,252	995	212	447	393	357	413	320	113	
%	人権について正しい知識を身につけること	64.6	65.7	68.4	70.7	70.7	61.9	58.4	62.2	56.6
	因習や誤った固定観念にとらわれないこと	53.4	50.5	55.2	54.1	53.4	58.3	53.8	40.9	36.3
	他人の立場や権利を尊重すること	54.7	54.5	52.8	53.0	57.0	62.2	52.8	50.6	46.9
	自分が生活している地域の人々を大切にすること	19.3	23.0	11.8	18.6	17.0	20.4	25.9	27.8	24.8
	家族が互いの立場や権利を大切にすること	23.8	18.3	22.6	19.2	19.6	15.4	26.2	22.8	28.3
	職場で、人権を尊重する意識を高めあうこと	15.3	17.1	22.6	16.6	18.1	20.2	13.3	10.0	7.1
	その他	0.9	1.4	2.8	0.9	1.3	0.8	1.0	0.9	-
	特にない	0.7	1.2	0.5	0.2	0.8	0.8	1.7	1.9	1.8
	わからない	3.4	3.4	2.4	3.4	3.3	1.7	2.7	6.3	8.8
	不明	4.7	4.2	2.4	2.2	2.0	3.6	5.1	8.4	15.9

	職業							全体	H17年度調査	
	会社員・公務員等	パート・アルバイト等	自営業・個人業	家事専業	学生	その他の職業	仕事はしていない			
回答者数(N, n)	709	353	153	477	41	40	467	2,271	1,397	
%	人権について正しい知識を身につけること	68.8	66.6	60.1	64.6	73.2	75.0	59.1	64.8	65.8
	因習や誤った固定観念にとらわれないこと	53.3	55.5	53.6	52.8	61.0	57.5	44.5	51.7	53.4
	他人の立場や権利を尊重すること	55.0	52.1	51.6	56.6	61.0	55.0	54.2	54.4	56.8
	自分が生活している地域の人々を大切にすること	17.1	19.8	23.5	23.3	9.8	22.5	24.6	20.9	24.0
	家族が互いの立場や権利を大切にすること	16.8	21.8	18.3	24.7	14.6	20.0	25.5	21.3	15.5
	職場で、人権を尊重する意識を高めあうこと	20.3	19.8	12.4	13.6	22.0	25.0	8.8	15.9	15.5
	その他	1.4	0.8	1.3	-	4.9	-	1.7	1.1	1.2
	特にない	0.4	1.1	1.3	0.4	2.4	2.5	1.9	1.1	0.6
	わからない	3.0	2.5	5.9	3.1	2.4	5.0	4.7	3.6	2.5
	不明	3.2	3.4	4.6	4.2	-	-	8.1	4.5	3.0

6-1. 差別をされたり人権を侵害されたりした場合の対応 × 差別をされた経験

表 62 問6 もし、あなたが差別をされたり、人権を侵害されたりした場合、まずどうしますか。

× 問5 これまでに、「差別」をされたと思ったことがありますか。ある場合、何について差別をされましたか。

		回答者数 (N, n)	問6 差別をされたり人権を侵害されたりした場合の対応 (%)										
			黙って我慢する	相手に抗議する	身近な人に相談する	弁護士に相談する	市役所・区役所に相談する	法務局または人権擁護委員に相談する	民間相談機関に相談する	警察に相談する	その他	わからない	不明
全体		2,271	20.3	18.0	29.4	2.5	4.4	3.4	1.7	0.9	2.9	11.7	4.8
差別をされた経験「複数回答」	年齢	374	26.5	15.2	30.5	1.6	4.0	1.9	1.3	0.8	2.9	9.6	5.6
	学歴・出身校	563	29.5	16.3	25.8	2.1	3.7	2.7	1.6	1.1	2.8	8.9	5.5
	職業	260	31.9	17.3	22.7	2.7	5.0	3.1	1.5	1.2	1.9	6.5	6.2
	収入・財産	248	33.9	16.1	18.5	2.4	5.6	2.0	1.2	1.2	3.2	8.9	6.9
	家柄	150	34.7	16.7	22.0	3.3	2.7	3.3	1.3	-	2.7	4.7	8.7
	母子家庭・父子家庭・両親なし	102	20.6	25.5	24.5	2.9	2.9	4.9	2.9	1.0	2.0	6.9	5.9
	心身障害・疾病	74	27.0	9.5	28.4	1.4	6.8	4.1	1.4	2.7	-	13.5	5.4
	性別	293	24.2	14.3	37.9	1.0	2.4	2.0	0.7	0.3	5.5	7.8	3.8
	独身	99	22.2	19.2	26.3	2.0	4.0	2.0	3.0	1.0	3.0	12.1	5.1
	容姿	276	30.4	13.8	30.4	2.2	1.8	1.8	1.4	0.7	4.0	8.0	5.4
	部落差別	9	33.3	22.2	11.1	-	11.1	-	-	-	-	11.1	11.1
	人種・民族・国籍	91	25.3	20.9	25.3	2.2	2.2	1.1	1.1	-	4.4	12.1	5.5
	思想・信条	56	17.9	26.8	21.4	7.1	3.6	3.6	3.6	-	3.6	5.4	7.1
	宗教	61	27.9	16.4	26.2	1.6	1.6	1.6	-	3.3	6.6	8.2	6.6
その他	41	29.3	14.6	24.4	-	-	2.4	-	-	19.5	4.9	4.9	
差別をされたことはない		874	9.5	19.9	31.7	3.2	5.4	4.9	2.2	1.0	2.1	16.2	3.9

6-2. 結婚相手の身元調査をすることについての認識 × 風習についての認識

表 63 9-1 結婚相手を決めるときに相手の身元調査をすることについて、あなたの考えどれですか。

× 8-1 お祝い事は「大安」の日を選ぶ、「友引」の日はお葬式を避けるという風習についてあなたの考えはどれですか。

		回答者数 (N, n)	9-1 身元調査についての認識 (%)			
			当然のことと思う	おかしいと思う	わからない	不明
全体		2,271	33.3	35.8	27.2	3.7
のつ風 認い習 識てに	当然のことと思う	1,289	42.9	31.0	25.0	1.1
	おかしいと思う	533	25.0	53.1	20.6	1.3
	わからない(知らない)	363	17.9	32.5	48.2	1.4

6-3. 風習についての認識 × 同和地区出身の人との結婚についての対応

表 64 8-1 お祝い事は「大安」の日を選ぶ、「友引」の日はお葬式を避けるという風習についてあなたの考えはどれですか。

× 14-1 あなたが同和地区出身の人と恋愛し、結婚しようとしたとき、親や親戚などから強い反対を受けたら、どうしますか。

× 14-2 あなたの子どもが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であると分かった場合、あなたはどうしますか。

		回答者数 (N, n)	8-1 風習についての認識 (%)			
			当然のことと思う	おかしいと思う	わからない(知らない)	不明
全体		2,271	56.8	23.5	16.0	3.8
同和地区出身者の結婚者	自分の意思を貫いて結婚する	447	50.3	30.0	17.7	2.0
	親などを説得し、自分の意思を貫いて結婚する	762	52.5	28.9	16.1	2.5
	家族や親戚などの反対があれば、結婚しない	332	72.6	17.5	8.1	1.8
	絶対に結婚しない	44	86.4	9.1	2.3	2.3
同和地区出身者の結婚者	子どもの意思を尊重する	1,019	49.7	30.1	17.4	2.8
	親としては反対するが、子どもの意思が固ければ仕方がない	468	68.2	20.5	9.8	1.5
	家族や親戚などの反対があれば、結婚を認めない	68	75.0	13.2	10.3	1.5
	絶対に結婚を認めない	54	77.8	14.8	3.7	3.7

6-4. 結婚相手の身元調査をすることについての認識 × 同和地区出身の人との結婚についての対応

表 65 9-1 結婚相手を決めるときに相手の身元調査をすることについて、あなたの考えどれですか。

- × 14-1 あなたが同和地区出身の人と恋愛し、結婚しようとしたとき、親や親戚などから強い反対を受けたら、どうしますか。
- × 14-2 あなたの子どもが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であると分かった場合、あなたはどうしますか。

		回答者数 (N, n)	9-1 身元調査についての認識 (%)			
			当然のことと思う	おかしいと思う	わからない	不明
全体		2,271	33.3	35.8	27.2	3.7
同和地区出身者と自分の結婚	自分の意思を貫いて結婚する	447	26.8	48.8	23.3	1.1
	親などを説得し、自分の意思を貫いて結婚する	762	29.5	39.6	28.9	2.0
	家族や親戚などの反対があれば、結婚しない	332	52.4	22.9	23.2	1.5
	絶対に結婚しない	44	77.3	6.8	15.9	-
同和地区出身者と子どもの結婚	子どもの意思を尊重する	1,019	25.5	46.0	26.8	1.7
	親としては反対するが、子どもの意思が固ければ仕方がない	468	47.9	25.6	24.1	2.4
	家族や親戚などの反対があれば、結婚を認めない	68	55.9	14.7	27.9	1.5
	絶対に結婚を認めない	54	72.2	13.0	13.0	1.9

6-5. 同和地区や同和問題について知ったきっかけ × 同和地区出身の人との結婚についての対応

表 66 問 12 同和地区や同和問題について、初めて知ったきっかけは何ですか。

- × 14-1 あなたが同和地区出身の人と恋愛し、結婚しようとしたとき、親や親戚などから強い反対を受けたら、どうしますか。
- × 14-2 あなたの子どもが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であると分かった場合、あなたはどうしますか。

		回答者数 (n)	問12 同和地区や同和問題について知ったきっかけ (%)												
			家族(父母、兄弟など)から聞いた	親戚の人から聞いた	近所の人から聞いた	学校の友だちから聞いた	学校の授業で教わった	職場の人から聞いた	テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った	同和問題の集会や研修会で知った	県や市町村の広報紙・誌などで知った	実際に差別の現場を見て知った	その他	はっきりとおぼえていない	不明
全体		1,650	17.8	1.3	2.5	4.7	22.9	9.0	23.1	3.3	1.9	1.3	2.1	6.9	3.3
同和地区出身者と自分の結婚	自分の意思を貫いて結婚する	447	14.8	0.2	2.5	3.6	25.1	8.9	26.6	3.8	1.6	1.1	2.0	7.2	2.7
	親などを説得し、自分の意思を貫いて結婚する	762	16.8	1.7	2.0	4.9	25.6	8.8	20.3	3.5	2.6	1.6	2.6	6.8	2.8
	家族や親戚などの反対があれば、結婚しない	332	23.5	1.8	2.7	5.4	16.9	10.8	23.8	2.4	0.9	1.2	0.9	6.0	3.6
	絶対に結婚しない	44	22.7	-	6.8	11.4	13.6	4.5	20.5	4.5	-	-	-	11.4	4.5
同和地区出身者と子どもの結婚	子どもの意思を尊重する	1,019	14.1	1.1	1.9	4.7	25.7	8.9	23.5	3.8	2.0	1.7	2.4	7.9	2.5
	親としては反対するが、子どもの意思が固ければ仕方がない	468	24.1	1.7	3.8	3.8	17.9	10.7	21.4	3.0	1.7	1.1	1.7	4.5	4.5
	家族や親戚などの反対があれば、結婚を認めない	68	25.0	2.9	4.4	7.4	25.0	2.9	26.5	-	-	-	1.5	2.9	1.5
	絶対に結婚を認めない	54	22.2	-	-	9.3	18.5	11.1	16.7	1.9	3.7	-	-	13.0	3.7

6-6. 人権についての理解を深めるために充実すべき取組 × 「広報よこはま人権特集号」を読んだ経験

表 67 問 43 人権についての理解を深めていただくために、今後どのような取組を充実させていくべきだと思いますか。

× 42-3 年1回発行している「広報よこはま人権特集号」を読んだことはありますか。

		回答者数 (N, n)	問43 人権についての理解を深めるために充実すべき取組 [複数回答] (%)												
			講演会、研修会	キャンペーンなどのイベント	演劇やコンサート	映画会	「広報よこはま人権特集号」での啓発記事の充実	広報よこはまに随時掲載している「人権に関するコラム」の充実	パンフレットなどの資料の配布	ポスターの掲出	横浜市のホームページによる情報提供の充実	その他	特にな	わから	不明
全体		2,271	18.3	25.9	11.3	12.3	18.6	16.6	18.9	13.4	13.2	8.3	5.1	14.4	5.4
人権特集号を読んだ経験	毎回読む	127	29.1	22.0	11.0	15.7	46.5	43.3	25.2	5.5	11.8	6.3	2.4	2.4	4.7
	ときどき読む	503	24.3	25.0	12.5	12.7	37.4	29.0	19.3	11.9	14.9	5.0	3.2	7.6	4.8
	毎回読む+ときどき読む	630	25.2	24.4	12.2	13.3	39.2	31.9	20.5	10.6	14.3	5.2	3.0	6.5	4.8
	読んだことはない	1,552	15.3	27.5	11.2	12.0	10.2	10.2	18.8	14.8	12.6	9.8	6.1	17.3	4.7

6-7. 人権啓発講演会により多くの人が参加するための工夫 × 「広報よこはま人権特集号」を読んだ経験

表 68 問 44 人権啓発講演会などにより多くの人が参加するために、どのような工夫が効果的だと思いますか。

× 42-3 年1回発行している「広報よこはま人権特集号」を読んだことはありますか。

		回答者数 (N, n)	問44 人権啓発講演会により多くの人が参加するための工夫 [複数回答] (%)										
			著名人が出演する	人権問題に直面している当事者が出演する	内容をもっと親しみやすくする	土曜・日曜日に開催する	平日の夜間に開催する	一時保育や手話通訳などを行う	PR方法を工夫する	その他	特にな	わから	不明
全体		2,271	31.6	24.7	38.4	19.4	3.8	8.5	43.0	3.7	4.3	10.4	5.0
人権特集号を読んだ経験	毎回読む	127	28.3	29.1	52.0	29.9	5.5	11.8	35.4	3.1	2.4	5.5	4.7
	ときどき読む	503	32.2	30.6	49.7	19.9	4.6	9.3	45.7	2.0	3.8	5.0	5.2
	毎回読む+ときどき読む	630	31.4	30.3	50.2	21.9	4.8	9.8	43.7	2.2	3.5	5.1	5.1
	読んだことはない	1,552	32.3	22.4	33.8	18.4	3.4	7.9	44.1	4.3	4.6	12.4	4.1

人権に関する市民意識調査

報告書

平成 22 年 12 月

発行 横浜市市民局人権課

〒231-0017 横浜市中区港町1丁目1番地

TEL 045-671-2379 FAX 045-681-5453

<http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/jinken/>